SHARP

インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト

e-Signage Pro

WEB サーバー版

取扱説明書

形名 PN-SW05
PN-SP05

もくじ

はじめに

e-Signage Pro WEB サーバー版を使用するための注意事項 …… 6
商標について …… 7
この取扱説明書の見かた …… 8
●マークについて …… 8
●表記について …… 8
用語解説 …… 9
システム運用上の注意事項 …… 9
e-Signage Pro WEB サーバー版の特長 …… 11
番組配信までの流れ …… 12

インストール

動作に必要なシステム環境 …… 13
●サーバー版（管理用 PC）…… 13
●クライアント版（操作用 PC）、ビューア版（表示用 PC）…… 13
配信方法について …… 15
e-Signage Pro WEB サーバー版をインストールする …… 16
●表示用 PC の環境を設定する …… 18
e-Signage Pro WEB サーバー版をアンインストールする …… 28

サーバー設定

WEB サーバーの設定（初回設定ウィザード）…… 30
WEB サーバーの設定（管理ツール）…… 33
●運用グループを追加する …… 33
●簡易 WEB サーバーを設定する …… 34
●自動ログアウト時間を設定する …… 35
●ライセンス登録する …… 35
●配信スケジューラについて …… 35
●配信承認機能を有効にする …… 36
●スーパーバイザーを登録する …… 36
●スーパーバイザーをすべて削除する …… 36

WEB クライアント編

ランチャー画面の起動・終了

ランチャー画面の起動と終了 …… 38
●ランチャー画面を起動する …… 38
●ランチャー画面を終了する …… 38
●ランチャー画面について …… 38

番組作成・編集

番組エディタの基本画面について …… 40
●番組エディタを起動する …… 40
●番組エディタの基本画面 …… 40
番組を作成する …… 43
●使用できるコンテンツファイル …… 43
●各コンテンツを配置（レイアウト）する …… 44
●背景 / 表示枠 1 ～ 4 を設定する …… 47
●テロップを設定する …… 51
●音声および音楽を設定する …… 57
● PIP を設定する …… 58

●番組を保存する 58
●番組を開く 60
●作成した番組を確認する 60
●番組を削除する 61
●番組のプロパティを表示する 62
●番組をインポート / エクスポートする 62
管理用 PC へのログイン情報を設定する 64
●ログイン情報を入力する 64
番組・コンテンツ・テロップをアップロード／ダウンロードする 65
サーバー上の番組・コンテンツ・テロップを削除する 67
RSS エディタ 68
● RSS 設定ファイルを作成する 68
● RSS エディタの基本画面 68
●プレビューを表示する 72

条件付きコンテンツ

条件付きコンテンツエディタの基本画面について 73
●条件付きコンテンツエディタを起動する 73
●条件付きコンテンツエディタの基本画面 73
条件付きコンテンツを作成する 75
●使用できるコンテンツファイル 75
●条件付きコンテンツを設定する 75

タイムテーブル作成・編集

タイムテーブルエディタの基本画面について 81
●タイムテーブルエディタを起動する 81
●タイムテーブルエディタの基本画面 81
タイムテーブルを作成する 83
●作成した番組をタイムテーブルに登録する 83
●パネル制御をタイムテーブルに登録する 84
●タイムテーブルを調整する 85
●タイムテーブルを保存する 86
●タイムテーブルを開く 87
●作成したタイムテーブルを確認する 87
●タイムテーブルを削除する 88
●タイムテーブルの名前や色を変更する 88
●タイムテーブルをインポート / エクスポートする 89

スケジュール作成・編集

スケジュールエディタの基本画面について 91
●スケジュールエディタを起動する 91
●スケジュールエディタの基本画面 91
スケジュールを作成する 94
●作成したタイムテーブルをスケジュールに登録する 94
●スケジュールを保存する 96
●スケジュールを開く 96
●スケジュールを削除する 97
●スケジュール名を変更する 97
●スケジュールをインポート / エクスポートする 98
●スケジュールをアップロード / ダウンロードする 101
●サーバー上のスケジュールを削除する 103

WEB サーバー編

ログイン

WEB サーバーにログインする ····· **105**
WEB サーバーにログインする (スーパーバイザーとしてログイン) ····· **106**
サーバー画面の見かた ····· **107**
●フィルタを設定する ····· 108
●メニューオプション設定／パスワードの変更 ····· 109

パネル管理・環境設定

パネルを管理する ····· **110**
●パネル管理画面を開く ····· 110
●パネル管理の基本画面 ····· 110
●パネルを追加・編集する ····· 111
●承認待ちパネル（表示用ＰＣ）を登録する ····· 113
●パネルグループを追加・編集する ····· 113
●パネル・パネルグループを削除する ····· 114
●パネル追加時の FTP 設定初期値を登録する ····· 114
環境設定 ····· **115**
●環境設定を起動する ····· 115
●バージョン情報を確認する ····· 115
● WEB サーバーを設定する ····· 116
●番組プレビューファイルを関連付ける ····· 117

配信

配信予約 ····· **118**
●スケジュールを配信する ····· 121
●番組をダウンロードしてプレビューする ····· 123
配信状況 ····· **124**
パネル側データ確認 ····· **126**
緊急配信 ····· **128**
●臨時番組 ····· 128
●臨時番組や番組停止コマンドを配信する ····· 129
緊急テロップ ····· **132**
●緊急テロップやテロップ停止コマンドを配信する ····· 134
●アップロードされたデータを削除する ····· 135

管理

状態監視・制御 ····· **136**
●表示用 PC/ パネルを制御する ····· 139
●システムファイルを取得する ····· 139
●状態監視設定を行う ····· 140
基本情報 ····· **140**

ユーザー管理

●ユーザー管理の基本画面 ····· 141
●ユーザーグループ管理の基本画面 ····· 142
ユーザーを作成する ····· **143**
ユーザーグループを作成する ····· **144**
●ユーザー・ユーザーグループを削除する ····· 145
操作履歴を確認する ····· **146**
●操作履歴をテキストファイルに出力する ····· 146

システム更新

●アップデータを配信する 148
●プリセット番組 / デフォルト番組を配信する 149
●コンテンツを事前配信する 150
●設定ファイルを配信する（サービスマン用） 151
●システムファイルをアップロードする 151
●パネル属性を配信する 152

ビューア編

スケジュール受信・番組表示

FTP サーバについて 154
● FTP サーバの起動 154
e-Signage クライアントスケジューラについて 155
● e-Signage クライアントスケジューラの起動 155
● e-Signage クライアントスケジューラのメニュー 155
USB メモリなどの外部記憶装置を利用してコンテンツを直接配信する 164
番組ビューア 164

キー／マウス監視

キー／マウス監視ツールの画面について 165
●キー／マウス監視ツールを起動する 165
●キー／マウス監視ツールのメニュ 165

はじめに

このたびは、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage Pro WEB サーバー版（イーサイネージプロ　ウェブサーバー版）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage Pro WEB サーバー版には、サーバー版、クライアント版の 2 種類があります。
また、コンテンツを表示する PC（表示用 PC）には e-Signage ビューア版のインストールが必要です。
本書は、e-Signage Pro WEB サーバー版（イーサイネージプロ　ウェブサーバー版）と e-Signage ビューア版の 3 種類共通の取扱説明書です。各タイプで使用制限や機能の違いがある場合は、明記しています。

e-Signage Pro WEB サーバー版を使用するための注意事項

・e-Signage Pro WEB サーバー版は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。

・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

・e-Signage Pro WEB サーバー版を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集等をすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製等について著作者等から許諾を受けているなどの事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製・編集した場合や、複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、e-Signage Pro WEB サーバー版において写真の画像データ、DVD 映像、TV 放映等を利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用・改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

・TV、DVD など、著作権のある番組を上映する際は、著作者の許諾を取得してください。

・本取扱説明書および e-Signage Pro WEB サーバー版の内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。

・本取扱説明書および e-Signage Pro WEB サーバー版は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

・Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国と他の国々における商標または登録商標です。
・Microsoft Internet Explorer のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国と他の国々における商標です。
・Flash、Flash Player は、合衆国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。
・インテル、Core、Celeron、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・QuickTime、QuickTime ロゴは、米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書の見かた

本書は、e-Signage Pro WEB サーバー版 4.3 について記載しています。

●マークについて

	参考情報や関連事項、制限事項などを記載しています。
☞	関連する情報が記載されているページを示しています。

●表記について

- **キーを押す操作は、押すキーを「【 】」で表記しています。**
  例：【Shift】キー、【Ctrl】キーなど
- **メニューやウィンドウ、ダイアログボックス、ボタン、タブなどを「[ ]」で表記しています。**
  例：

1 **［オプション］メニューから［グリッド設定］をクリックします。**
［グリッドの設定］ダイアログボックスが表示されます。

- **項目やチェックボックス、ラジオボタンなどを「「」」で表記しています。**
  例：「X 座標」、「既存の画面サイズ」ラジオボタンなど
- **本書では、e-Signage Pro WEB サーバー版／ Pro WEB クライアント版が次のフォルダにインストールされている場合を例に説明します。**
  異なる場合は、必要に応じて読み替えて操作してください。
  C: ¥Program Files ¥SHARP ¥e-Signage （デフォルト）
- **本書に記載されている画面サンプルや操作手順は、 1 つの例です。**
  お使いの表示デバイスや画面の設定、お使いになる OS などのバージョンによって内容が異なる場合があります。
  また、本書に記載されているコンテンツファイルやフォントなどは、作成例です。すべて搭載されているものではありません。
- **本書では、Windows の基本的な操作については説明していません。**
- **本書では、「e-Signage Pro WEB サーバー版」と「e-Signage Pro WEB クライアント版」に共通する内容を記載するときは、「e-Signage Pro WEB サーバー版」と表記しています。**

用語解説

本書で使用されている用語について説明します。

用語	意味
管理用 PC	表示用 PC へコンテンツを配信するサーバーです。配信するコンテンツの管理や、操作用 PC を使用するユーザーの管理も行います。 「サーバー PC」も同じ意味を示します。
操作用 PC	番組、タイムテーブル、スケジュールを作成してサーバー PC にアップロードし、配信指示するパソコンです。
表示用 PC	スケジュールに従ってコンテンツを表示するパソコンです。 「パネル PC」も同じ意味を示します。また、「パネル」とは、このパソコンに接続された表示装置（インフォメーションディスプレイなど）を示します。
コンテンツ（ファイル）	動画、静止画、音声など、パネルに再生する素材（ファイル）です。 通常は、ユーザー側で用意します。
プレイリスト	複数のコンテンツを再生したい順序に並べたものです。 コンテンツ情報と再生順序、再生時間などの情報が登録されています。
表示枠	1 つのパネルを複数に分割したときの表示単位となる子画面を示します。
テロップ	スクロールメッセージです。 e-Signage では、テロップは 2 つまで表示できます。
番組	表示枠レイアウトと、複数の表示枠にそれぞれ割り当てられたプレイリストの情報、テロップなどの情報を組み合わせたものです。
RSS フィード	WEB サイトの見出しや要約などが構造化されたデータです。
タイムテーブル	複数の番組の再生順序、再生時刻を 1 日の時間枠に割り当てたものです。
スケジュール	複数のタイムテーブルを、再生したい日付に割り当てたものです。
添付ファイル	HTML ファイルなどを表示するときに必要となる画像ファイルなどの総称を示します。
割り付け	どの配信データ（スケジュール、臨時番組、緊急テロップ、アップデータ）をどのパネルに配信するか設定することです。
確定	割り付けた内容を決定することです。各データのパネルへの配信が始まります。
運用グループ	ユーザーやパネル、スケジュール、番組などを管理する単位です。
スーパーバイザー	すべての運用グループにまたがった操作を行うことができるユーザーです。

システム運用上の注意事項

コンテンツや番組を作成するときの留意点

システム運用前には、番組を実際に表示して、正しく表示されるかどうか確認してください。パソコンの処理能力が不足すると、コンテンツが正しく再生できない場合があります。

・動画再生プレイヤーについて

同時に複数の動画を再生しないことを推奨します。

コンテンツ内容によって異なりますが、一般的には、Flash Player より Windows Media Player の方が、CPU 負荷が高くなります。

・動画ファイルを再生する場合、別途有償のコーデックが必要となる場合があります。
・QuickTime のコンテンツを再生する場合は、QuickTime Player が必要です。

・Flash コンテンツについて

画像の透過処理（画像のフェードイン / フェードアウト）を多用したコンテンツを表示すると、CPU 負荷が非常に高くなる可能性がありますので、注意してください。

・動画および静止画の拡大 / 縮小表示について

画像サイズや表示サイズが大きくなるほど、CPU 負荷が高くなります。また、画像を拡大 / 縮小して表示すると、CPU 負荷が高くなります。できる限り、コンテンツ表示領域のサイズ（表示枠サイズ）を小さくしてください。また、コンテンツは表示サイズと同じ画像サイズで作成してください。

・静止画切換について

静止画切換を使用すると、CPU 負荷が高くなります。また効果は、ビデオカードの性能に依存します。

・テロップコンテンツについて

テロップの表示には、高い CPU 処理能力を必要とします。テロップ使用の際には、運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。

・背景色を透過させると、負荷が大きくなります。

・テロップの表示領域が大きくなるほど負荷が大きくなります。必要以上に大きくしないでください。

・テロップ 1 行の文字数が多くなると、表示が乱れる場合があります。その場合は途中で改行してください。（1 列全角 100 文字程度を推奨）

・PowerPoint について

PowerPoint のデータは、自動的に画面切り替え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。

PowerPoint Viewer は、同時に複数表示することはできません。1 つの番組内では、複数の表示枠に PowerPoint 形式のファイルを割り付けないでください。PowerPoint Viewer は、自分自身にフォーカスが当っている場合にのみ、スライドショーの再生が進行します。PowerPoint コンテンツを表示中は、他の表示枠部分をマウス等でクリックしないでください。

e-Signage には、PowerPoint Viewer 2003/2007/2010 が必要です。お使いのパソコンに Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010 がインストールされていても、別途 PowerPoint Viewer 2003/2007/2010 をインストールする必要があります。

PowerPoint Viewer 2010 は、再生開始までに時間がかかります。特に、パソコンの起動後、 1 回目の再生時には、時間がかかります。再生時間は、余裕をもたせるようにしてください。

拡張子が（*.pptx、*.ppsx）のファイルを、PowerPoint Viewer 2007 で再生することは可能ですが、再生開始までに時間がかかります。

PowerPoint Viewer 2007 で再生する場合は、拡張子が（*.ppt、*.pps）のファイルを使用することを推奨します。

ブラウザの操作

ブラウザを起動して管理用 PC にログインして配信などの操作を行う際は、ブラウザの [戻る] キーは使用しないようにしてください。

操作が正常に行われなくなる可能性があります。

表示用 PC の連続運転

表示用 PC は、24 時間連続使用を想定しておりません。必ず毎日、表示用 PC の電源を OFF するような運用をしてください。（112 ページの電源管理を参照してください。）

管理用 PC の連続運転

管理用 PC の連続運転は、最長 1 週間となるよう運用してください。

パソコンの内部時計

e-Signage Pro WEB サーバー版は、パソコンの内部時計を元にスケジュールなどを実行します。インターネット時刻サーバーと同期するなどの方法で、パソコンの内部時計を常に正確な状態に保ってください。

番組表示時間の精度

番組の表示は、毎分 0 秒に起動するタイマーによって制御しています。1 分より短い時間での番組切り替えや、1 分途中（秒単位）での番組切り替えはできません。
また、コンテンツを表示するアプリケーションの起動時間やコンテンツファイルの読み込み時間などによって、実際の表示時間と多少の誤差が発生することがあることを、あらかじめご了承ください。

バックアップについて

e-Signage Pro WEB サーバー版には、データのバックアップ機能はありません。運用中は、運用グループデータ格納フォルダ（C:\ProgramData\SHARP\e-Signage 以下）を定期的にバックアップしてください。

複数台のパネル接続（デイジーチェーン接続の場合）

e-Signage Pro WEB サーバー版では、数珠つなぎに接続したインフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）に対して、異なるパネル制御コマンド（パネル電源 ON/OFF やパネル入力コマンド）を送信することができません。
（110 ページのパネル管理を参照してください。）

静止画について

背景や表示枠に静止画を設定する場合、長時間同じ場所に表示すると、ディスプレイに残像現象が起こる場合があります。一定時間ごとに静止画を変更したり、レイアウトを変更するなどの配慮をした番組やタイムテーブルを作成してください。

e-Signage Pro WEB サーバー版の特長

「e-Signage Pro WEB サーバー版」は、シャープオリジナルのコンテンツ配信・表示ソフトです。

優しいユーザーインタフェース

新聞のテレビ欄のようなタイムスケジュール、カレンダーのような月間スケジュールに番組を配置でき、編集できます。

多彩な表示とテロップ機能

レイアウトフリーの表示枠（4 表示枠）、背景やテロップ（2 本）が利用できます。縦型テロップにも対応しており効果的な表現と情報提供ができます。

配信予約機能

インフォメーションディスプレイシステムにネットワークで予約配信することができます。

ディスプレイコントロールや臨時配信などの機能をサポート

電源 ON/OFF の管理や緊急時の臨時配信など、ディスプレイのコントロールがスムーズに行えます。

複数の PC/ 複数の拠点から、複数のディスプレイを分担管理

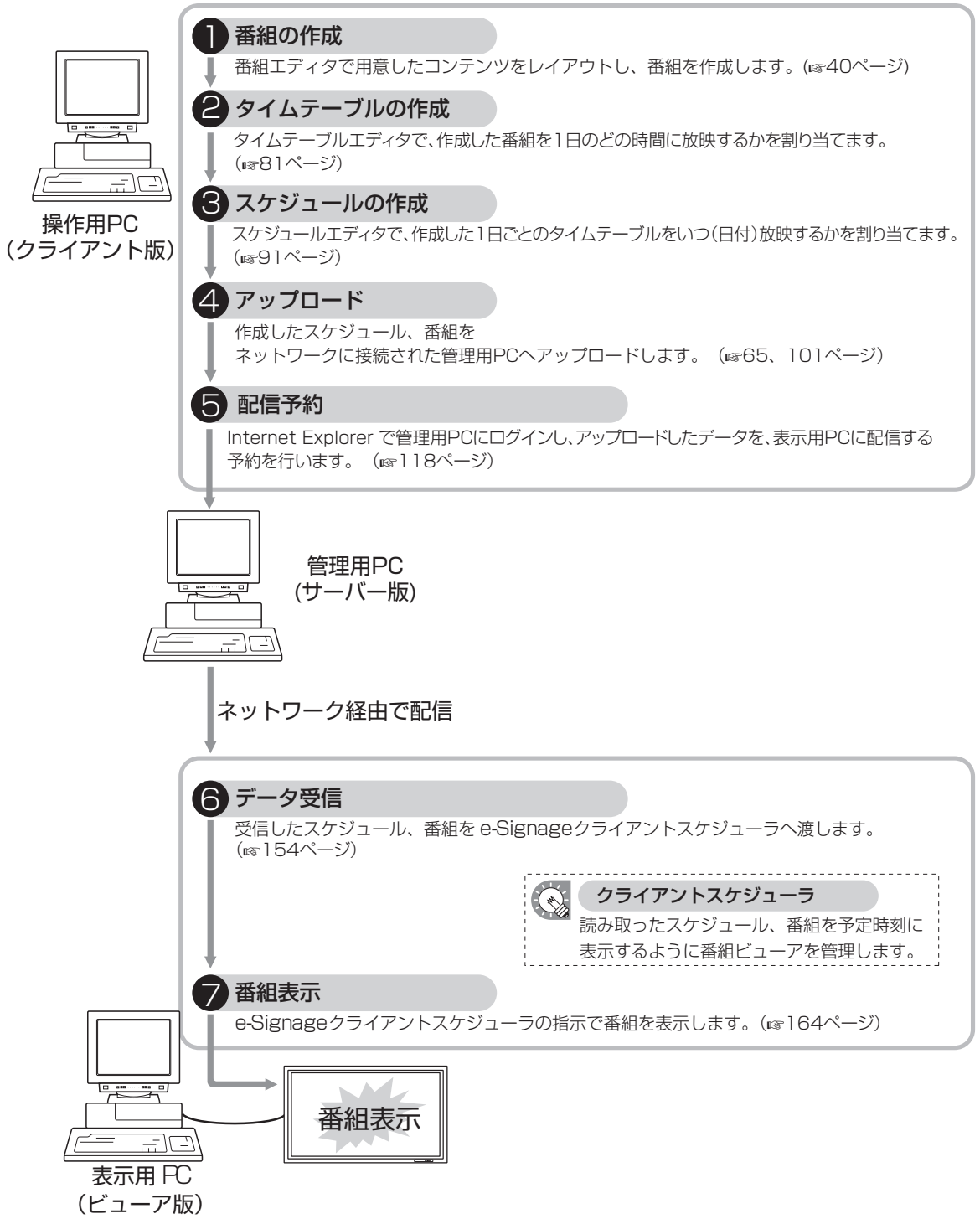
WEB サーバー上のデータベースで配信データを管理。
本部からの集中配信とは別に、各支店や各店舗から個別にカスタマイズして配信・表示できるなど、より自由度の高いサイネージ活用を実現します。

WEB ブラウザを利用して操作可能

WEB ブラウザを利用して操作できるため、さまざまな PC 環境からアクセス可能となり、より複雑で大規模なシステムでも、大人数で効率よく運営できます。

番組配信までの流れ

番組作成からパネルに番組を表示するまでの流れについて説明します。



インストール

e-Signage Pro WEB サーバー版をご使用いただくために必要な環境やインストール方法などについて説明します。ご使用の前に必ずお読みください。

動作に必要なシステム環境

●サーバー版（管理用 PC）

項目	内容
CPU	Core 2 Duo プロセッサ 2.26GHz 以上
OS	Microsoft Windows 7/8（日本語版） Microsoft Windows Server 2008/2008 R2（日本語版）
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	空き容量 80MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）
ディスプレイ	解像度 1280 × 1024 以上のフルカラーディスプレイ
インターフェイス	LAN ポート（TCP/IP 通信が動作すること）
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 7.0 以上

●クライアント版（操作用 PC）、ビューア版（表示用 PC）

項目	内容
CPU	CPU：Celeron M 1.3 GHz 以上 番組に動画コンテンツを多く使用する場合は、Pentium 4 プロセッサ 2GHz 以上の CPU を必要とします。
OS	Microsoft Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8（日本語版） Microsoft Windows Server 2003/2008/2008 R2（日本語版）
メモリ	512MB 以上
ハードディスク	空き容量 20MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）
ディスプレイ（操作用 PC 用）※1	解像度 1024 × 768 以上のフルカラーディスプレイ
パネル（表示用 PC 用）※2	インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ） LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085※3、LB-T401、LB-T461、LB-T601
インターフェイス	LAN ポート（TCP/IP 通信が動作すること）
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 7.0 以上
その他	PowerPoint Viewer 2003/2007/2010 Windows Media Player 9 以上 Adobe Flash Player 6 以上 QuickTime Player 7 以上（QuickTime コンテンツを再生する場合）

上記以外にも、OS が動作する環境を満たす必要があります。

表示用 PC の OS が Windows Vista/Windows 7/Windows 8 の場合、表示用 PC のユーザーアカウント制御を無効にしてください。※4

※ 1　番組やスケジュールの作成・編集・アップロード・配信指示に使用するディスプレイ。

※ 2　番組の表示に使用するパネル。
パネルを制御することができます。パネルを制御するためには、表示用 PC とパネルを RS-232C ケーブルで接続するまたは、パネルを LAN に接続する必要があります。
パネルの仕様や接続方法、設定については、ご使用のパネルの取扱説明書をご覧ください。

※ 3　LB-1085 でパネルを制御する場合は、最初に e-Signage クライアントスケジューラで「接続確認」を 1 度行ってください。詳しくはビューア編をご覧ください。

※ 4　表示用ＰＣでユーザーアカウントを無効にする方法について

Windows Vista の場合

①[コントロールパネル] で [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] を選択する
②[ユーザー アカウント] を選択する
③[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化] を選択する
④[ユーザー アカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる] のチェックをはずす

Windows 7 の場合

①[コントロールパネル] で [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] を選択する
②[ユーザー アカウント] を選択する
③[ユーザー アカウント制御設定の変更] を選択する
④スライダーを一番下にする

Windows 8 の場合
（ご注意）
この設定を行うと Windows ストアアプリが動作しなくなりますのでご注意ください。
①【Windows】キー +【R】キーを押して「ファイル名を指定して実行」を表示する
②「regedit.exe」と入力し、【Enter】キーを押す
③ユーザーアカウント制御画面が表示されるので [はい] をクリックする
④画面左側のツリーで
¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Policies¥System
を選択する
⑤「EnableLUA」をダブルクリックし、[DWORD（32 ビット）値の編集] ダイアログを表示する
⑥「値のデータ」に「0」を入力して [OK] をクリックする
⑦ ボタンをクリックしてレジストリエディターを終了後、PC を再起動する

・表示用 PC を手動制御（パネル PC 電源 ON）する場合は、表示用 PC のマジックパケットによる WakeOnLAN 機能が有効になっている必要があります。
表示用 PC が、同一セグメント LAN の外にある場合、使用しているルータの仕様や設定によっては、マジックパケットが通過できない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者に相談してください。
・操作用 PC と表示用 PC には、「Flash Player」、「Windows Media Player」および「PowerPoint Viewer2003/2007/2010」がインストールされている必要があります。
プログラムをインストールしていない場合やバージョンが異なる場合など、インストールを促すメッセージが表示されたときは、プログラムを提供しているホームページからダウンロードし、インストールしてください。
・動画ファイルを再生する場合、別途有償のコーデックが必要となる場合があります。

配信方法について

本ソフトウェアでは、以下の配信方法を選ぶことができます。

配信方法	通信プロトコル	管理用 PC	表示用 PC
PUSH 型配信 （固定 IP アドレス）	FTP	FTP クライアント	FTP サーバー
PUSH 型配信 （動的 IP アドレス）	FTP HTTP	FTP クライアント HTTP サーバー	FTP サーバー
PULL 型配信	HTTP	HTTP サーバー	HTTP クライアント

PUSH 型配信（固定 IP アドレス）

管理用 PC 側から FTP で配信データを提供します。表示用 PC に固定 IP アドレスが必要です。
表示用 PC がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

PUSH 型配信（動的 IP アドレス）

管理用 PC 側から FTP で配信データを提供します。表示用 PC 側が HTTP プロトコルを使って、定期的に IP アドレスを通知するため、固定 IP アドレスは、不要です。
表示用 PC がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

PULL 型配信

表示用 PC 側が管理用 PC 側から HTTP プロトコルを使って、定期的に配信データを取得します。表示用 PC がファイアウォールの中にあるときでも、ファイアウォール側の設定を変更しないで、配信データを取得できます。

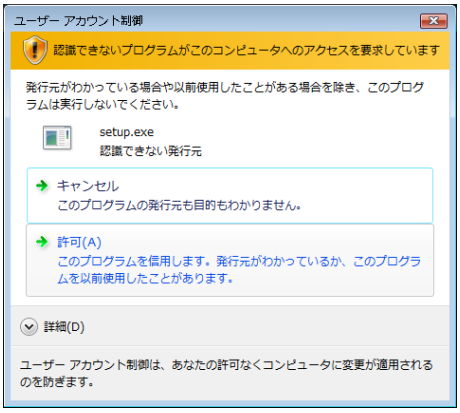
e-Signage Pro WEB サーバー版をインストールする

・管理者権限で操作してください。
・サーバー版とビューア版のインストールには、ライセンスコードが必要です。
・e-Signage ネットワーク版、または e-Signage Pro がインストールされている場合は、先にアンインストールしてください。

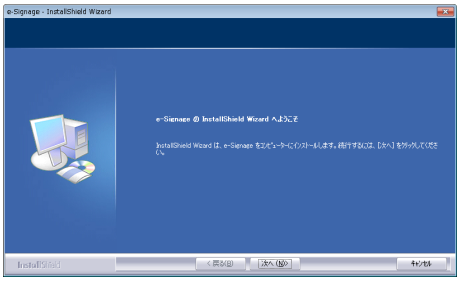
1 **パソコンを起動します。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了します。**

3 **e-Signage セットアッププログラム（Setup.exe）を起動します。**
・Setup.exe をダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
・インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、［実行］をクリックしてください。
ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「許可」（Windows Vista の場合）または「はい」（Windows 7/8 の場合）をクリックします。



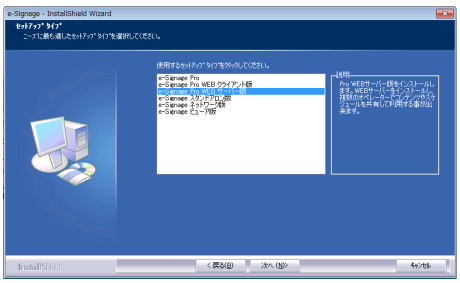
4 **［e-Signage の InstallShield Wizard へようこそ］の画面で、［次へ］をクリックします。**



5 **ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。**
ソフトウェア使用許諾契約書をすべてお読みください。

6 **ご同意頂けた場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**

7 **セットアップタイプ選択画面で、インストールするタイプを選択し、［次へ］をクリックします。**
・サーバー版の場合：
「e-Signage Pro WEB サーバー版」を選択します。
・クライアント版の場合：
「e-Signage Pro WEB クライアント版」を選択します。
・ビューア版の場合：
「e-Signage ビューア版」を選択します。



8 **インストールするセットアップタイプにあったライセンスコードを入力し、［次へ］をクリックします。（サーバー版、ビューア版のみ）**
ライセンスコードは、本製品に同梱されているライセンス証書に記載されている手順に従って入手してください。

9 **以降、画面の指示に従って操作します。**

10 **インストール終了後、再起動ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックします。**

・サーバー版とビューア版のインストール時に、仮のライセンスコードを入力した場合は、2 ヶ月間の試用となります。
試用期間が終わるまでにライセンスコードを入手し、登録してください。
「Pro WEB サーバー管理ツール」の [ヘルプ] − [バージョン情報] から登録します。

インストール完了後、以下の設定を行います。

・ビューア版：表示用 PC の環境を設定する（☞18 ページ）
・サーバー版：サーバー設定（☞30 ページ）

設定後の操作については以下をご覧ください。

・サーバー版：WEB サーバー編（☞104 ～ 152 ページ）
・クライアント版：WEB クライアント編（☞37 ～ 103 ページ）
・ビューア版：ビューア編（☞153 ～ 167 ページ）

●表示用 PC の環境を設定する

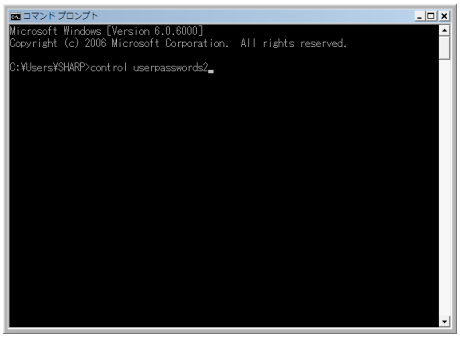
インストールが完了したら、e-Signage Pro WEB サーバー版をご使用になる前に、表示用 PC の設定を変更してください。

自動ログインの設定

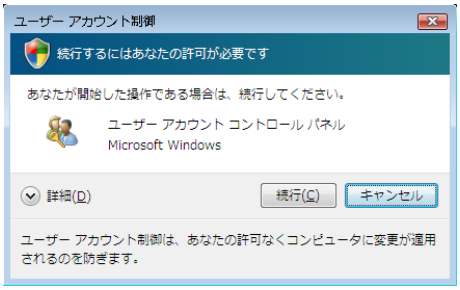
表示用 PC が無人運転を前提としている場合、Windows 起動時に自動ログインされるように設定します。Windows Vista の場合を例として説明します。

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンド プロンプト］の順にクリックします。**
Windows8 の場合は【Windows】キー +【X】キーを押します。
［コマンド プロンプト］画面が表示されます。

2 **「control userpasswords2」と入力し、【Enter】キーを押します。**



3 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは［続行］をクリックします。**
［ユーザーアカウント］ダイアログが表示されます。

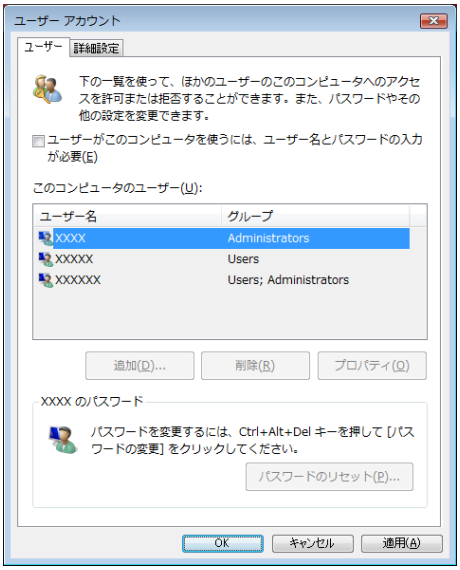


4 **「ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」チェックボックスのチェックをはずします。**

5 **［OK］をクリックします。**

6 **自動ログオン画面で「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。**

7 **「exit」と入力し、［Enter］キーを押します。**



ウェルカム センターの設定（Windows Vista のみ）

初期設定では、Windows Vista を起動すると「ウェルカム センター」が表示されます。
ビューアで番組を表示中に、「ウェルカム センター」が表示されないよう、「起動時に実行します」チェックボックスのチェックをはずします。次回起動時より「ウェルカム センター」が表示されなくなります。

［ウェルカム センター］を閉じている場合は、次の方法で表示することができます。

- Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［ウェルカム センター］の順にクリックします。
- Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ウェルカム センター］の順にクリックします。

スクリーンセーバーの設定

ビューアで番組を表示中に、パネルにスクリーンセーバーが表示されないように、スクリーンセーバーが起動しないように設定します。

•Windows XP の場合

1 **デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［スクリーン セーバー］タブをクリックし、「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**

•Windows Vista/7/8 の場合

1 **デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［個人設定］－［スクリーンセーバー］の順にクリックします。**
［スクリーンセーバーの設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**

電源管理

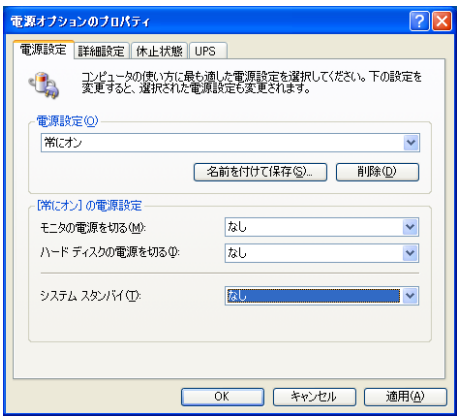
ビューアで番組を表示中に、パネルやハードディスクの電源が切れたり、システムスタンバイに移行したりしないように設定します。

•Windows XP の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。**
［電源オプションのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［電源設定］タブの「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」のそれぞれのプルダウンメニューから、「なし」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



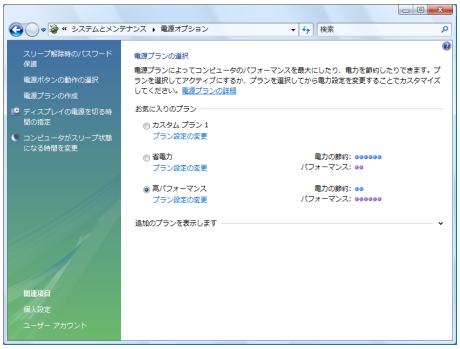
•Windows Vista の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「高パフォーマンス」を選択して、［プラン設定の変更］をクリックします。**

3 **「ディスプレイの電源を切る」、「コンピュータをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「なし」を選択します。**

4 **［変更の保存］をクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスに戻ります。



5 **右上の［X］ボタンをクリックして、［電源オプション］ダイアログボックスを閉じます。**

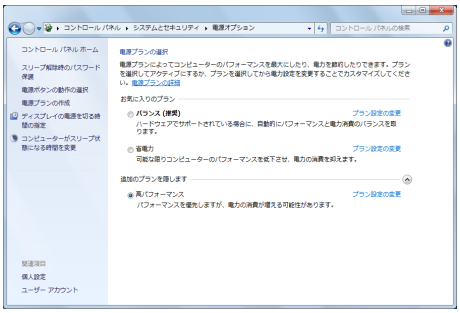
•Windows 7 の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［電源オプション］の順にクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「追加のプランを表示します」をクリックして、「高パフォーマンス」を選択し、［プラン設定の変更］をクリックします。**

3 **「ディスプレイの電源を切る」、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「なし」を選択します。**

4 **［変更の保存］をクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスに戻ります。



5 **右上の［X］ボタンをクリックして、［電源オプション］ダイアログボックスを閉じます。**

•Windows 8 の場合

1 **【Windows】キー＋【C】キーを押し、「設定」－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「電源オプション」の順にクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「高パフォーマンス」を選択し、「プラン設定の変更」をクリックします。**

3 **「ディスプレイの電源を切る」、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「適用しない」を選択します。**

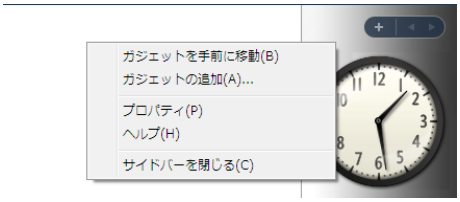
4 **［変更の保存］をクリックします。**
［電源オプション］ダイアログボックスに戻ります。

5 **右上の［X］ボタンをクリックして、［電源オプション］ダイアログボックスを閉じます。**

Windows サイドバー（ガジェット）の設定（Windows Vista のみ）

Windows サイドバー（ガジェット）が表示されないように設定します。

1 **Windows サイドバー上のなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［Windows サイドバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

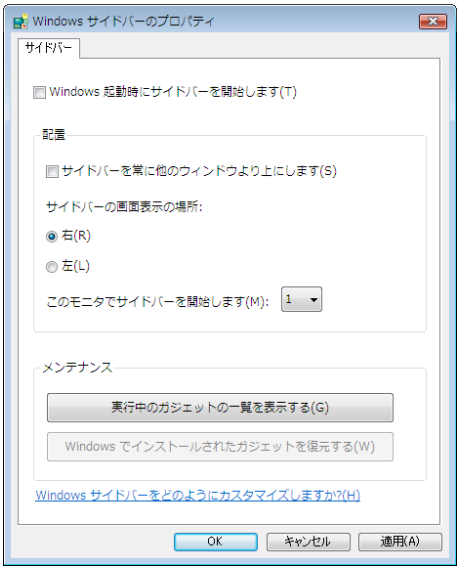


2 **［Windows 起動時にサイドバーを開始します］チェックボックスのチェックをはずします。**

3 **［OK］をクリックします。**

4 **パソコンを再起動します。**

次回 Windows Vista 起動時より「Windows サイドバー（ガジェット）」が表示されなくなります。



Active デスクトップの設定（Windows XP のみ）

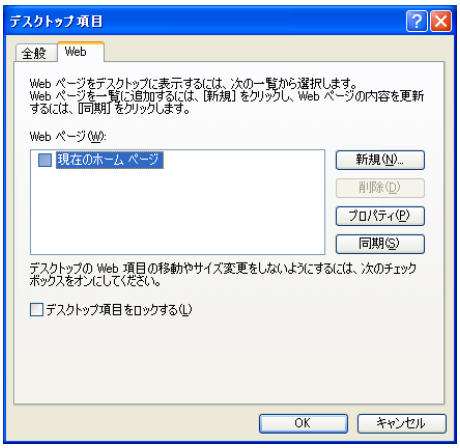
Active デスクトップの設定を OFF にしてください。

1 **デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［デスクトップ］タブをクリックし、［デスクトップのカスタマイズ］をクリックします。**
［デスクトップ項目］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［WEB］タブをクリックし、「WEB ページ」チェックボックスのチェックをはずします。**

4 **［OK］をクリックします。**



IME ツールバー設定

ビューアで番組を表示しているとき、IME ツールバーが表示されないよう、IME ツールバーをタスクバー内に移動します。

1 **IME ツールバーを右クリックして表示されたメニューから［最小化］をクリックします。**
または をクリックします。

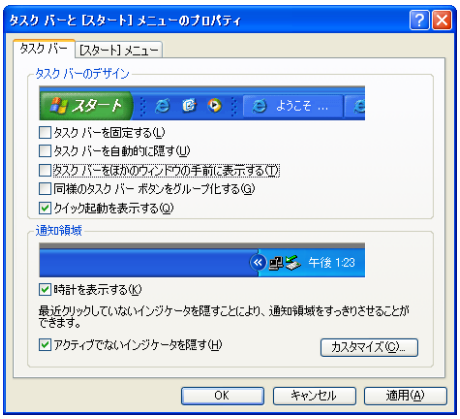
タスクバー設定（Windows XP/Vista のみ）

ビューアで番組を表示しているとき、タスクバーが表示されないよう、タスクバーを設定します。

1 **タスクバーのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［タスクバー］タブの「タスクバーのデザイン」の「タスクバーを自動的に隠す」および「タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する」チェックボックスのチェックをはずします。**

3 **［OK］をクリックします。**



Windows Update の設定

ビューアで番組を表示中に Windows Update の自動更新が起動し、パネルにポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、Windows Update が自動更新されないように設定します。

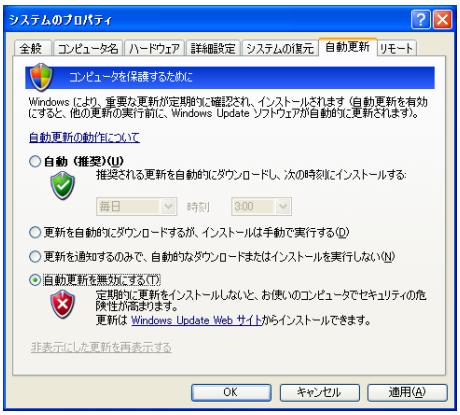
Windows Update 自動更新を無効に設定した場合は、定期的に Windows Update の WEB サイト（http://windowsupdate.microsoft.com/）に接続して、手動でダウンロードおよびインストールしてください。最新の更新プログラムをインストールしないと、セキュリティの危険性が高まったり、パフォーマンスに問題が発生したりする場合があります。

•Windows XP の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］の順にクリックします。**
［システムのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［自動更新］タブをクリックし、「自動更新を無効にする」ラジオボタンを選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**

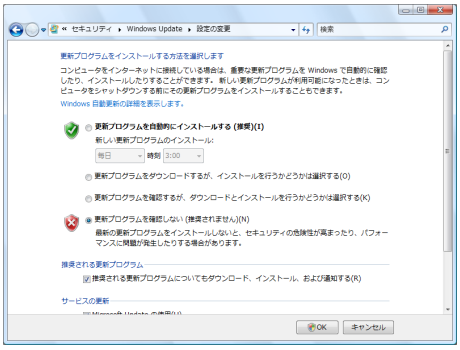


•Windows Vista の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］-［セキュリティ］-［自動更新の有効化または無効化］の順にクリックします。**
［設定の変更］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「更新プログラムを確認しない」ラジオボタンを選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



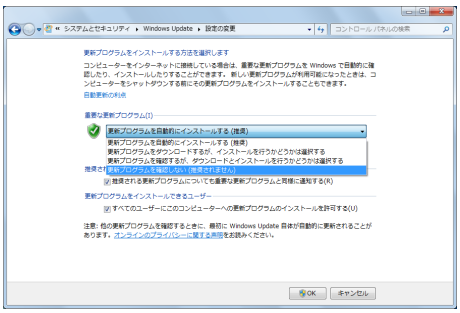
4 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは［続行］をクリックします。**
［設定の変更］ダイアログが終了します。

•Windows 7/8 の場合

1 **Windows 7 の場合は、Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［自動更新の有効化または無効化］の順にクリックします。Windows 8 の場合は、【Windows キー】+【C】キーを押し、[設定]-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［自動更新の有効化または無効化］の順にクリックします。**
［設定の変更］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「重要な更新プログラム」のメニューから「更新プログラムを確認しない（推奨されません）」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



4 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは［はい］をクリックします。**
［設定の変更］ダイアログが終了します。

常駐アプリケーションソフトの設定

ビューアで番組を表示中に、常駐アプリケーションソフト（例えば、ウイルススキャン）のポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、常駐アプリケーションソフトを設定してください。

パーソナルファイアウォールの設定

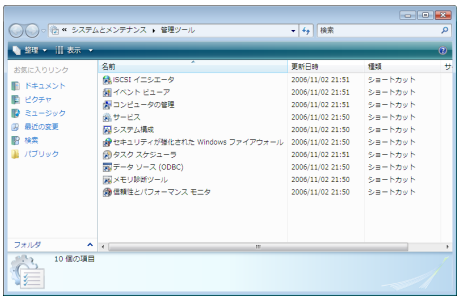
ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートにパーソナルファイアウォールを設定しているときは、e-Signage ビューア版が使用する TCP/IP ポートを開放しておいてください。

サーバー版では、独自の WEB サーバがインストールされます。デフォルトの TCP/IP ポート番号は 80 になっています。ポート番号を変更する場合は、管理用 PC の HTTP 通信設定(☞34 ページ)と、表示用 PC の e-Signage クライアントスケジューラの HTTP 通信設定（☞159 ページ）を同じポート番号に設定しておく必要があります。

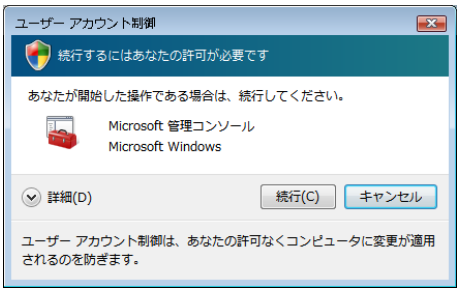
状態監視ツールのファイアウォール設定（Windows Vista/7/8 のみ）

1 **Windows Vista の場合は、Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［システムとメンテナンス］－［管理ツール］の順にクリックします。**
Windows 7 の場合は、Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［管理ツール］の順にクリックします。
Windows 8 の場合は、Windows キー】+【C】キーを押し、［設定］－［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［管理ツール］の順にクリックします。

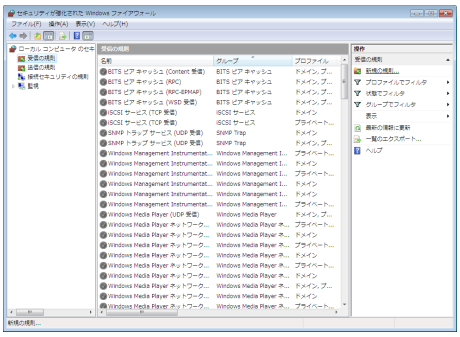
2 **「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。**



3 **ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは［続行］（Windows Vista）または［はい］（Windows 7/8）をクリックします。**
［セキュリティが強化された Windows ファイアウォール］ダイアログが表示されます。

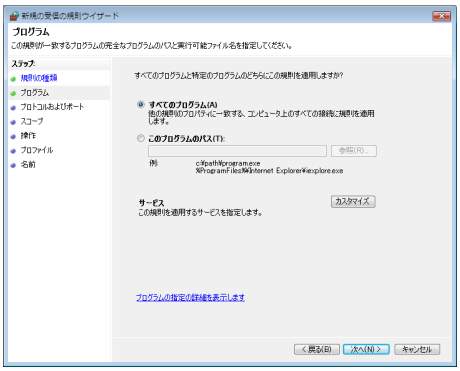


4 **画面左側の［受信の規則］をクリックし、画面右側の「操作」から［新規の規則］（Windows Vista の場合）または［新しい規則］（Windows 7/8 の場合）をクリックします。**
［新規の受信の規則ウイザード］ダイアログボックスが表示されます。



5 「カスタム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックします。

6 「すべてのプログラム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックします。

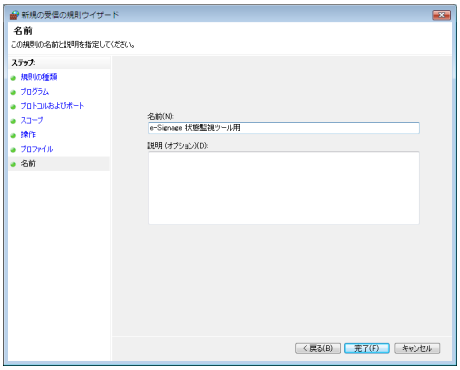


7 「プロトコルの種類」のメニューから「ICMPv4」を選択します。

8 「プロトコルおよびポート」、「スコープ」、「操作」、「プロファイル」の順に必要に応じて設定します。[次へ] をクリックすると、次の項目の設定画面に進みます。

これらの項目については、ネットワーク管理者に確認の上、設定するようにしてください。

9 「名前」として“e-Signage 状態監視ツール用”と入力し、[完了] をクリックします。



10 右上の ボタンをクリックして、ダイアログボックスを順に閉じます。

e-Signage Pro WEB サーバー版をアンインストールする

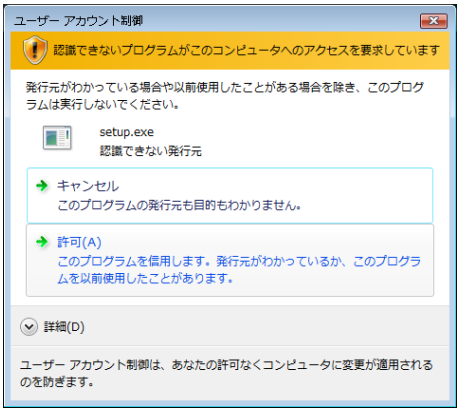
・サーバー版とビューア版を再インストールする場合、ライセンスコードを再度入手する必要があります。
・サーバー版をアンインストールしても、作成した運用グループやユーザーおよびサーバーにアップロードしたデータは削除されません。サーバー版をインストールすると再び利用できます。
・クライアント版をアンインストールしても、作成した番組やスケジュール、コンテンツファイルは削除されません。クライアント版をインストールすると再び利用できます。なお、サーバーにアップロードした番組は、サーバー上に保存されているため、削除されません。

1 **パソコンを起動します。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了します。**

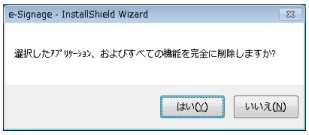
3 **e-Signage セットアッププログラム（Setup.exe）を起動します。**
・Setup.exe をダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
・インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、［実行］をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、
「はい」（Windows Vista の場合）または
「許可」（Windows 7/8 の場合）をクリックします。



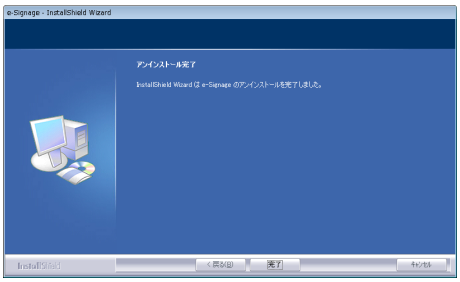
4 **「削除」ラジオボタンを選び、[次へ] をクリックします。**

5 **［はい］をクリックします。**
アンインストールが始まります。



配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、簡易 WEB サーバーが起動している場合は、メッセージが表示されます。その場合は、［はい］をクリックしてください。配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、簡易 WEB サーバーを終了し、アンインストールを続けます。

6 **［完了］をクリックします。**
これで、アンインストールは完了です。



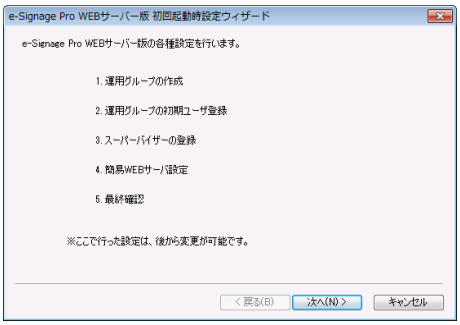
サーバー設定

管理用 PC を WEB サーバーとして設定する方法について説明します。
表示用 PC へのコンテンツ配信や、操作用 PC で作成されたコンテンツを管理用 PC へアップロードするための環境設定を行います。

WEB サーバーの設定（初回設定ウィザード）

1 **管理用 PC の Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［Pro WEB サーバー管理ツール］の順にクリックします。**
管理ツールが起動します。初回起動時は設定ウィザードに従って、WEB サーバーの設定を行います。

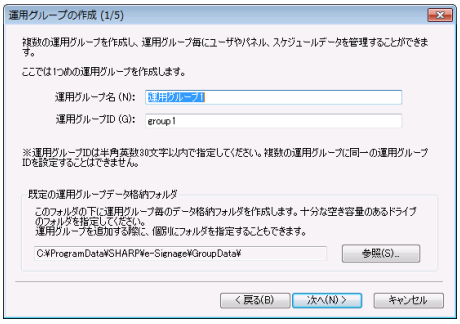
2 **[次へ] をクリックします。**



3 **運用グループを作成します。**
ユーザーやパネル、スケジュールデータを管理する単位である運用グループを作成します。運用グループ名、運用グループ ID（半角英数 30 文字以内）を入力します。

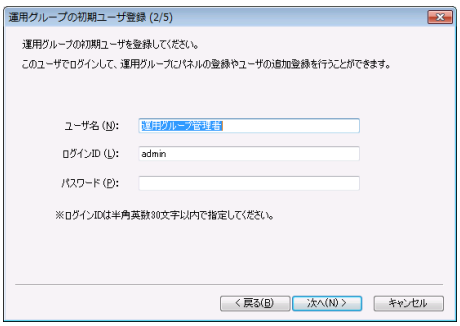
「既定の運用グループデータ格納フォルダ」
ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダです。変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダを指定してください。

入力後、[次へ] をクリックします。



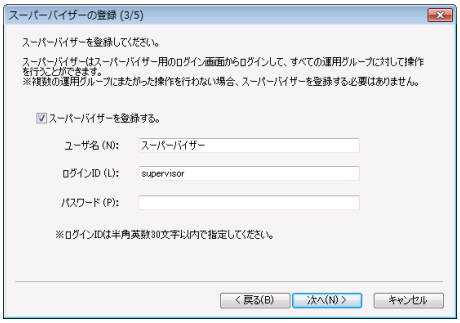
4 **初期ユーザーを登録します。**
はじめてサーバーにログインするためのユーザー情報です。
ユーザー名、ログイン ID（半角英数 30 文字以内）、パスワード（半角英数 30 文字以内）を入力します。

入力後、[次へ] をクリックします。



5 複数の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録します。

1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。



①「スーパーバイザーを登録する」チェックボックス
チェックして、ユーザー名、ログイン ID（半角英数 30 文字以内）、パスワード（半角英数 30 文字以内）を入力します。

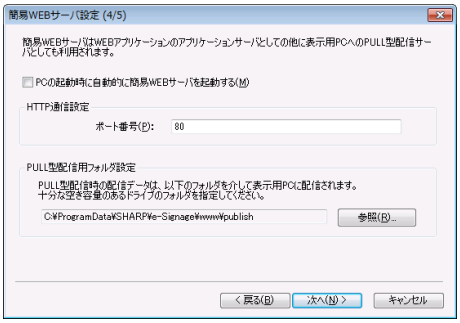
設定後、[次へ] をクリックします。

6 簡易 WEB サーバー設定を行います。

①「PC の起動時に自動的に簡易 WEB サーバーを起動する」チェックボックス
Pro WEB サーバー版では配信型に関係なく、簡易 WEB サーバーを起動する必要があります。

② HTTP 通信設定
ポート番号を設定します。表示用 PC から接続できないときは、ファイアウォールを管理しているネットワーク管理者に設定内容を確認してください。

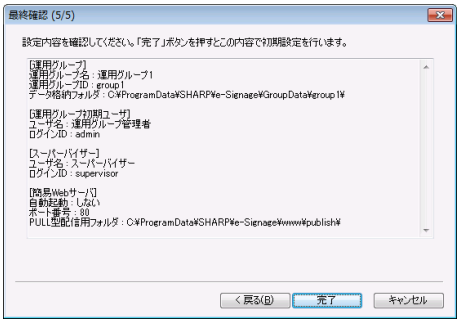
③ PULL 型配信用フォルダ設定
PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダを設定します。変更する場合は、[参照] をクリックし、フォルダを指定してください。



設定後、[次へ] をクリックします。

7 設定内容の最終確認を行います。

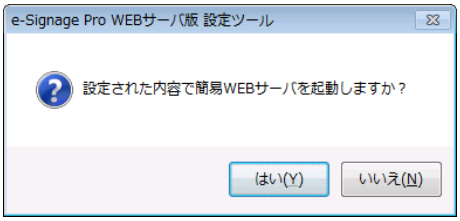
設定内容が画面に表示されるので、確定する場合は [完了] を、修正する場合は [戻る] をクリックしてください。確定後も、Pro WEB サーバー管理ツールを起動して内容を変更することができます。



設定の確認後、［完了］をクリックします。

簡易 WEB サーバー版　設定ツール画面が表示されます。

8 **［はい］をクリックします。**



9 **［OK］をクリックします。**
簡易 WEB サーバーが起動します。

運用グループ登録後、運用グループに所属するパネルやユーザーの登録を行います。サーバー編（☞104 ページ）をご覧ください。

パーソナルファイアウォールの設定

・ ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートにパーソナルファイアウォールを設定しているときは、e-Signage が使用する TCP/IP ポートを開放しておいてください。
なお、Windows のコントロールパネルの「Windows ファイアウォール」でこのポート番号を例外指定して接続を許可することもできますが、代わりに「Windows ファイアウォール」で実行ファイル "c:\Program files\sharp\e-Signage\www\w3d.exe" を例外プログラムに指定して接続を許可することも可能です。

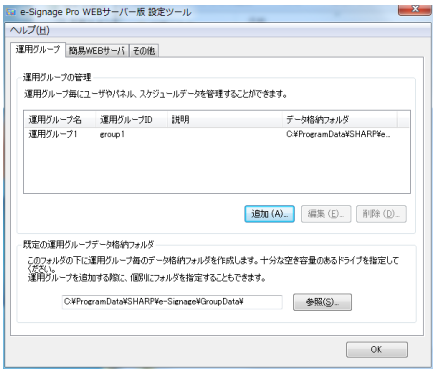
WEB サーバーの設定（管理ツール）

●運用グループを追加する

1 **管理用 PC の Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［Pro WEB サーバー管理ツール］の順にクリックします。**

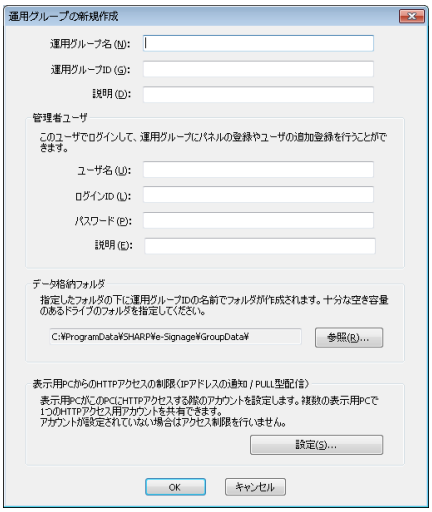
管理ツールが起動し、e-Signage Pro WEB サーバー版 設定ツール画面が表示されます。

2 **[運用グループ] タブをクリックし、「運用グループの管理」の [追加] をクリックします。**



3 **画面に従って登録を行います。**

運用グループ名：運用グループの名称です。
運用グループ ID：運用グループの ID です。PUSH 型配信（固定 IP アドレス）または PULL 型配信の表示用 PC のネットワーク設定を行う際に設定する ID です。既に同じ ID が登録されている場合は、登録できません。
説明：運用グループの説明です。



「管理者ユーザー」

ユーザー名：管理者ユーザーの名称です。
ログイン ID：管理者ユーザーの ID です。
パスワード：管理者ユーザーがログインするときのパスワードです。
説明：管理者ユーザーの説明です。

「データ格納フォルダ」

ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダです。変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダを指定してください。

「表示用 PC からの HTTP アクセスの制限（IP アドレスの通知 / PULL 型配信）」

表示用 PC から管理用 PC へアクセスする際のユーザー名とパスワードを設定します。
表示用 PC のネットワーク設定では、ここで設定したユーザー名とパスワードを設定してください。
変更する場合は [設定] をクリックし、設定してください。

4 **[OK] をクリックします。**

- 登録した運用グループを修正するときは、「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして [編集] をクリックします。運用グループ ID や管理者ユーザー ID を変更することはできません。
- 登録した運用グループを削除するときは「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして [削除] をクリックします。
  運用グループを削除すると、所属するユーザー、パネル、スケジュールの情報が全て削除されますので注意してください。

●簡易 WEB サーバーを設定する

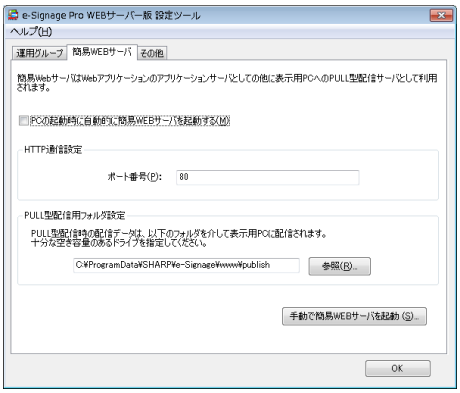
1 **設定ツール画面で [簡易 WEB サーバー] タブをクリックします。**

2 **「PC の起動時に自動的に簡易 WEB サーバーを起動する」にチェックします。**
管理用 PC を起動したときに、簡易 WEB サーバーも起動します。

3 **「HTTP 通信設定」の「ポート番号」を入力します。**
初期設定では 80 に設定されています。

4 **「PULL 型配信用フォルダ設定」の [参照] をクリックし、フォルダを指定します。**
PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダを設定します。

5 **[手動で簡易 WEB サーバーを起動] をクリックします。**
簡易 WEB サーバーが起動します。



Pro WEB サーバーのサーバープログラムは、ユーザープロセスとして動作しますので、サービスとしては動作できません。Administrator 権限を含むユーザーアカウントで Windows にログインし、Pro WEB サーバープログラム（簡易 WEB サーバーや配信スケジューラ）がスタートアップから起動されている状態で使用してください。

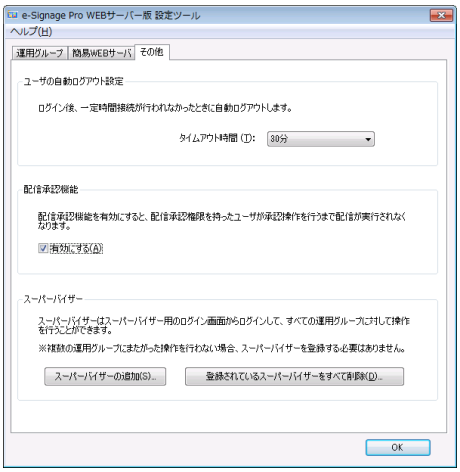
●自動ログアウト時間を設定する

ログイン後に一定時間操作が行われなかったときに自動ログアウトする時間を設定します。
デフォルトでは 30 分に設定されています。

1 **設定ツール画面で [その他] タブをクリックします。**

2 **リストボックスより、タイムアウト時間を選択します。**
自動ログアウトさせない場合は「なし」を選択します。

3 **[OK] をクリックします。**



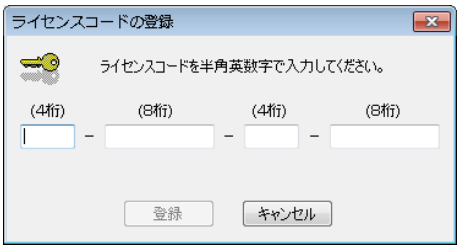
●ライセンス登録する

1 **設定ツール画面で [ヘルプ] をクリックします。**
バージョン情報画面が表示されます。

2 **[登録] をクリックします。**
ライセンスコードの登録画面が表示されます。

3 **入手したライセンスコードを入力し、[登録] をクリックします。**

・インストール時に正式なライセンスコードを入力している場合は、別途ライセンス登録を行う必要はありません。



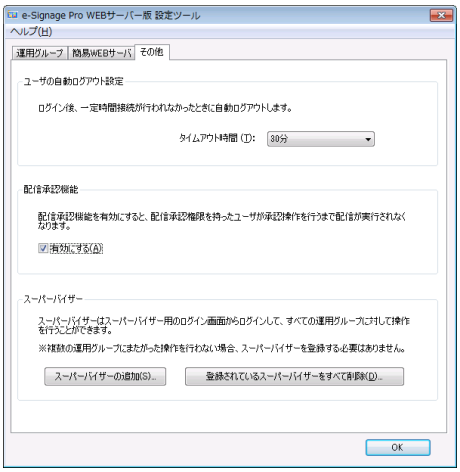
●配信スケジューラについて

配信スケジューラは、管理用 PC と表示用 PC との通信などを管理するためのツールです。配信スケジューラは、Windows ログイン時に「スタートアップ」より自動的に起動します。

起動すると、タスクトレイにアイコン（ ）が表示され、常駐します。
通常は、終了しないでください。

●配信承認機能を有効にする

1 **設定ツール画面で [その他] タブをクリックします。**



2 **「有効にする」にチェックします。**
配信承認機能が有効になります。
配信承認機能を有効にすると、コンテンツを配信しても、配信の承認権限を持つユーザーが配信を承認するまでコンテンツは配信されません。

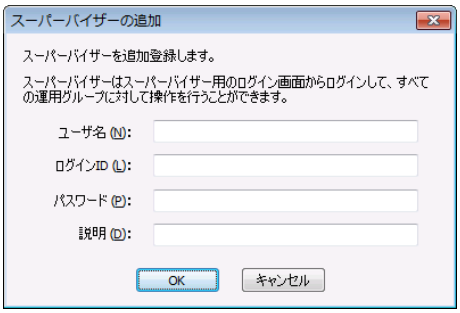
承認権限は、ユーザーグループ設定画面で設定します。

●スーパーバイザーを登録する

2 つ以上の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録します。
1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。

1 **設定ツール画面で [その他] タブをクリックします。**

2 **［スーパーバイザーの追加］をクリックします。**
スーパーバイザーの追加画面が表示されます。



3 **スーパーバイザーを登録します。**
ユーザー名：　スーパーバイザーの名称です。
ログイン ID：　スーパーバイザーの ID です。
パスワード：　スーパーバイザーがログインするときのパスワードです。
説明：スーパーバイザーの説明です。

4 **［OK］をクリックします。**

●スーパーバイザーをすべて削除する

1 **設定ツール画面で [その他] タブをクリックします。**

2 **［スーパーバイザーをすべて削除］をクリックします。**

3 **［はい］をクリックします。**

4 **［OK］をクリックします。**

WEB クライアント編

ランチャー画面の起動・終了

ランチャー画面の起動と終了

ランチャー画面の起動と終了方法、およびランチャー画面の概要について説明します。

●ランチャー画面を起動する

1 **デスクトップの e-Signage ショートカットアイコンをダブルクリックします。**
e-Signage のランチャー画面が起動します。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［e-Signage］の順にクリックしても、起動できます。

●ランチャー画面を終了する

1 **ランチャー画面の × をクリックします。**
ランチャー画面が終了します。

●ランチャー画面について

ランチャー画面は、操作を始めるための画面です。
番組の作成や配信など、目的別に 5 種類のボタンが用意されています。

他のツールやダイアログボックスが既に起動している場合は、最前面に表示されます。

①ボタン解説ウィンドウ

各ボタンの上にマウスカーソルを重ねると、ボタンの説明を表示します。

②番組作成・編集（☞40 ページ）

「番組エディタ」が起動します。画面サイズや画面レイアウト、表示するコンテンツやテロップなどを設定し、番組を作成します。

③タイムテーブル作成・編集（☞81 ページ）

「タイムテーブルエディタ」が起動します。作成した番組を表示したい時間に割り当て、1 日のタイムテーブルを作成します。

④スケジュール作成・編集（☞91 ページ）

「スケジュールエディタ」が起動します。作成したタイムテーブルを実行したい日に割り当て、スケジュールを作成します。

⑤サーバーにログイン（☞105 ページ）

Internet Explorer を起動して e-Signage Pro WEB サーバーにログインします。
あらかじめ、WEB サーバーの設定が必要となります。下記の［環境設定］をクリックして、「ProWEB サーバー」タブで、WEB サーバーを設定します。詳しくは、（☞116 ページ）を参照ください。

⑥環境設定（☞115 ページ）

［環境設定］ダイアログボックスが起動します。ランチャーのバージョン情報の表示、ライセンスコードの登録、パネル追加時の設定、接続先サーバーの設定、番組プレビューの関連付けの設定などをします。

番組作成・編集

パネルに表示する番組（コンテンツ）を作成する方法について説明します。

番組エディタの基本画面について

●番組エディタを起動する

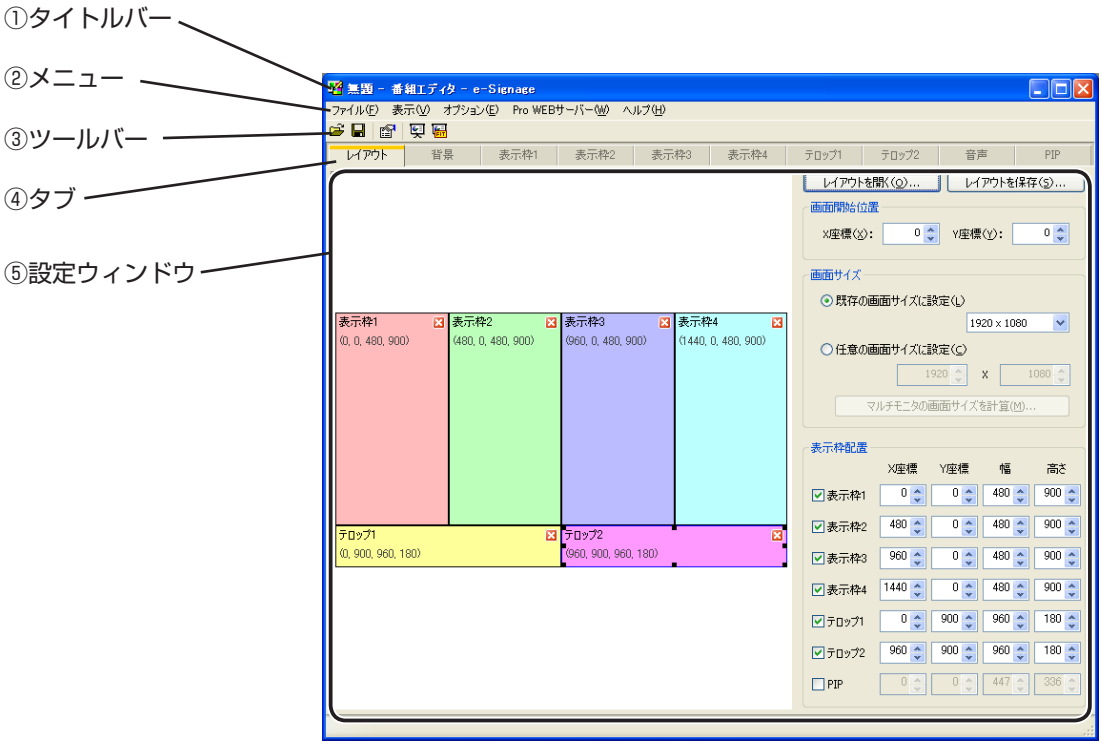
1 **ランチャー画面で** **をクリックします。**

「番組エディタ」が起動します。

起動直後は、新しい番組を作成するためにあらかじめ用意された表示枠 1 ～ 4、テロップ 1、2 が配置されています。この画面を元に内容を設定し、番組を完成させます。

・Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［番組エディタ］の順にクリックしても、起動できます。
・はじめて起動したときは、［コンテンツのプレビュー］ウィンドウも表示されます。（☞49 ページ）
・QuickTime Player や PowerPoint Viewer がインストールされていない場合は、メッセージが表示されます。

●番組エディタの基本画面



①タイトルバー

番組名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、番組を保存すると、その番組名に変わります。開いた番組の内容が変更されると、番組名の後ろに「＊（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「表示」、「オプション」、「Pro WEB サーバー」、「ヘルプ」の 5 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	番組の新規作成	新しい番組を開きます。	−
	番組を開く	保存されている番組を読み込みます。	☞60 ページ
	番組の上書き保存	現在編集中の番組を保存します。	☞58 ページ
	番組に名前をつけて保存	現在編集中の番組に別の名前を付けて保存します。	☞59 ページ
	番組の削除	保存されている番組の中から番組を指定して削除します。	☞61 ページ
	番組のプロパティ	番組のプロパティを表示・変更します。	☞62 ページ
	番組のインポート	他のパソコンでエクスポートした番組を利用するために、読み込みます。	☞63 ページ
	番組のエクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されている番組の中から番組を書き出します。	☞62 ページ
	番組作成・編集の終了	番組エディタを終了します。	−
表示	番組のプレビュー［オリジナルサイズ］	現在編集中の番組のプレビューをオリジナルサイズで表示します。	☞60 ページ
	番組のプレビュー［画面にフィット］	現在編集中の番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。	☞60 ページ
	番組のプレビュー時に表示条件の設定を行う	番組のプレビューするときに、表示条件を設定する場合、チェックします。	☞61 ページ
	コンテンツのプレビュー	［コンテンツのプレビュー］ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	☞49 ページ
	最新の情報に更新	e-Signage を起動後、コンテンツフォルダ内のコンテンツファイルを追加・削除した場合に、コンテンツフォルダ内の内容を更新できます。	−
オプション	設定	表示枠やテロップをグリッド単位で操作するときに、グリッドの詳細を設定します。 また、Pro WEB サーバー版を使用する場合、チェックします。初期値はチェック有りです。	☞46 ページ
Pro WEB サーバー	番組のダウンロード	番組データを管理用 PC からダウンロードします。	☞66 ページ
	番組のアップロード	指定した番組を管理用 PC へアップロードします。	☞65 ページ
	サーバー上の番組を削除	管理用 PC から番組データを削除します。	☞67 ページ
	マイコンテンツのダウンロード	コンテンツファイルを管理用 PC からダウンロードします。	☞66 ページ
	マイコンテンツのアップロード	コンテンツファイルを管理用 PC へアップロードします。	☞65 ページ
	サーバー上のマイコンテンツを削除	管理用 PC からコンテンツファイルを削除します。	☞67 ページ
	テロップのダウンロード	テロップファイルを管理用 PC からダウンロードします。	☞66 ページ
	テロップのアップロード	テロップファイルを管理用 PC へアップロードします。	☞65 ページ
	サーバー上のテロップを削除	管理用 PC からテロップファイルを削除します。	☞67 ページ
	運用グループ / ユーザーの切り替え	管理用 PC にログインする際の、運用グループとユーザーの切り替えを行います。	☞64 ページ
	WEB サーバー / ログイン情報設定	管理用 PC へのログイン設定を行います。	☞64 ページ
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	−

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは、次の通りです。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	番組を開く	保存されている番組を読み込みます。	☞60 ページ
	番組の保存	現在編集中の番組を保存します。	☞58 ページ
	番組のプロパティ	番組のプロパティを表示・変更します。	☞62 ページ
	番組のプレビュー [オリジナルサイズ]	現在編集中の番組のプレビューを表示します。	☞60 ページ
	番組のプレビュー [画面にフィット]	現在編集中の番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。	☞60 ページ

④タブ

「レイアウト」、「背景」、「表示枠 1」、「表示枠 2」、「表示枠 3」、「表示枠 4」、「テロップ 1」、「テロップ 2」、「音声」、「PIP」の 10 種類のタブがあります。クリックすると、各項目の設定ウィンドウに切り替わります。

⑤設定ウィンドウ

選択したタブの詳細を設定します。

番組を作成する

●使用できるコンテンツファイル

コンテンツとして使用できるファイル形式は次の通りです。

コンテンツの名前	ファイル形式
背景、 表示枠 1 ～ 4	MPEG、MPEG1、MPEG2、MPEG4、 WMV（Windows Media Video（Windows Media Player で再生可能な形式））、 Flash（Flash Player で再生可能な形式）、背景・表示枠用条件付きコンテンツ（.dcv）、 MOV（QuickTime Player で再生可能な形式）、 PowerPoint、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG RSS 設定ファイル（.erc）
テロップ 1，2	テロップエディタで作成したテロップ、テロップ用条件付きコンテンツ（.dct）
音声	WAVE、MP3、AU、AIFF、 WMA（Windows Media Audio（Windows Media Player で再生可能な形式））、 MOV（QuickTime Player で再生可能な形式）、 MIDI、音声用条件付きコンテンツ（.dca）

音声ファイルはレイアウトで配置することはできません。番組の表示時に再生される音声および音楽（BGM）として使用されます。

コンテンツファイルは拡張子によって、タイプを認識します。
タイプに応じて、各ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

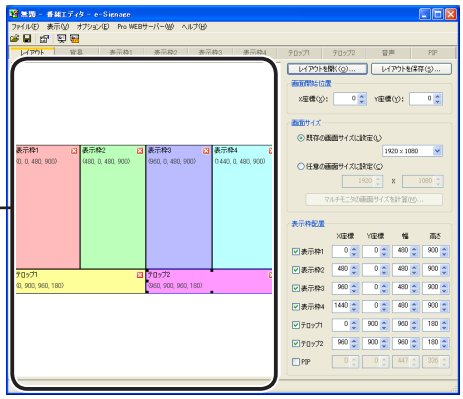
拡張子	コンテンツタイプ	必要なソフトウェア
.avi .mpeg .mpg .wmv .asf	動画	Windows Media Player
.mov※		QuickTime Player
.swf	Flash	Flash Player
.ppt .pps .pptx .ppsx	PowerPoint	PowerPoint Viewer
.htm .html	HTML	Internet Explorer
.tlp	テロップ	なし
.wav .mp3 .au .aif .aiff .wma .mid .midi	音声	Windows Media Player
.mov※		QuickTime Player
.jpeg .jpg .gif .png .bmp	静止画	なし
.erc	RSS 設定ファイル	なし

※ Windows7 以降の場合は、Windows Media Player で再生することができます。
ただし、QuickTime Player がインストールされていない場合は、コンテンツの内容が正しく表示されないことがあるため、QuickTime Player のインストールをお勧めします。

・JPEG ファイルは RGB 形式に対応しています。CMYK 形式には対応していません。
また、JPEG2000 には対応していません。
・アニメーション GIF には対応していません。
・PowerPoint のコンテンツを同時に２つ以上表示することはできません。
・PowerPoint のコンテンツでは、以下のことはできません。
マクロの実行、プログラムの実行、リンクオブジェクトの表示、埋め込みオブジェクトの表示
・PowerPoint のコンテンツでアニメーションを多用すると、文字がつぶれて表示されることがあります。
・コンテンツで使用するフォントは、表示用 PC にもインストールされている必要があります。
・HTML ファイルや WEB ページを拡大・縮小して表示することはできません。
・再生音量の調整は、動画や音声に対応しています。Flash や PowerPoint などには対応していません。

●各コンテンツを配置（レイアウト）する

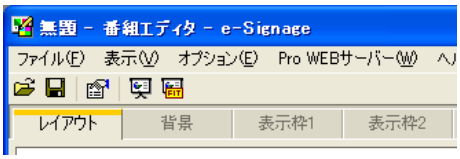
［レイアウト］ウィンドウで画面および各コンテンツのサイズや位置などを設定します。



［レイアウト］ウィンドウ

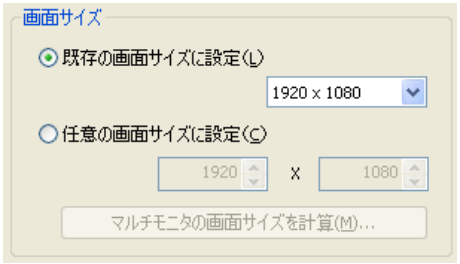
レイアウトウィンドウ中央に「レイアウトをロックしています。」と表示されているときは、レイアウトを編集できません。
［番組のプロパティ］ダイアログボックス（☞62 ページ）の「レイアウトをロックし、編集できないようにする」チェックボックスのチェックを外してください。

1 ［レイアウト］タブが選択されていることを確認します。
選択されていない場合は、［レイアウト］タブをクリックします。

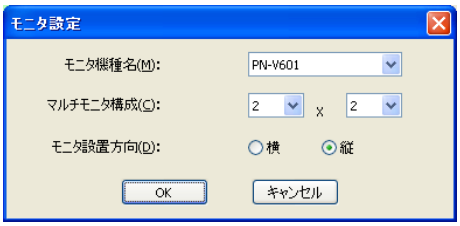


2 「画面開始位置」を設定します。
背景の左上座標をパネルのどの位置（座標：-9999 ～ 9999）にするかを設定します。
通常は、「X 座標」、「Y 座標」とも「0」を指定します。（デフォルト）

3 「画面サイズ」を設定します。
画面サイズが背景のサイズになります。
「既存の画面サイズに設定」ラジオボタンを選択し、プルダウンメニューからサイズを選択します。
通常は、パネルのサイズ（解像度）を設定してください。



・プルダウンメニューに設定したいサイズがない場合は、「任意の画面サイズに設定」ラジオボタンを選択し、サイズを入力します。
・プリセットされているプルダウンメニューの画面サイズを変更するときは、e-Signage をインストールしたフォルダ（C: ￥Program Files ￥SHARP ￥e-Signage（デフォルト））にある「ScreenSize.dat」を編集し、
1280,1024
1920,1080
1366,768
のように各行に「“幅”，“高さ”」を記述します。番組エディタを起動したときは、先頭行の画面サイズが選択されます。
・複数のパネルを組みあわせて、１つのパネルのように表示するときは、[マルチモニタの画面サイズを計算] をクリックすると、機種名と設置方法を選ぶだけで画面サイズが設定できます。
・「マルチモニタの画面サイズを計算」をクリックすると、モニタ設定画面が表示されます。モニタの機種名、マルチモニタ構成、モニタ設置方向をそれぞれ設定します。



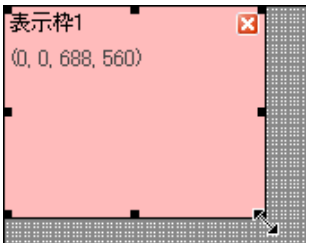
4 「表示枠配置」を設定します。

① 表示する表示枠、テロップ、PIP のチェックボックスをチェックします。

表示枠、PIP 枠およびテロップの右上にある をクリックしても非表示になります。

② 表示枠およびテロップの「X 座標」、「Y 座標」、「幅」、「高さ」をそれぞれ設定します。

・PIP 枠は「X 座標」、「Y 座標」のみ変更可能です。PIP 枠のサイズは、レイアウトウィンドウ上でマウスをドラッグすることで変更できます（下記）。



・表示枠、PIP 枠およびテロップをクリックすると、周りに 8 箇所のグリップが表示され、選択状態になります。このグリップをマウスでドラッグすることで、表示枠、PIP 枠およびテロップのサイズ変更を視覚的に操作することができます。
また、グリップ以外をマウスでドラッグすることで、表示枠、PIP 枠およびテロップを移動することができます。

・【Shift】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したままサイズ変更ができます。

・【↑】【↓】【←】【→】キーを押しても、移動できます。

・【Shift】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押しても、サイズ変更できます。

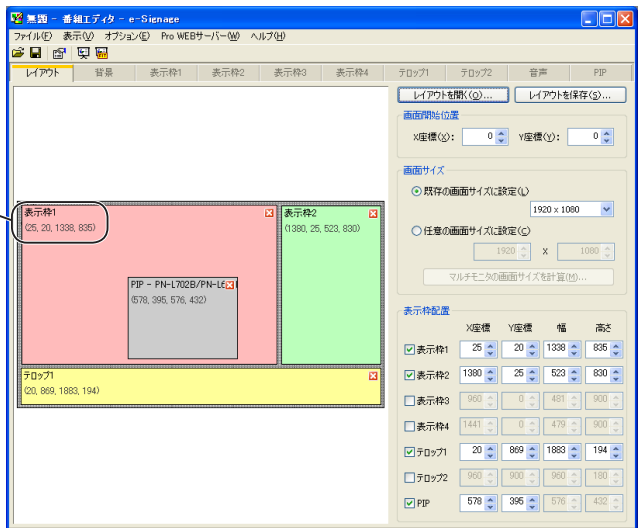
・PIP 枠のサイズは、［PIP］タブの「項目」の「サイズ」で「値」を選択して変更することもできます。

・グリッドを利用して、グリッド単位で正確に操作することができます。（☞46 ページ）

例えば、
表示枠 1　：X 座標 =25、　Y 座標 =20、 幅 =1338、高さ =835
表示枠 2　：X 座標 =1380、Y 座標 =25、 幅 =523、 高さ =830
テロップ 1 ：X 座標 =20、　Y 座標 =869、幅 =1883、高さ =194
PIP　　：X 座標 =578、　Y 座標 =395
を配置した場合は、次のようになります。

・各表示枠、テロップの左上に、名前および（左上の頂点の X 座標，左上の頂点の Y 座標，幅，高さ）が表示されています。

・PIP 枠は 1pt 単位での移動はできません。利用するインフォメーションディスプレイにより配置可能な位置は異なります。



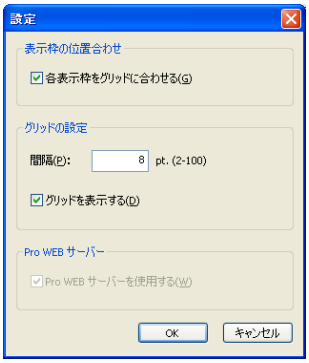
グリッドを利用する

グリッドを利用すると、マウスのドラッグ時にグリッド単位で移動でき、正確に位置を合わせることができます。グリッドは次の方法で設定します。

1 **［オプション］メニューから［設定］を選択します。**
［設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「表示枠の位置合わせ」を設定します。**
グリッド単位で操作する場合は、「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れます。
1pt 単位で操作する場合は、チェックをはずします。

3 **グリッドの「間隔」を設定します。**
2 ～ 100pt の範囲で入力します。（デフォルト 8pt）

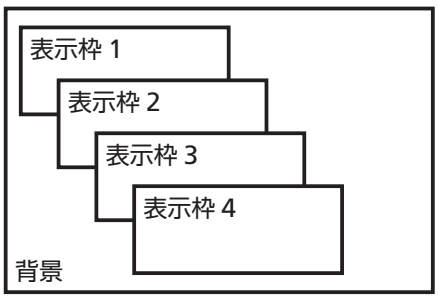


- 「グリッドを表示する」チェックボックスでグリッドの表示 / 非表示を切り替えることができます。グリッドを非表示にしても、「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れている場合は、グリッド単位で移動、サイズ変更ができます。
- 「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れているときでも、次の場合はグリッドを無視して 1pt 単位で操作できます。
  - 【Ctrl】キーを押しながらドラッグすると、グリッドを無視してサイズ変更ができます。
  - 【Shift】キーと【Ctrl】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したままグリッドを無視してサイズ変更ができます。
  - 【Ctrl】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押すと、1pt 単位で移動ができます。
  - 【Shift】キーと【Ctrl】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押すと、1pt 単位でサイズ変更ができます。

表示優先順位について

番組を表示したときに、各表示枠が重なっている場合は、次の順で前面から背面に表示されます。

「表示枠 4」→「表示枠 3」→「表示枠 2」→「表示枠 1」→「背景」



- 表示の優先順位を設定することはできません。
- 表示枠や背景のコンテンツが PowerPoint や EXE ファイル、RSS 設定ファイルの場合、表示優先順位に関係なく前面に表示されます。
- テロップは、背景、表示枠より前面に表示されます。
- PIP 枠は、背景、表示枠、テロップより前面に表示されます。
- 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。動画は背景ではなく、表示枠 1 ～ 4 のいずれかに設定してください。

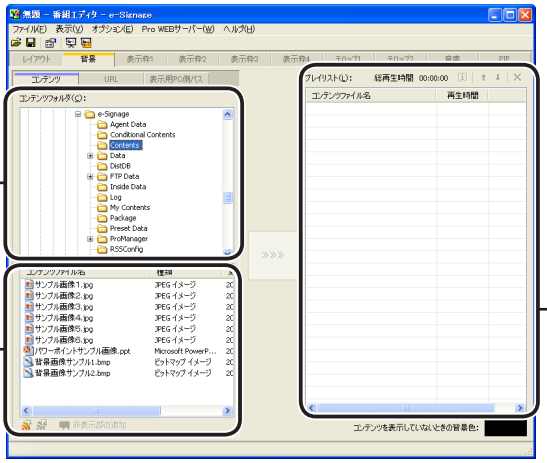
作成したレイアウトを利用する

［レイアウトを保存］をクリックして作成したレイアウトを保存しておくと、次回番組作成時に［レイアウトを開く］をクリックしてレイアウトを開いて利用することができます。

レイアウト保存では、表示枠の設定内容は保存されません。
画面開始位置、画面サイズ、表示枠配置のみです。

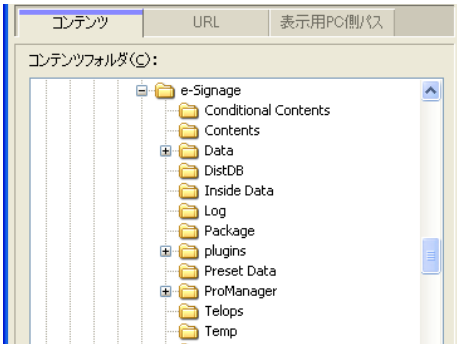
●背景 / 表示枠 1 ～ 4 を設定する

背景および配置した表示枠 1 ～ 4 にコンテンツの内容、再生順序や再生時間などを設定します。



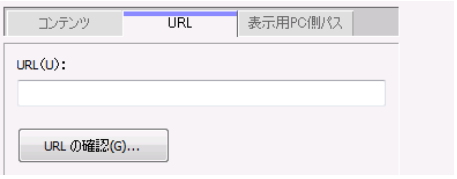
1 **[背景]タブまたは[表示枠 1]～[表示枠 4]タブをクリックします。**

2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するコンテンツファイルが保存されているフォルダを選択します。**
［コンテンツ］タブが選択されていることを確認し、選択されていない場合は、［コンテンツ］タブをクリックしてください。



「URL」または［表示用 PC 側パス］を指定して表示することもできます。

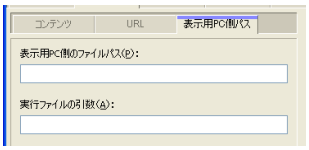
［URL］タブ



指定した「URL」の HTML をコンテンツとして表示します。
表示用 PC から参照できる「URL」を入力してください。
ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境であれば、［URL の確認］をクリックすると、入力した URL に接続されます。
正しく接続されるか、また正しく表示されるかを確認してください。

- ホームページには著作権がありますので、注意してください。
- 表示するページにエラーがある場合は、正しく表示できません。
- 表示するページにプラグインなどが必要な場合は、対象のプラグインが表示用 PC にインストールされている必要があります。

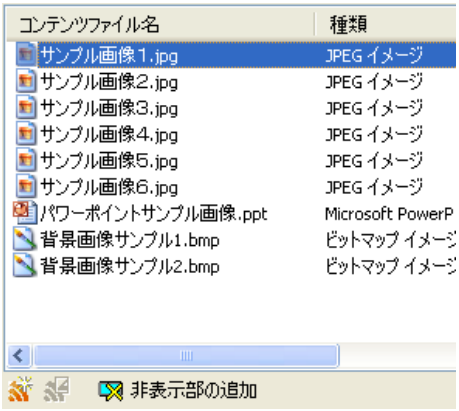
［表示用 PC 側パス］タブ



「表示用 PC 側のファイルパス」で指定したコンテンツファイルを表示します。EXE ファイルを指定することができます。表示用 PC から参照できるパスを入力してください。EXE ファイルの場合、「実行ファイルの引数」を付加することもできます。

・頻繁に更新されないファイルサイズの大きなコンテンツファイルを表示する場合には、そのファイルをあらかじめ表示用 PC に配置し、それぞれを参照するパスのみを送信することで番組コンテンツ送信にかかる時間を短縮できます。
・表示用 PC の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダ (☞156 ページ) からの相対パスで指定してください。
・次の引数が利用できます。
　%L　：表示枠の左上 X
　%T　：表示枠の左上 Y
　%W：表示枠の幅
　%H　：表示枠の高さ
・e-Signage では、指定された実行形式ファイルを指定時間に起動 / 終了するのみで、起動された実行形式ファイルの動作を保証するものではありません。
・実行するプログラムの仕様によっては、正常に起動 / 終了できなかったり、正しい位置にウィンドウを表示できない場合があります。

3 「コンテンツファイル」リストから使用するコンテンツファイルを選択します。



背景および表示枠 1 ～ 4 で使用できるファイル形式は、43 ページを参照してください。

・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のコンテンツファイルを同時に選択することができます。
・［コンテンツのプレビュー］ウィンドウで、コンテンツファイルのプレビューを確認することができます。(☞49 ページ)
・HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください（添付ファイル）。
コンテンツファイルのプロパティから追加できます。(☞50 ページ)
添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。

4 »» をクリックします。

プレイリストの最後にコンテンツファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、49 ページを参照してください。

・手順 3 でコンテンツファイルをダブルクリック、または「コンテンツファイル」リストのコンテンツファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。
・プレイリストのコンテンツファイルは、【Ctrl】キーを押しながらドラッグ＆ドロップするとコピーすることができます。

5 必要に応じて手順 1 ～ 4 を繰り返し、その他の表示枠も設定します。

・[表示枠 1] ～ [表示枠 4] タブで、「コンテンツファイル」リストの下にあるボタン（ ）「非表示部の追加」をクリックするとプレイリストに非表示部を追加できます。非表示部も他のコンテンツファイルと同じように再生時間や再生順序を設定できます。
非表示部に設定した表示枠は、表示されません。
・「コンテンツファイル」リストの下にあるボタン（ ）または（ ）をクリックすることで、RSS 設定ファイルの新規作成または編集を行うことができます。（☞68 ページ）

コンテンツのプレビュー

［コンテンツのプレビュー］ウィンドウでコンテンツファイルのプレビューを確認することができます。
［表示］メニューから［コンテンツのプレビュー］をクリックして表示できます。
次のファイルは、プレビューがすぐに表示されません。［コンテンツのプレビュー］ウィンドウに表示されたアイコン（テロップの場合は文字列）をクリックすると、プレビューが表示されます。
・2MB 以上のファイル
・動画ファイル
・PowerPoint（全画面プレビューになります。）
・テロップ（全画面プレビューになります。）

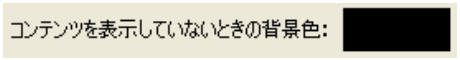
プレイリストについて

プレイリストの上から順にコンテンツファイルが再生されます。
再生時間は、コンテンツを再生する時間です。
総再生時間には、プレイリストに登録されているコンテンツの再生時間の合計が表示されます。
総再生時間は、実際の再生時間と異なる場合があります。
（再生設定で「次のコンテンツを再生する」に設定されている場合や条件付きコンテンツが使用されている場合など。）

プレイリストの右上にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	登録コンテンツの プロパティ表示	選択されているコンテンツファイルのプロパティを表示します。詳細は、50 ページを参照してください。
	登録コンテンツを上へ移動	選択されているコンテンツファイルの順番を1つ前(上)に移動します。(複数のコンテンツファイルを移動することはできません。)
	登録コンテンツを下へ移動	選択されているコンテンツファイルの順番を1つ後(下)に移動します。(複数のコンテンツファイルを移動することはできません。)
	登録コンテンツの削除	選択されているコンテンツファイルをプレイリストから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。

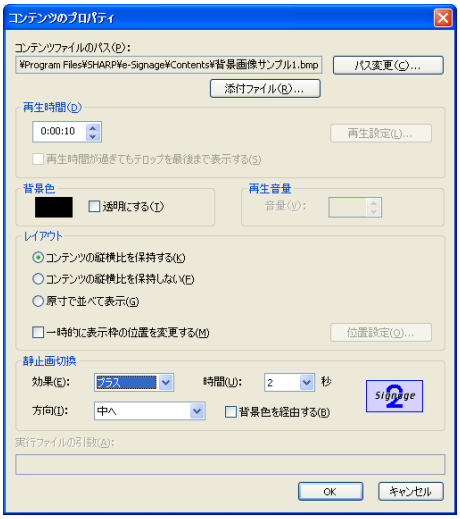
コンテンツを表示していないときの背景色



コンテンツが再生されていないときに、表示枠の範囲を指定した色で塗りつぶして表示します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、背景色を変更できます。

コンテンツのプロパティ

プレイリストのコンテンツファイルを選択し、 をクリックすると、［コンテンツのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。
次の内容の確認や設定ができます。



①コンテンツファイルのパス

コンテンツファイルのパスが表示されます。

- ［添付ファイル］をクリックして表示された［添付ファイル］ダイアログボックスでファイルを追加できます。
- ［パス変更］をクリックして表示された［ファイルを開く］ダイアログボックスでファイルを変更できます。

HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください。HTML ファイル内の添付ファイルの参照パスは、すべて相対パスで記述してください。

②再生時間

再生時間を設定できます。

- コンテンツタイプが動画、音声、テロップのとき、設定した再生時間よりも前にコンテンツ再生が終了した場合の動作を設定することができます。設定するときは、[再生設定] をクリックしてください。
- 「再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する」チェックボックスのチェックをはずした場合、テロップの再生時間が過ぎると再生が途中でも強制的に終了します（コンテンツタイプがテロップのとき有効）。
- プレイリストに同じコンテンツファイルを連続で並べた場合、再生時間が過ぎるとコンテンツの先頭に戻って再生を再開します。

③背景色

コンテンツタイプが静止画で、「コンテンツの縦横比を保持する」ラジオボタンをチェックした場合に、コンテンツの背景色を指定した色で塗りつぶして表示します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、背景色を変更できます。
「透明にする」チェックボックスをチェックすると、背景色が透明になります。

背景の場合、背景色を透明にすることはできません。

④再生音量

再生音量を設定できます。

⑤レイアウト

・「コンテンツの縦横比を保持する」/「コンテンツの縦横比を保持しない」/「原寸で並べて表示」ラジオボタン
「コンテンツの縦横比を保持しない」は、コンテンツタイプが静止画または Flash のとき選択できます。
「原寸で並べて表示」は、コンテンツタイプが静止画のとき選択できます。

・「一時的に表示枠の位置を変更する」チェックボックス
コンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、［位置設定］をクリックしてください。コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定することができます。表示位置は、背景表示枠を超えて設定できません。

⑥静止画切換

コンテンツタイプが静止画の場合、画面切換時の効果を設定できます。
それぞれのプルダウンメニューから選択します。
「時間」については、直接数値を入力することもできます。（0.1 ～ 999.9 秒）
「背景色を経由する」チェックボックスをチェックすると、画面切換時に背景色を表示する効果が加わります。

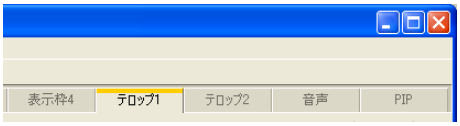
⑦実行ファイルの引数

実行ファイルの引数を表示します。

●テロップを設定する

テロップの内容、再生順序や再生時間などを設定します。
あらかじめテロップで表示する文章を入力したテロップファイルが必要です。
テロップファイルの作成方法については、53 ページを参照してください。

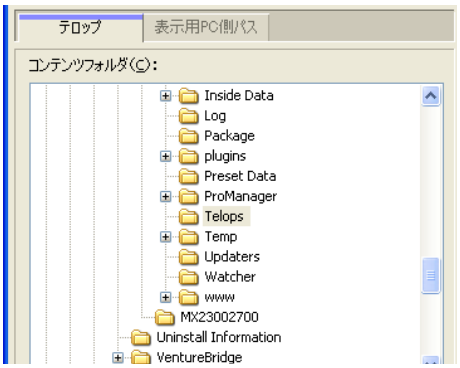
1 **［テロップ 1］または［テロップ 2］タブをクリックします。**



2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するテロップファイルが保存されているフォルダを選択します。**

［テロップ］タブが選択されていることを確認し、選択されていない場合は、［テロップ］タブをクリックしてください。

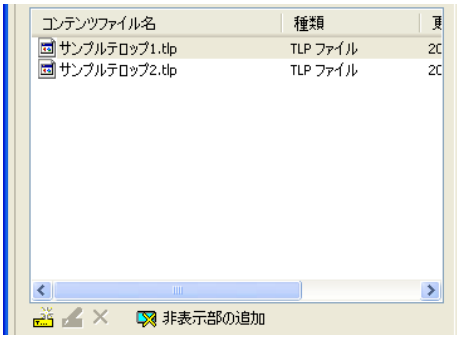
［表示用 PC 側パス］タブの「表示用 PC 側のファイルパス」で指定したコンテンツファイルを表示することもできます。表示用 PC の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダ（☞156 ページ）からの相対パスで指定してください。



3 **「コンテンツファイル」リストから使用するテロップファイルを選択します。**

テロップ 1、2 で使用できるファイル形式は、テロップファイル（.tlp）とテロップ用条件付きコンテンツファイル（.dct）のみです。

・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のテロップファイルを同時に選択することができます。
・テロップファイルのプレビューを確認することができます。ただし、全画面プレビューになります。（☞49 ページ）



「コンテンツファイル」リストの下にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	テロップの新規作成	テロップエディタが起動し、テロップの新規作成ができます。
	テロップの編集	テロップエディタが起動し、「コンテンツファイル」リストで選択されているテロップの編集ができます。
	テロップの削除	「コンテンツファイル」リストで選択されているテロップの削除ができます。
	非表示部の追加	プレイリストに非表示部を追加できます。非表示部も他のコンテンツファイルと同じように再生時間や再生順序を設定できます。

テロップエディタの詳細は、53 ページを参照してください。

4 をクリックします。

プレイリストの最後にテロップファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、49 ページを参照してください。

手順 3 でテロップファイルをダブルクリック、または「コンテンツファイル」リストのテロップファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。

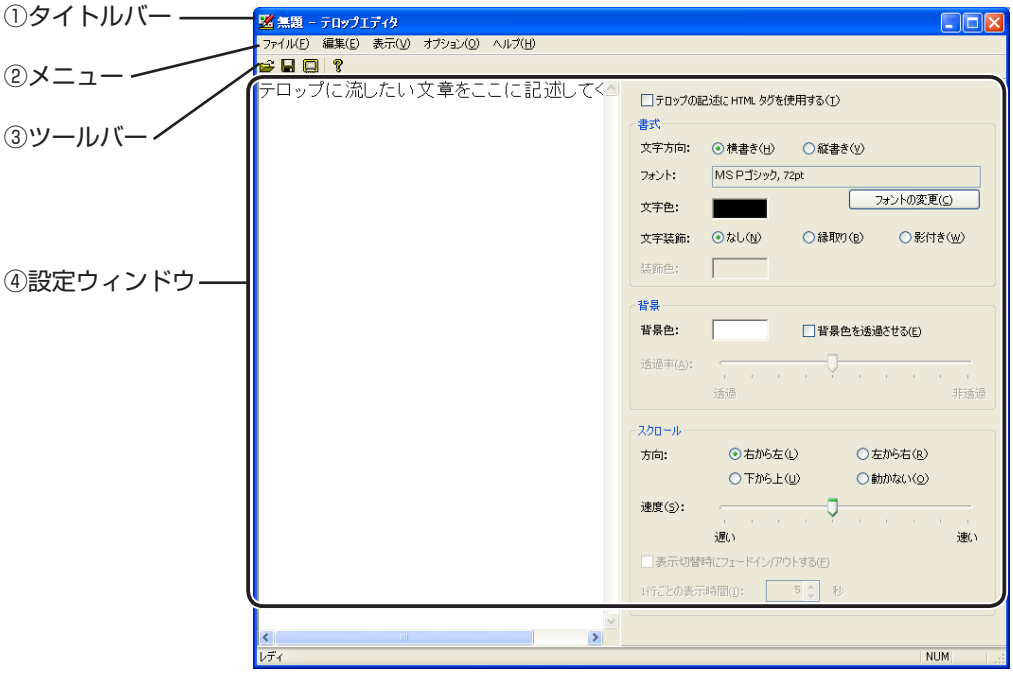
5 必要に応じて手順 1 ～ 4 を繰り返し、その他のテロップも設定します。

テロップファイルを作成する

テロップで流す文章を作成します。

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［テロップエディタ］の順にクリックします。**

「テロップエディタ」が起動します。



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。

開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「編集」、「表示」、「オプション」、「ヘルプ」の 5 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容
ファイル	テロップファイルの新規作成	新しいテロップファイルを開きます。
	テロップファイルを開く	保存されているテロップファイルを読み込みます。
	テロップファイルを保存	現在編集中のテロップファイルを保存します。
	別名で保存	現在編集中のテロップファイルに別の名前を付けて保存します。
	終了	テロップエディタを終了します。
編集	切り取り	「テロップ編集エディットボックス」で選択されている文字列を切り取ります。
	コピー	「テロップ編集エディットボックス」で選択されている文字列をコピーします。
	貼り付け	「テロップ編集エディットボックス」のカーソルの位置に、［切り取り］または［コピー］した文字列を貼り付けます。
	元に戻す	「テロップ編集エディットボックス」の直前の操作を元に戻します。
表示	テロップのプレビュー	現在編集中のテロップファイルのプレビューを表示します。 プレビューを終了するときは、【Esc】キーを押します。 プレビュー中にテロップ以外のウィンドウをクリックすると、【Esc】キーを押しても終了できません。いったんプレビューをクリックしてから【Esc】キーを押してください。
オプション	設定	テロップファイルの保存形式を設定します。（MBCS/UNICODE 形式が選択できます。）
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは次の通りです。

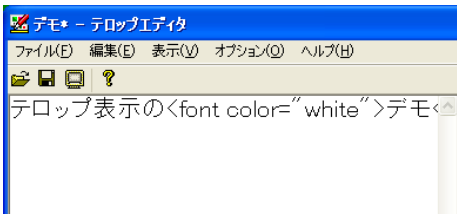
アイコン	メニュー名	内容
	テロップを開く	保存されているテロップファイルを読み込みます。
	テロップの上書き保存	現在編集中のテロップファイルを保存します。
	テロップのプレビュー	現在編集中のテロップファイルのプレビューを表示します。 プレビューを終了するときは、【Esc】キーを押します。 プレビュー中にテロップ以外のウィンドウをクリックすると、【Esc】キーを押しても終了できません。いったんプレビューをクリックしてから【Esc】キーを押してください。
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

④設定ウィンドウ

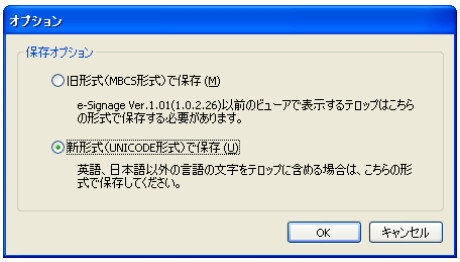
詳細は手順 2 以降を参照してください。

2 「テロップ編集エディットボックス」にテロップに流したい文章を入力します。

テロップの 1 行の文字数が多いほど、メモリを消費します。文字列長が長くなり過ぎないように、適当な箇所で改行することをお勧めします。



英語、日本語以外の言語の文字をテロップに含める場合は、［オプション］メニューから［設定］を選択して表示される［オプション］ダイアログボックスで、「新形式（UNICODE 形式）で保存」ラジオボタンを選択してください。
また、手順 3 の②でその言語に対応したフォントに変更してください。

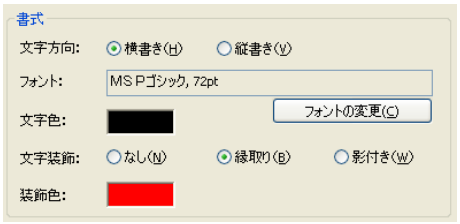


「テロップの記述に HTML タグを使用する」チェックボックスをチェックすると、「テロップ編集エディットボックス」内で、次の HTML タグを使用して、フォントの色や大きさなどを指定できます。

タグ	説明
<FONT>	テキストの色（COLOR）、大きさ（SIZE）、種類（FACE）を指定できます。
<B>	テキストを太字にします。
<I>	テキストを斜体（イタリック）にします。
<U>	テキストに下線（アンダーライン）を引きます。
<S>	打ち消し線を引きます。
<BIG>	テキストのサイズをひとまわり大きくします。
<SMALL>	テキストのサイズをひとまわり小さくします。

3 「書式」を設定します。

文字方向やフォント、文字装飾を設定します。
①「文字方向」の「縦書き」または「横書き」ラジオボタンを選択します。



② [フォントの変更] をクリックすると表示される [フォント] ダイアログボックスで、フォントを変更します。

・表示用 PC にも同じフォントがインストールされている必要があります。
・フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。

③「文字色」を設定します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、変更できます。

④「文字装飾」を「なし」、「縁取り」、「影付き」ラジオボタンから選択します。
「縁取り」または「影付き」を選択した場合は、「装飾色」の矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、装飾色を変更できます。

4 「背景」を設定します。

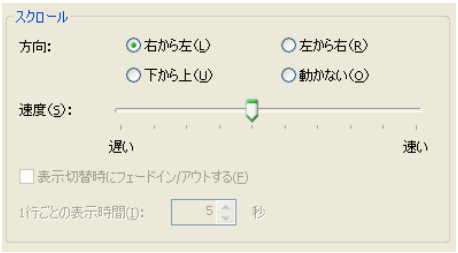
テロップの背景を設定します。

①「背景色」を設定します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、変更できます。

②「背景色を透過させる」チェックボックスをチェックすると、背景色を透過させることができます。
「透過率」のスライダーを左右にドラッグして、透過率（10 段階）を設定します。

・背景色を透過させない場合は、チェックしないでください。スライダーを右端の非透過にしても、完全に非透過にはなりません。
・チェックすると、背景色に設定されている色自体が透過されますので、「文字色」や「装飾色」が「背景色」と同じ場合は、「文字色」や「装飾色」も透過されます。
・動画の上に透過 / 半透過テロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。

5 「スクロール」を設定します。



テロップのスクロール方向と速度を設定します。

①「方向」を「右から左」、「左から右」、「下から上」または「動かない」ラジオボタンから選択します。

・「書式」で「縦書き」ラジオボタンを選択した場合は、「右から左」、「左から右」ラジオボタンを選択することはできません。
・「動かない」を選択した場合は、テロップが指定された範囲の中央に 1 行ずつ表示されます。（はみ出した部分は表示されません。）

②「速度」のスライダーを左右にドラッグして、スクロール速度（10 段階）を設定します。

・テロップの速度は、同じ設定でもパソコンの性能によって異なる場合があります。
・縦書きのテロップを使用する場合、すべての文字を全角にしてください。
・「背景色を透過させる」チェックボックスをチェックした場合、非透過のテロップと比較してスクロール速度が遅くなる場合があります。運用前にテロップを表示してテストすることをお勧めします。

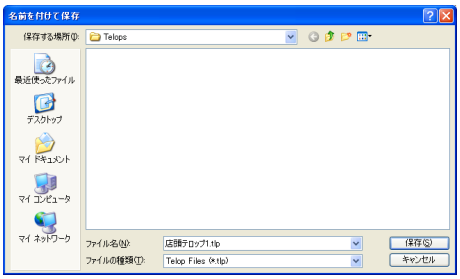
「動かない」ラジオボタンを選択した場合

③「1 行ごとの表示時間」を設定します。（0 ～ 9999 秒）
テロップが 1 行ずつ表示されます。その表示時間を設定します。

④ フェードイン・フェードアウトするかどうか設定します。
テロップの表示が切り替わるとき、現在表示されているテロップが除々に消え、次のテロップが除々に表示されるようにする場合は、「表示切替時にフェードイン／フェードアウト」チェックボックスをチェックしてください。

動画の上にフェードイン / フェードアウトするテロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。

6 ［ファイル］メニューから［テロップファイルを保存］をクリックします。
または をクリックします。



［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

7 「ファイル名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。

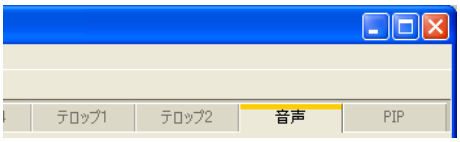
これでテロップファイルの作成は完了です。
テロップファイルは、C: ￥Program Files ￥SHARP ￥e-Signage ￥Telops に保存されます。

●音声および音楽を設定する

番組表示時の音声および音楽（BGM）を設定します。

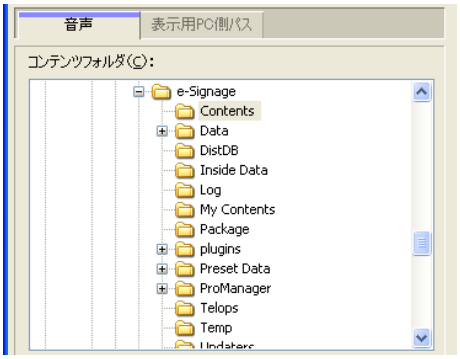
他の表示枠に音声付のコンテンツファイルを設定した場合は、両方が再生されます。

1 **［音声］タブをクリックします。**



2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するコンテンツファイルが保存されているフォルダを選択します。**

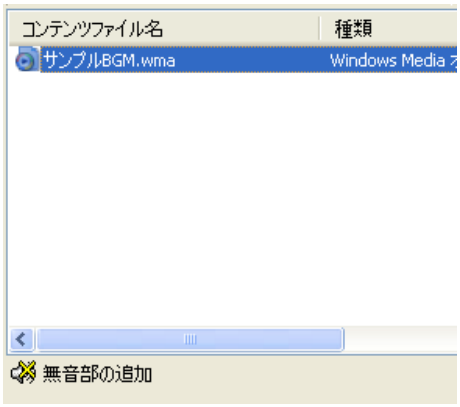
［音声］タブが選択されていることを確認し、選択されていない場合は、［音声］タブをクリックしてください。



［表示用 PC 側パス］タブの［表示用 PC 側のファイルパス］で指定したコンテンツファイルを再生することもできます。表示用 PC の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダ（☞156 ページ）からの相対パスで指定してください。

3 **「コンテンツファイル」リストから使用するコンテンツファイルを選択します。**

音声で使用できるファイル形式は、43 ページを参照してください。



・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のコンテンツファイルを同時に選択することができます。

・音声はレイアウトで配置することはできません。音声として使用するコンテンツファイルに動画を選択した場合、［コンテンツのプレビュー］ウィンドウではプレビューが表示されますが、番組の表示時には、音声のみが使用されます。

・「コンテンツファイル」リストの下にあるボタン（ ）「無音部の追加」をクリックすると、プレイリストに無音部を追加できます。無音部も他のコンテンツファイルと同じように再生時間や再生順序を設定できます。

4 **»» をクリックします。**

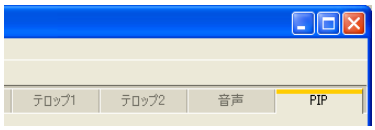
プレイリストの最後にコンテンツファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、49 ページを参照してください。

手順 3 でコンテンツファイルをダブルクリック、または「コンテンツファイル」リストのコンテンツファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。

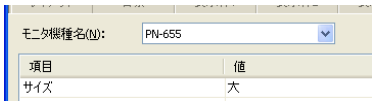
● PIP を設定する

PIP（Picture In Picture）機能を使用するときに配置した PIP 枠のサイズ、画面比率、入力ソース、音声ソース等を設定します。インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）のみ使用できます。

1 **［PIP］タブをクリックします。**



2 **「モニタ機種名」を選択します。**



3 **各項目の値を設定します。**

「値」のセルをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。

※ 表示される項目、値は選択されている「モニタ機種名」により異なります。

※ PIP の位置、サイズは、映像信号により多少ずれることがあります。

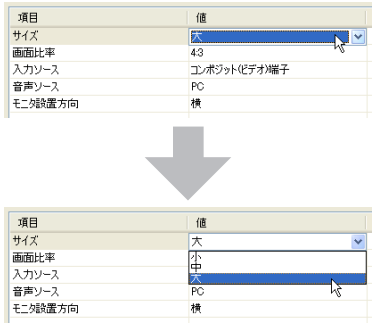
①「サイズ」を選択します。
画面比率によってサイズが異なります。

②「画面比率」を選択します。
※ 表示する映像に合わせて選択してください。

③「入力ソース」を選択します。

④「音声ソース」を選択します。

⑤「モニタ設置方向」を選択します。
※インフォメーションディスプレイ本体の設定を変更することはできません。ディスプレイの設定に合わせて値を選択してください。



●番組を保存する

作成した番組は、2 通りの方法で保存できます。

番組を上書き保存する

現在編集中の番組の名前を変えずに上書き保存します。

1 **［ファイル］メニューから［番組の上書き保存］をクリックします。**
または **をクリックします。**

サムネイル作成の確認メッセージが表示されます。

「番組エディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［番組を保存する］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「番組を別名で保存する」の手順 2 を参照してください。

2 **サムネイルを作成する場合は［はい］、作成しない場合は［いいえ］をクリックします。**

［はい］をクリックすると、サムネイル作成のため、小さな番組プレビューが表示されます。このプレビュー画面が消えるまで操作しないでください。

番組サムネイルの詳細は、59 ページを参照してください。

既にサムネイルを作成している場合は、［いいえ］をクリックしても番組サムネイルは削除されません。前のサムネイルが表示されます。

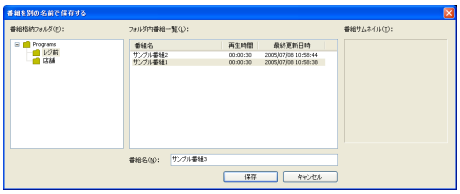
番組に名前を付けて保存する

現在編集中の番組に別の名前を付けて保存します。

1 **［ファイル］メニューから［番組に名前をつけて保存］をクリックします。**
［番組を別の名前で保存する］ダイアログボックスが表示されます。

2 **番組を保存する番組格納フォルダを選びます。**
番組格納フォルダの詳細は、下記を参照してください。

3 **「番組名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
サムネイル作成の確認メッセージが表示されます。

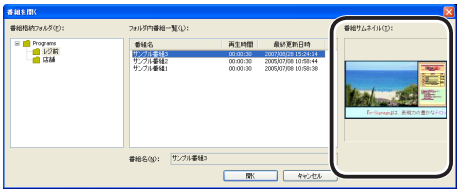


4 **サムネイルを作成する場合は［はい］、作成しない場合は［いいえ］をクリックします。**
［はい］をクリックすると、サムネイル作成のため、小さな番組プレビューが表示されます。このプレビュー画面が消えるまで操作しないでください。
番組サムネイルの詳細は、下記を参照してください。

既にサムネイルを作成している場合は、［いいえ］をクリックしても番組サムネイルは削除されません。前のサムネイルが表示されます。

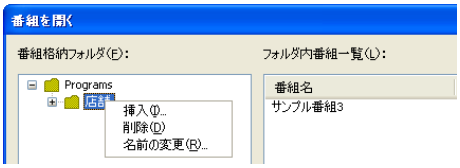
番組サムネイルについて

番組サムネイルを作成すると、番組を開く、保存、削除、インポート、エクスポートの各ダイアログボックス、およびタイムテーブルエディタの［番組］タブで、番組サムネイルが表示されます。

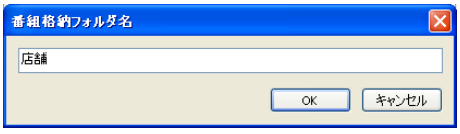


・動画部分が表示されない場合があります。
・PIP 機能を使用している場合、PIP 部分は表示されません。

番組格納フォルダについて



・番組の内容により、番組格納フォルダを区別して保存することができます。
・選択した番組格納フォルダ内の番組が「フォルダ内番組一覧」に表示されます。
・番組格納フォルダを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。



・挿入　：選択したフォルダの下に新しい番組格納フォルダを追加します。［番組格納フォルダ名］ダイアログボックスに名前を入力し、［OK］をクリックします。
・削除　：選択したフォルダを削除します。フォルダ内に番組がある場合は、削除できません。
・名前の変更：選択したフォルダの名前を変更します。［番組格納フォルダ名］ダイアログボックスに名前を入力し、［OK］をクリックします。

・第 1 階層の「Programs」フォルダは、削除や名前の変更はできません。
・フォルダ内に番組があるときは、削除できません。

・フォルダをドラッグ & ドロップして、フォルダの場所を変更できます。
・「フォルダ内番組一覧」の番組を別のフォルダにドラッグ & ドロップして、番組を移動できます。

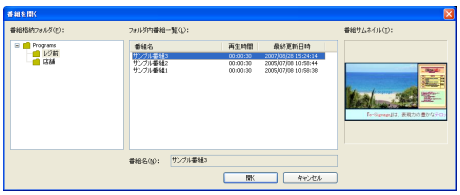
●番組を開く

保存されている番組の中から番組を指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よく番組を作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［番組を開く］をクリックします。**
または **をクリックします。**
［番組を開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **番組が保存されている番組格納フォルダを選びます。**

3 **「番組一覧」から番組を選択し、［開く］をクリックします。**
選択した番組が番組エディタに読み込まれ、編集できるようになります。



開いた番組を編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のファイルに反映されますので、注意してください。

●作成した番組を確認する

作成した番組をプレビュー表示して、確認することができます。
２つのプレビューで共通の内容になります。

1 **オリジナルサイズでプレビュー表示するときは、［表示］メニューから［番組のプレビュー［オリジナルサイズ］］をクリックします。**
または **をクリックします。**
現在編集中の番組のプレビューがオリジナルサイズで表示されます。

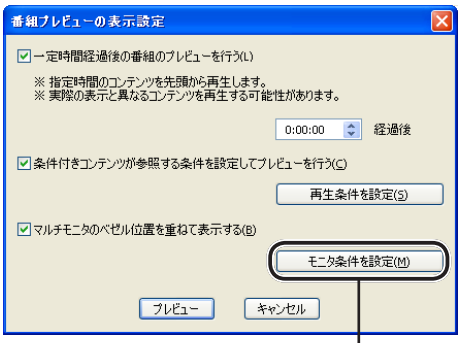
・【F5】キーを押してもプレビューを表示できます。
・[表示] メニューの [番組のプレビュー時に表示条件の設定を行う] にチェックすると、指定した日･時刻の番組、指定したパネルで表示する番組など、番組の条件を指定してプレビューを表示することができます。

画面にフィットさせてプレビュー表示するときは、［表示］メニューから［番組のプレビュー［画面にフィット］］をクリックします。
または **をクリックします。**
現在編集中の番組のプレビューが画面の大きさにフィットされて表示されます。

2 **プレビューを確認します。**
コンテンツタイプが PowerPoint およびテロップの場合は、表示優先順位に関係なく、最前面に表示されます。
PowerPoint のデータは、自動的に画面切り替え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。
番組表示中は、マウスやキーボードで操作（ウィンドウをクリックするなど）を行わないでください。
ウィンドウの表示順序が変わったり、コンテンツ再生内容が変わる可能性があります。

・プレビューを終了するときは、プレビュー画面をクリックして【Esc】キーを押します。
・作成した番組の画面サイズがパソコンのモニタの表示解像度より大きい場合は、プレビューを全画面表示することができません。

番組プレビューの表示設定について



［モニタ条件を設定］をクリックして、条件を設定します。

［表示］メニューの「番組プレビュー時に表示条件の設定を行う」にチェックすると、番組のプレビューをする時に、「番組プレビューの表示設定」画面が表示され、条件の設定を行った後、「プレビューボタン」をクリックすると、設定した条件でプレビューを行います。

・一定時間経過後の番組のプレビューを行う：
指定時間経過後の番組をプレビュー表示します。本機能を利用して番組プレビューを行った際、最初に表示されるコンテンツは必ずコンテンツの先頭から再生されるため、次のコンテンツへの切換タイミングは番組を先頭から再生する場合とは異なる可能性があります。

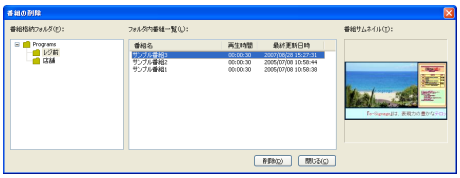
・条件付きコンテンツが参照する条件を設定してプレビューを行う：
［再生条件を設定］をクリックして条件を設定します。
条件付きコンテンツ再生時には［再生条件設定］で設定された条件に合うコンテンツが表示されます。
・「再生日」　：再生する番組の日を設定します。
・「再生時刻」：再生する番組の時刻を設定します。
・「パネル名」：再生する番組のパネルを設定します。
・「グループ」：再生するグループ名を設定します。
・「コメント」：番組を再生するパネルのコメントを設定します。

・マルチモニタのベゼル位置を重ねて表示する：
番組をマルチモニタで表示するときの、パネル間のベゼルの位置をプレビューで表示します。
※ベゼルの位置は、目安としてお考えください。
・「モニタ機種名」　：モニタの機種名を選択します。
・「マルチモニタ構成」：マルチモニタの構成を選択します。

●番組を削除する

不要になった番組を削除することができます。

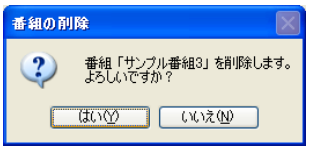
1 **［ファイル］メニューから［番組の削除］をクリックします。**
［番組の削除］ダイアログボックスが表示されます。



2 **番組が保存されている番組格納フォルダを選びます。**

3 **「番組一覧」から番組を選択し、［削除］をクリックします。**

4 **［はい］をクリックします。**
選択した番組が削除されます。



5 **［閉じる］をクリックします。**

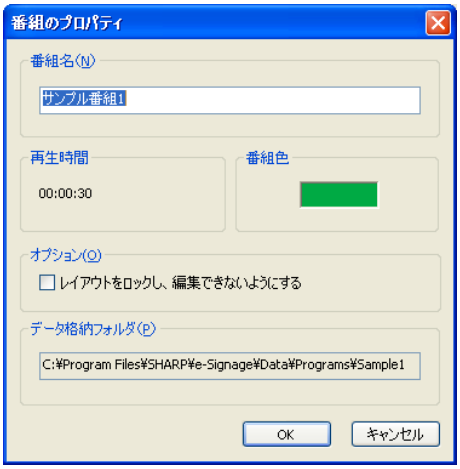
●番組のプロパティを表示する

番組名や番組色を変更することができます。

1 **［ファイル］メニューから［番組のプロパティ］をクリックします。**
または をクリックします。
［番組のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

「番組名」「再生時間」「オプション」、「データ格納フォルダ」が確認できます。

- 「番組名」を変更できます。
- 色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、番組色を変更できます。
- 「レイアウトをロックし、編集できないようにする」チェックボックスをチェックすると、レイアウトが編集できなくなります。番組エディタ操作中の操作ミスによるレイアウトの変更を防ぐときにチェックしてください。



「番組色」はタイムテーブルエディタで番組を表示する際の色です。

2 **［OK］をクリックします。**

再生時間は、番組に含まれるプレイリストが一通り再生される時間の目安です。コンテンツの再生設定で「コンテンツの再生を終了した時に次のコンテンツを再生する」が指定されている場合や条件付きコンテンツが含まれている場合には、表示されている再生時間と異なる場合があります。

●番組をインポート / エクスポートする

番組をエクスポートする

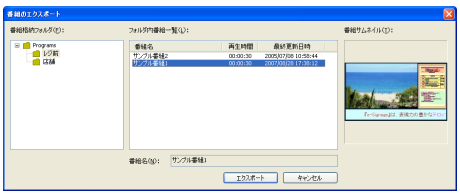
作成した番組を他のパソコンの e-Signage で利用するときは、エクスポート機能で番組を書き出します。

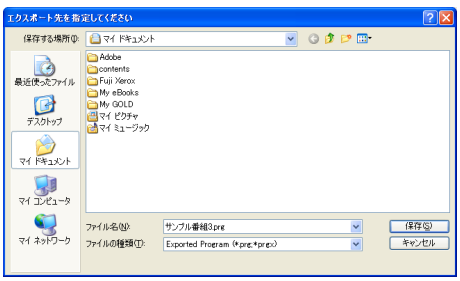
1 **［ファイル］メニューから［番組のエクスポート］をクリックします。**
［番組のエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。

2 **番組が保存されている番組格納フォルダを選びます。**

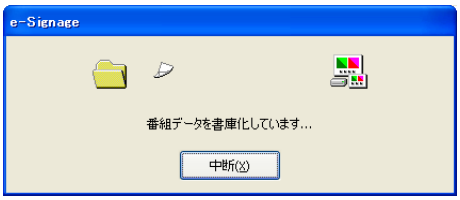
3 **「番組一覧」から番組を選択し、［エクスポート］をクリックします。**
［エクスポート先を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

4 **保存場所を指定し、「ファイル名」を入力して、［保存］をクリックします。**





エクスポート中は右のような画面が表示されます。エクスポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。



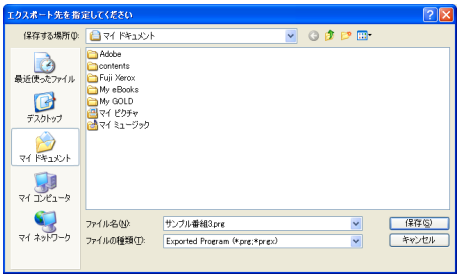
5 **［OK］をクリックします。**
これで番組のエクスポートは完了です。

番組をインポートする

他のパソコンの e-Signage で作成した番組を利用するときは、エクスポートされた番組をインポート機能で読み込みます。

1 **［ファイル］メニューから［番組のインポート］をクリックします。**
［インポートする番組データを指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

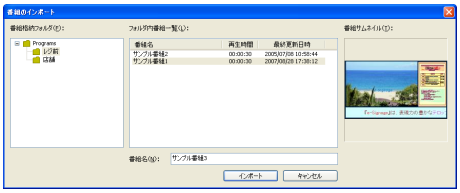
2 **インポートするファイル（.prg）または（.prgx）を選択し、［開く］をクリックします。**
［番組のインポート］ダイアログボックスが表示されます。



インポートの準備中は右のような画面が表示されます。インポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。

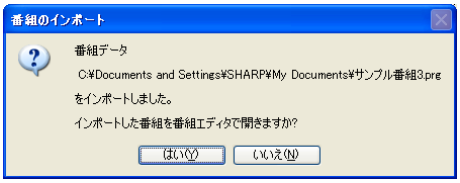
3 **番組を保存する番組格納フォルダを選びます。**

4 **「番組名」に名前を入力し、［インポート］をクリックします。**



5 **コンテンツのインポート先フォルダを選択し、[OK] をクリックします。**

6 **［はい］をクリックします。**
入力したファイル名で番組が保存されます。
これで番組のインポートは完了です。

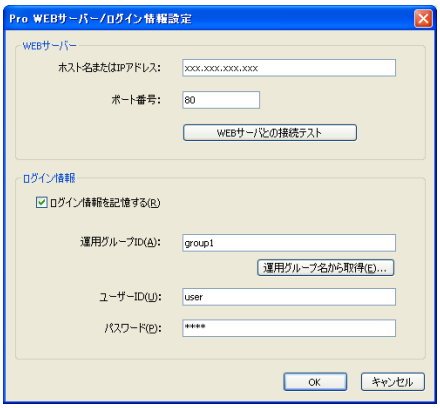


管理用 PC へのログイン情報を設定する

管理用 PC にログインするための設定を行います。
作成したデータを管理用 PC へアップロードやダウンロード、またサーバー上のデータを削除するときは、管理用 PC にログインする必要があります。

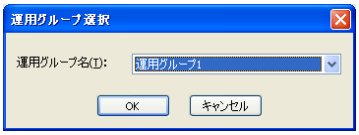
1 **[Pro WEB サーバー] メニューから、[WEB サーバー / ログイン情報設定] をクリックします。**
Pro WEB サーバー / ログイン情報設定画面が表示されます。

2 **各項目を設定します。**



①ホスト名または IP アドレス
管理用 PC のホスト名または IP アドレスを設定します。
②ポート番号
ポート番号を設定します。デフォルトでは 80 に設定されています。
①②の設定後、[WEB サーバーとの接続テスト] をクリックして管理用 PC への接続確認を行ってください。
③運用グループ
ログイン時の運用グループを入力します。

[運用グループ名から取得] をクリックすると、運用グループ選択画面が表示されます。リストボックスから運用グループを選択してください。



④ユーザー ID
ログイン時のユーザー ID を入力します。
⑤パスワード
ログイン時のパスワードを入力します。

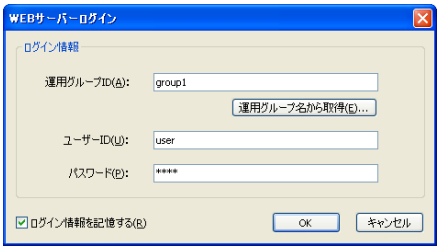
3 **[OK] をクリックします。**

・「ログイン情報を記憶する」チェックボックスにチェックを入れると、入力したログイン情報が記憶されます。
・③～⑤は、ログイン情報を記憶するときに入力してください。
・プロキシサーバーの設定は Internet Explorer の設定を引き継ぎます。

●ログイン情報を入力する

操作用 PC から管理用 PC へデータのアップロード・ダウンロード・サーバー上のデータ削除を行う場合、ログイン情報を入力する必要があります。

1 **[Pro WEB サーバー] メニューから、[運用グループ / ユーザーの切り替え] をクリックします。**
・ログイン可能なユーザーは、運用グループ作成時に作成した初期ユーザー (☞30 ページ)、管理者ユーザー (☞33 ページ)、およびユーザー登録にて登録したユーザー（☞143 ページ）です。
・操作方法は、上記「管理用 PC へのログイン情報を設定する」手順２の③～⑤と同じです。
・「ログイン情報を記憶する」チェックボックスにチェックを入れると、入力したログイン情報が記憶され、エディタを終了するまでは記憶されたログイン情報で管理用 PC への接続を自動的に行います。

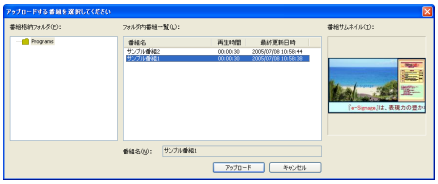


番組・コンテンツ・テロップをアップロード／ダウンロードする

番組をアップロードする

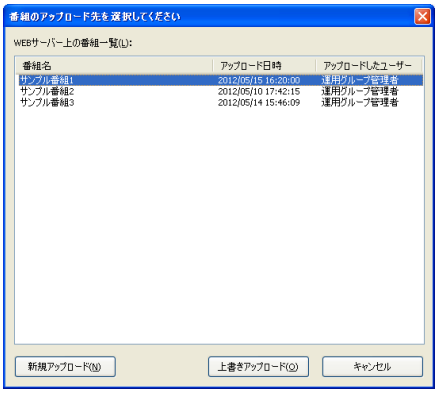
作成した番組を管理用 PC へアップロードします。

1 **[Pro WEB サーバー] メニューから、[番組のアップロード] をクリックします。**
ダイアログが表示されます。



2 **アップロードする番組を選択し、[アップロード] をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

3 **ログイン情報を入力します。**
入力後、番組一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。



4 **[新規アップロード] をクリックします。アップロード済みの番組を上書きする場合は [上書きアップロード] をクリックします。**

5 **［OK］をクリックします。**
これで番組のアップロードは完了です。

ファイルサイズの大きな番組をアップロードした場合、サーバーへのアップロード完了後、データの展開に時間が掛かります。そのため、サーバー上に番組の変更が反映されるまで、数秒から 1 分程度の時間が掛かることがあります。

コンテンツ・テロップをアップロードする

コンテンツ・テロップを管理用 PC へアップロードします。

1 **[Pro WEB サーバー] メニューから、[マイコンテンツのアップロード]、または [テロップのアップロード] をクリックします。**

2 **アップロードするデータを選択し、[開く] をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

3 **ログイン情報を入力します。**
入力後、番組一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

4 **アップロードするファイル名を指定し、［OK］をクリックします。**
アップロードが完了したことを表すダイアログボックスが表示されます。

5 **［OK］をクリックします。**
これでコンテンツ・テロップのアップロードは完了です。

アップロードしたデータがサーバー上で反映されリストに表示されるまでに少し時間が掛かる場合があります。

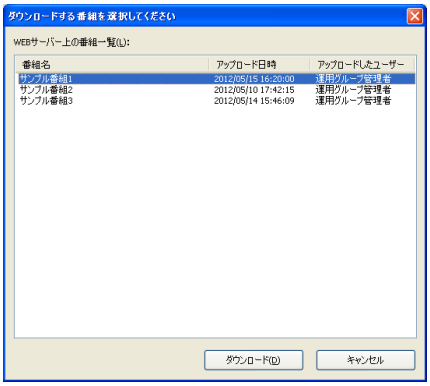
番組をダウンロードする

管理用 PC に保存されている番組を操作用 PC にダウンロードします。

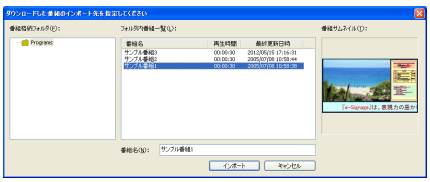
1 **［Pro WEB サーバー］メニューから［番組のダウンロード］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、番組一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

3 **「WEB サーバー上の番組一覧」から番組を選択し、［ダウンロード］をクリックします。**



4 **保存先のフォルダを選択し、［インポート］をクリックします。**
「ダウンロードした番組を番組エディタで開きますか？」と表示されます。



5 **［はい］、または［いいえ］をクリックします。**
これで番組のダウンロードは完了です。

コンテンツ・テロップをダウンロードする

管理用 PC に保存されているコンテンツ・テロップを操作用 PC へダウンロードします。

1 **[Pro WEB サーバー] メニューから、[マイコンテンツのダウンロード]、または [テロップのダウンロード] をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、データー覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、データー覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

3 **データー覧からデータを選び、[OK] をクリックします。**

4 **保存先を指定し、[保存] をクリックします。**
ダウンロードが完了したことを表すダイアログボックスが表示されます。

5 **［OK］をクリックします。**
これでコンテンツ・テロップのダウンロードは完了です。

サーバー上の番組・コンテンツ・テロップを削除する

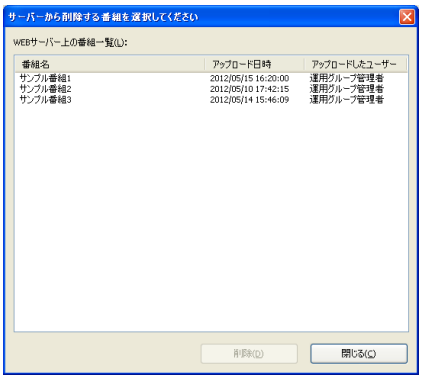
サーバー上の番組を削除する

管理用 PC に保存されている番組を削除します。

1 **［Pro WEB サーバー］メニューから［サーバー上の番組を削除］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、番組一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

3 **「WEB サーバー上の番組一覧」から番組を選択し、［削除］をクリックします。**



4 **［はい］をクリックします。**
選択した番組が削除されます。

サーバー上のコンテンツ・テロップを削除する

管理用 PC に保存されているコンテンツ・テロップを削除します。

1 **［Pro WEB サーバー］メニューから［サーバー上のマイコンテンツを削除］または［サーバー上のテロップを削除］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、ファイル一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、ファイル一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

3 **ファイル一覧からファイルを選択し、［削除］をクリックします。**

4 **［はい］をクリックします。**
選択したコンテンツまたはテロップが削除されます。

多数の番組やコンテンツ・テロップを管理用 PC にアップロードすると、管理用 PC のディスク容量が低下します。不要になった番組やコンテンツ・テロップは定期的に削除してください。

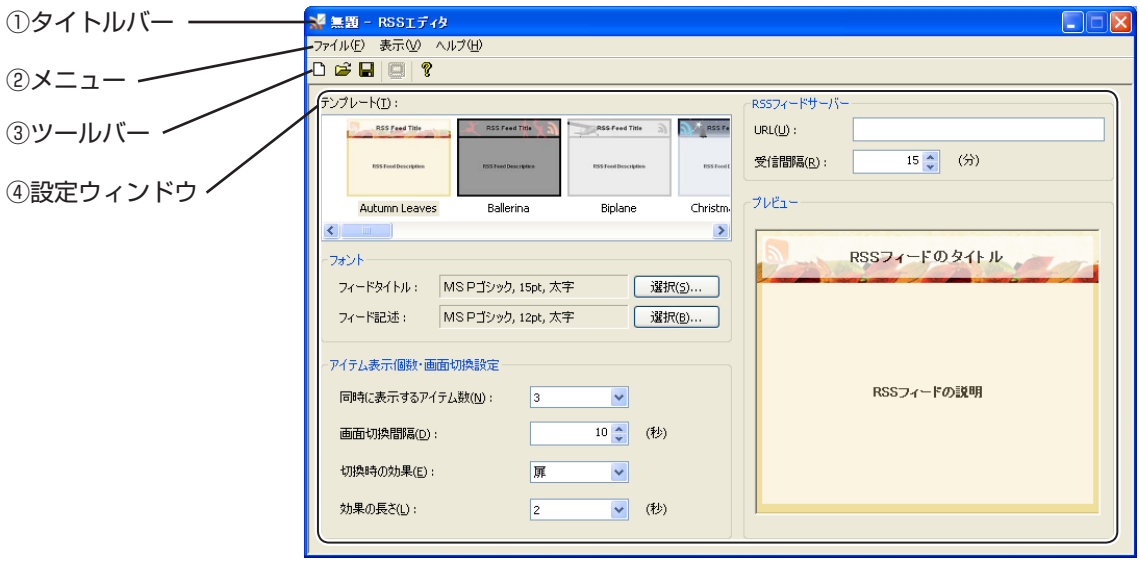
RSS エディタ

e-Signage Pro WEB サーバー版では、RSS フィードをイントラネットやインターネット上のサーバーから受信し、表示用 PC で表示することができます。
作成された RSS 設定ファイル（.erc ファイル）は、番組エディタでコンテンツとして利用できます。

● RSS 設定ファイルを作成する

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［RSS エディタ］の順にクリックします。**
「RSS エディタ」が起動します。

● RSS エディタの基本画面



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「＊（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「表示」、「ヘルプ」のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容
ファイル	新規作成	新しいファイルを開きます。
	開く	保存されている RSS 設定ファイルを読み込みます。
	上書き保存	現在編集中の RSS 設定ファイルを保存します。
	名前を付けて保存	現在編集中の RSS 設定ファイルに別の名前を付けて保存します。
	終了	RSS エディタを終了します。

メニュー名		内容
表示	基本	テンプレートを利用して RSS 設定ファイルを編集します。
	拡張	デザインをユーザー独自に指定して RSS 設定ファイルを編集します。 CSS(スタイルシート) を利用することもできます。
	プレビュー	現在編集中の RSS 設定ファイルのプレビューを表示します。 プレビューウィンドウのサイズで表示されます。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは次の通りです。

アイコン	メニュー名	内容
	新規作成	RSS 設定ファイルを新規作成します。
	開く	保存されている RSS 設定ファイルを読み込みます。
	上書き保存	現在編集中の RSS 設定ファイルを保存します。
	プレビュー	現在編集中の RSS 設定ファイルのプレビューを表示します。プレビューを終了するときは、【Esc】キーを押します。
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

④設定ウィンドウ

詳細は手順 2 以降を参照してください。

2 「テンプレート」を選択します。

RSS フィードの画面表示のデザインを、用意されているテンプレートから選択します。

3 「RSS フィードサーバー」を設定します。

①「URL」

RSS フィードを取得するサーバーの URL を入力します。

②「受信間隔」

RSS フィードを何分ごとに取得するかを指定します。（最大 60 分）

4 フォントを指定します。

①フィードタイトル

RSS フィードのタイトル部分に表示されるフォントを設定します。[選択] をクリックしてフォントを指定します。

②フィード記述

RSS フィードの本文部分に表示されるフォントを選択します。[選択] をクリックしてフォントを指定します。

5 **アイテム表示個数・画面切換設定を指定します。**

①「同時に表示するアイテム数」
画面上に表示されるアイテム個数をリストボックスより選択します。（最大 7 個）

②「画面切換間隔」
画面上に表示されるアイテムを何秒間隔で切り換えるかを指定します。

③「切換時の効果」
アイテムを更新するときのスライドショーエフェクトを指定します。

④「効果の長さ」
スライドショーエフェクトの秒数を指定します。

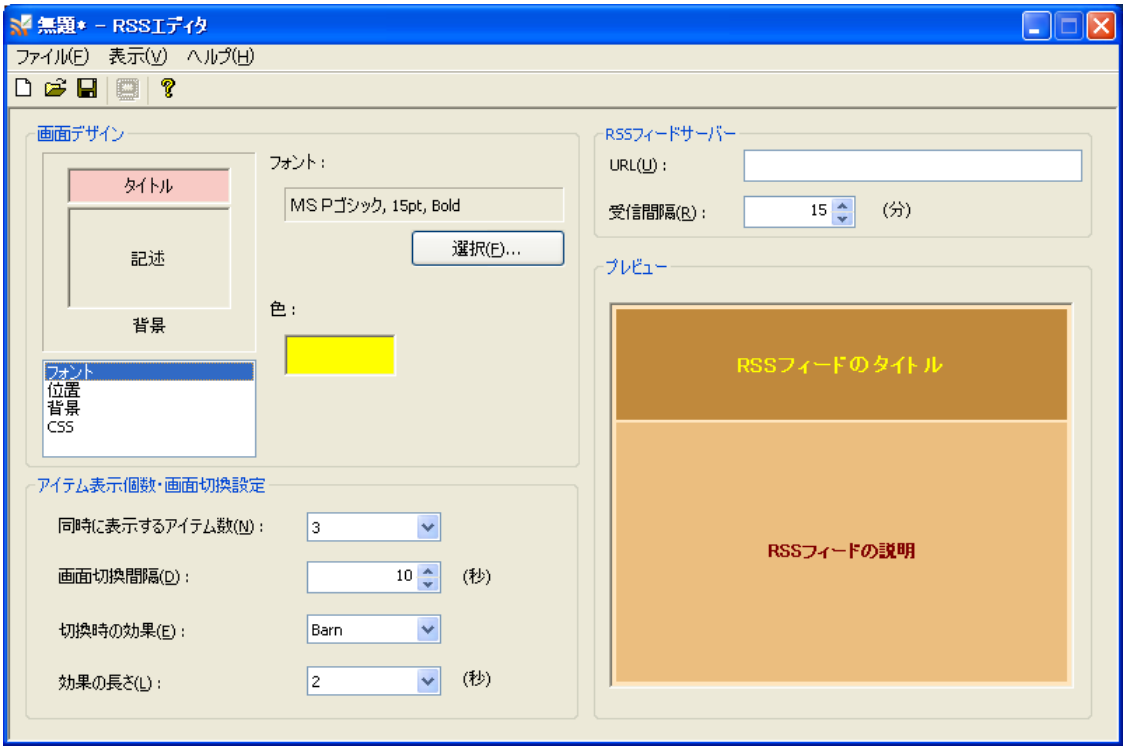
6 **［ファイル］メニューから［上書き保存］をクリックします。または をクリックします。**

［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されますので [保存] をクリックします。
RSS 設定ファイルは、以下のフォルダに保存されます。
・C:\ProgramData\SHARP\e-Signage\RSSConfig (Windows Vista/7/8)
・C:\Program Files\SHARP\e-Signage\RSSConfig (Windows XP)

これで RSS 設定ファイルの作成は完了です。

・RSS フィードの表示には、表示用 PC の Internet Explorer が利用されます。
・表示用 PC にインストールされる Internet Explorer のバージョンによって表示内容が異なることがあります。

[表示] メニューから [拡張] をクリックすると、画面デザインをより詳細に指定することができます。



①「タイトル」「記述」「背景」

クリックすると、それぞれの要素（フォント、位置、背景、CSS）を設定することができます。

②要素

「フォント」

[選択] をクリックし、フォントの種類、スタイル、サイズを指定します。

パレットをクリックして表示される [色の設定] ダイアログでフォント色を指定します。

「位置」

RSS フィードの横位置と縦位置をリストボックスから選択します。

「背景」

背景画像または背景色をラジオボタンより選択します。

「CSS」

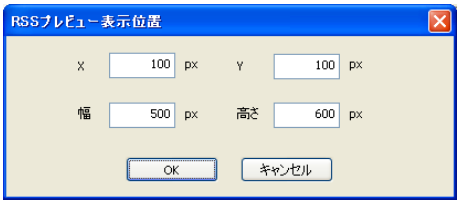
カスケード・スタイルシート（CSS）で指定したスタイルを記述します。

「画面デザイン」以外の項目は、基本モードの操作と同様です。

●プレビューを表示する

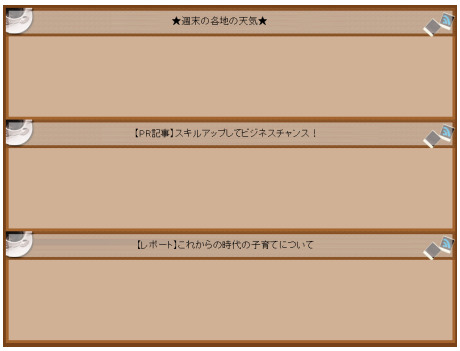
1 [表示] メニューの [プレビュー] をクリック、または をクリックします。

2 プレビューウィンドウの表示位置、表示サイズを入力します。



3 プレビューウィンドウでプレビューを確認します。

4 【ESC】キーを押してプレビューウィンドウを閉じます。



条件付きコンテンツ

番組エディタでプレイリストを作るときに、コンテンツの大部分が同じで、一部分のみ違うプレイリストを複数作る場合があります。このようなときは、条件付きコンテンツを使用すれば、指定した条件に従って、異なる部分のみを変更するプレイリストを表示できます。

条件付きコンテンツエディタの基本画面について

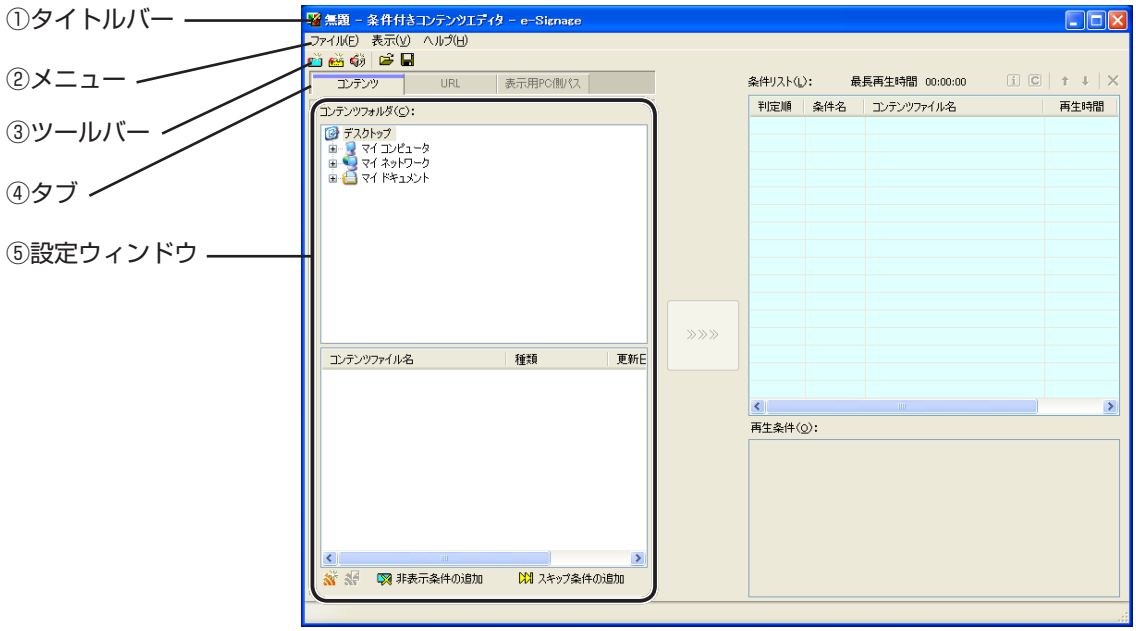
●条件付きコンテンツエディタを起動する

1 **Windowsタスクバーの[スタート]ボタンから[すべてのプログラム]－[SHARP e-Signage]－[各種ツール]－[条件付きコンテンツエディタ]の順にクリックします。**

「条件付きコンテンツエディタ」が起動します。

※ 番組エディタのプレイリストから、「条件付きコンテンツに置き換える」を選択して、プレイリストに登録かつ編集することも可能です。

●条件付きコンテンツエディタの基本画面



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。

開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「＊（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「表示」、「ヘルプ」の 3 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容
ファイル	条件付きコンテンツの新規作成	新しいファイルを開きます。
	条件付きコンテンツを開く	保存されている条件付きコンテンツを読み込みます。
	条件付きコンテンツの上書き保存	現在編集中の条件付きコンテンツを保存します。
	条件付きコンテンツに名前を付けて保存	現在編集中の条件付きコンテンツに別の名前を付けて保存します。
	条件付きコンテンツ作成・編集の終了	条件付きコンテンツエディタを終了します。
表示	コンテンツのプレビュー	現在編集中の条件付きコンテンツのプレビューを表示します。 プレビューウィンドウのサイズで表示されます。
	最新の情報に更新	e-Signage を起動後、条件付きコンテンツフォルダ内のコンテンツファイルを追加・削除した場合に、コンテンツフォルダ内の内容を更新できます。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは次の通りです。

アイコン	メニュー名	内容
	背景・表示枠用条件付きコンテンツの新規作成	背景・表示枠用の条件付きコンテンツを新規作成します。
	テロップ用条件付きコンテンツの新規作成	テロップ用の条件付きコンテンツを新規作成します。
	音声用条件付きコンテンツの新規作成	音声用の条件付きコンテンツを新規作成します。
	条件付きコンテンツを開く	保存されている条件付きコンテンツを読み込みます。
	条件付きコンテンツの保存	条件付きコンテンツを保存します。

④タブ

「コンテンツ」、「ＵＲＬ」、「表示用 PC 側パス」の 3 種類のタブがあります。クリックすると、各項目の設定ウィンドウに切り替わります。

⑤設定ウィンドウ

選択したタブの詳細を設定します。

条件付きコンテンツを作成する

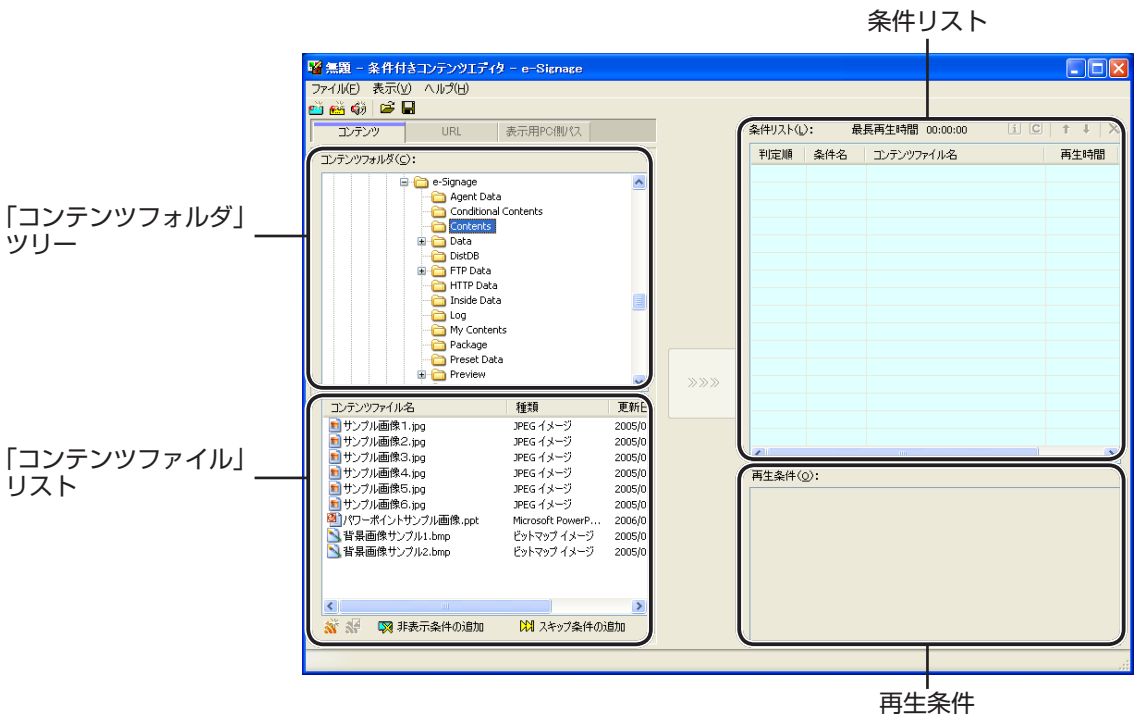
●使用できるコンテンツファイル

コンテンツとして使用できるファイル形式は次の通りです。

条件付きコンテンツの種類	使用できるファイルの拡張子
背景、表示枠	.jpg, .jpeg, .gif, .png, .bmp, .avi, .mpeg, .mpg, .wmv, .asf, .mov, .swf, .ppt, .pptx, .pps, .ppsx, .htm, .html, .exe
テロップ	.tlp
音声	.wav, .mp3, .au, .aif, .aiff, .wma, .mid, .midi, .mov
RSS 設定ファイル	.erc

●条件付きコンテンツを設定する

条件付きコンテンツの条件名、再生開始日時や表示用 PC のパネル属性などを設定します。



1 「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するコンテンツファイルが保存されているフォルダを選択します。

「URL」または［表示用 PC 側パス］を指定して表示することもできます。

［URL］タブ

指定した「URL」の HTML をコンテンツとして表示します。
表示用 PC から参照できる「URL」を入力してください。
ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境であれば、［URL の確認］をクリックすると、入力した URL に接続されます。
正しく接続されるか、また正しく表示されるかを確認してください。

［表示用 PC 側パス］タブ

「表示用 PC 側のファイルパス」で指定したコンテンツファイルを表示します。EXE ファイルを指定することができます。表示用 PC から参照できるパスを入力してください。EXE ファイルの場合、「実行ファイルの引数」を付加することもできます。

・頻繁に更新されないファイルサイズの大きなコンテンツファイルを表示する場合には、そのファイルをあらかじめ表示用 PC に配置し、それぞれを参照するパスのみを送信することで番組コンテンツ送信にかかる時間を短縮できます。
・表示用 PC の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダ (☞156 ページ) からの相対パスで指定してください。
・次の引数が利用できます。
　%L　：表示枠の左上 X
　%T　：表示枠の左上 Y
　%W：表示枠の幅
　%H　：表示枠の高さ
・e-Signage では、指定された実行形式ファイルを指定時間に起動 / 終了するのみで、起動された実行形式ファイルの動作を保証するものではありません。
・実行するプログラムの仕様によっては、正常に起動 / 終了できなかったり、正しい位置にウィンドウを表示できない場合があります。

2 「コンテンツファイル」リストから使用するコンテンツファイルを選択します。

背景および表示枠で使用できるファイル形式は、75 ページを参照してください。

・［コンテンツのプレビュー］ウィンドウで、コンテンツファイルのプレビューを確認することができます。(☞77 ページ)
・HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください（添付ファイル）。
コンテンツファイルのプロパティから追加できます。(☞78 ページ)
添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。

3 **»»** **をクリックします。**

条件リストの最後にコンテンツファイルが登録されます。

条件リストに対して再生条件を設定する詳細な方法は、79 ページを参照してください。

- 手順 3 でコンテンツファイルをダブルクリック、または「コンテンツファイル」リストのコンテンツファイルを「条件リスト」にドラッグしても、登録できます。
- 画面左下の をクリックすると、コンテンツを非表示にする条件を設定することができます。
- 画面左下の をクリックすると、コンテンツの音声を流さない条件を設定することができます。
- 画面左下の をクリックすると、条件付きコンテンツをスキップして次のプレイリストを再生する条件を設定することができます。
- 再生条件を設定すると条件リストの下の枠に、選択した条件リストの再生条件が表示されます。
- 条件リストのコンテンツファイルは、【Ctrl】キーを押しながらドラッグ＆ドロップするとコピーすることができます。
- 「コンテンツファイル」リストの下にあるボタン（ ）または（ ）をクリックすることで、RSS 設定ファイルの新規作成または編集を行うことができます。(☞68 ページ)

コンテンツのプレビュー

［コンテンツのプレビュー］ウィンドウでコンテンツファイルのプレビューを確認することができます。

［表示］メニューから［コンテンツのプレビュー］をクリックして表示できます。

次のファイルは、プレビューがすぐに表示されません。［コンテンツのプレビュー］ウィンドウに表示されたアイコン（テロップの場合は文字列）をクリックすると、プレビューが表示されます。

- 2MB 以上のファイル
- 動画ファイル
- PowerPoint（全画面プレビューになります。）
- テロップ（全画面プレビューになります。）

条件付きコンテンツについて

リストの再生時に上から順に、条件チェックを行い、条件にマッチした最初のコンテンツのみが表示されます。どの条件にもマッチしなかった場合は、スキップされます。

再生時間は、コンテンツを再生する時間です。

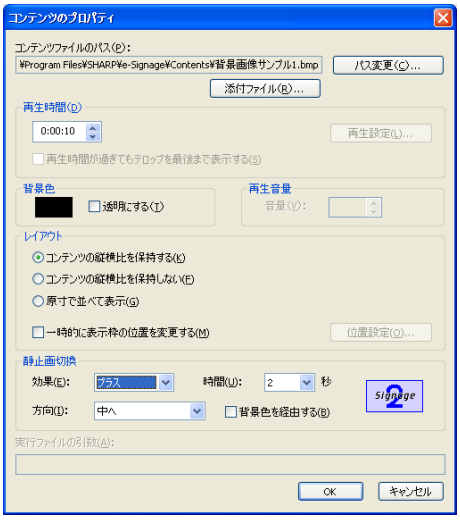
最長再生時間には、条件リストに登録されているコンテンツの中で最も再生時間が長いコンテンツの再生時間が表示されます。

条件リストの右上にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	登録コンテンツの プロパティ表示	選択されているコンテンツファイルのプロパティを表示します。 詳細は、下記を参照してください。
	登録コンテンツの再生条件を設定	選択されているコンテンツの再生条件を設定します。 詳細は、79 ページを参照してください。
	登録コンテンツを上へ移動	選択されているコンテンツファイルの順番を1つ前(上)に移動します。 (複数のコンテンツファイルを移動することはできません。)
	登録コンテンツを下へ移動	選択されているコンテンツファイルの順番を1つ後(下)に移動します。 (複数のコンテンツファイルを移動することはできません。)
	登録コンテンツの削除	選択されているコンテンツファイルを条件リストから削除します。 【Delete】キーを押しても削除できます。

コンテンツのプロパティ

条件リストのコンテンツファイルを選択し、 をクリックすると、[コンテンツのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
次の内容の確認や設定ができます。



①コンテンツファイルのパス

コンテンツファイルのパスが表示されます。

・[添付ファイル]をクリックして表示された[添付ファイル]ダイアログボックスでファイルを追加できます。

・[パス変更]をクリックして表示された[ファイルを開く]ダイアログボックスでファイルを変更できます。

HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください。HTML ファイル内の添付ファイルの参照パスは、すべて相対パスで記述してください。

②再生時間

再生時間を設定できます。

・コンテンツタイプが動画、音声、テロップのとき、設定した再生時間よりも前にコンテンツ再生が終了した場合の動作を設定することができます。設定するときは、[再生設定]をクリックしてください。

・「再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する」チェックボックスのチェックをはずした場合、テロップの再生時間が過ぎると再生が途中でも強制的に終了します(コンテンツタイプがテロップのとき有効)。

③背景色
コンテンツタイプが静止画で、「コンテンツの縦横比を保持する」ラジオボタンをチェックした場合に、コンテンツの背景色を指定した色で塗りつぶして表示します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、背景色を変更できます。
「透明にする」チェックボックスをチェックすると、背景色が透明になります。

背景表示枠で再生される場合、背景色を透明にすると黒で表示されます。

④再生音量
再生音量を設定できます。

⑤レイアウト
・「コンテンツの縦横比を保持する」/「コンテンツの縦横比を保持しない」/「原寸で並べて表示」ラジオボタン
「コンテンツの縦横比を保持しない」は、コンテンツタイプが静止画または Flash のとき選択できます。
「原寸で並べて表示」は、コンテンツタイプが静止画のとき選択できます。
・「一時的に表示枠の位置を変更する」チェックボックス
コンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、［位置設定］をクリックしてください。コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定することができます。

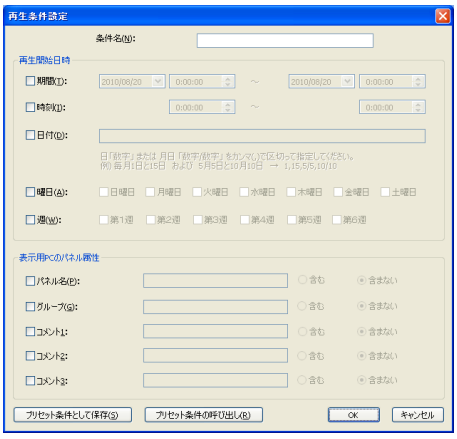
⑥静止画切換
コンテンツタイプが静止画の場合、画面切換時の効果を設定できます。
それぞれのプルダウンメニューから選択します。
「時間」については、直接数値を入力することもできます。（0.1 ～ 999.9 秒）
「背景色を経由する」チェックボックスをチェックすると、画面切換時に背景色を表示する効果が加わります。

⑦実行ファイルの引数
実行ファイルの引数を表示します。

再生条件設定

条件リストのコンテンツファイルを選択し、 をクリックすると、［再生条件設定］ダイアログボックスが表示されます。
リスト内のファイルを選択して右クリックし、「再生条件設定」を選択しても表示することができます。
次の内容の確認や設定ができます。
複数の条件を設定した場合、すべての条件に一致した時に再生を行います。

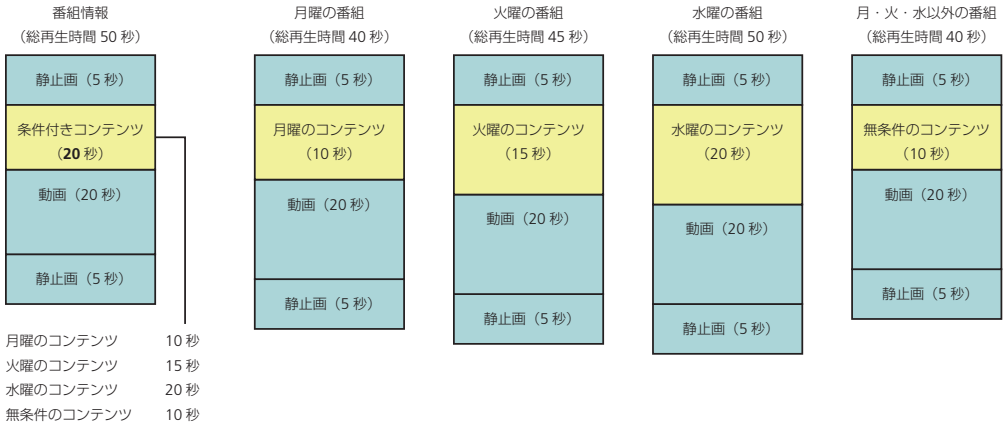
①条件名
再生条件名を設定できます。
②期間
開始日と終了日を設定できます。
③時刻
開始時間と終了時間を設定できます。
④日付
再生する日を設定できます。
⑤曜日
再生する曜日を設定できます。
日曜日と月曜日のように複数の曜日を選択できます。



⑥週
毎月の何週目に再生するかを設定できます。第 1 週と第 3 週のように、複数の週を設定できます。
⑦パネル名
入力した文字を含むパネルで再生する、または含まれないパネルで再生するを設定できます。
⑧グループ
入力した文字を含むグループで再生する、または含まれないグループで再生する、を設定できます。
⑨コメント
入力した文字を含むコメントが設定されたパネルで再生する、または含まれないパネルで再生するを設定できます。

- 再生条件設定のうち、パネル名、グループ、コメントの条件は、条件付きコンテンツの再生時に表示用 PC 側のクライアントスケジューラで設定されているパネル属性情報が参照されます。
- あらかじめ表示用 PC にパネル属性情報を設定しておくことで、複数の表示用 PC に同一の条件付きコンテンツを配信して表示用 PC 毎にコンテンツを表示させることができます。
- 表示用 PC にパネル属性情報を設定する方法は、157 ページを参照ください。

条件付きコンテンツと総再生時間の関係



この中での最長時間が条件付きコンテンツエディタで終了した時点で、番組エディタに反映されます。

タイムテーブル作成・編集

番組エディタで作成した番組を 1 日のどの時間に表示するかを設定する方法について説明します。

タイムテーブルエディタの基本画面について

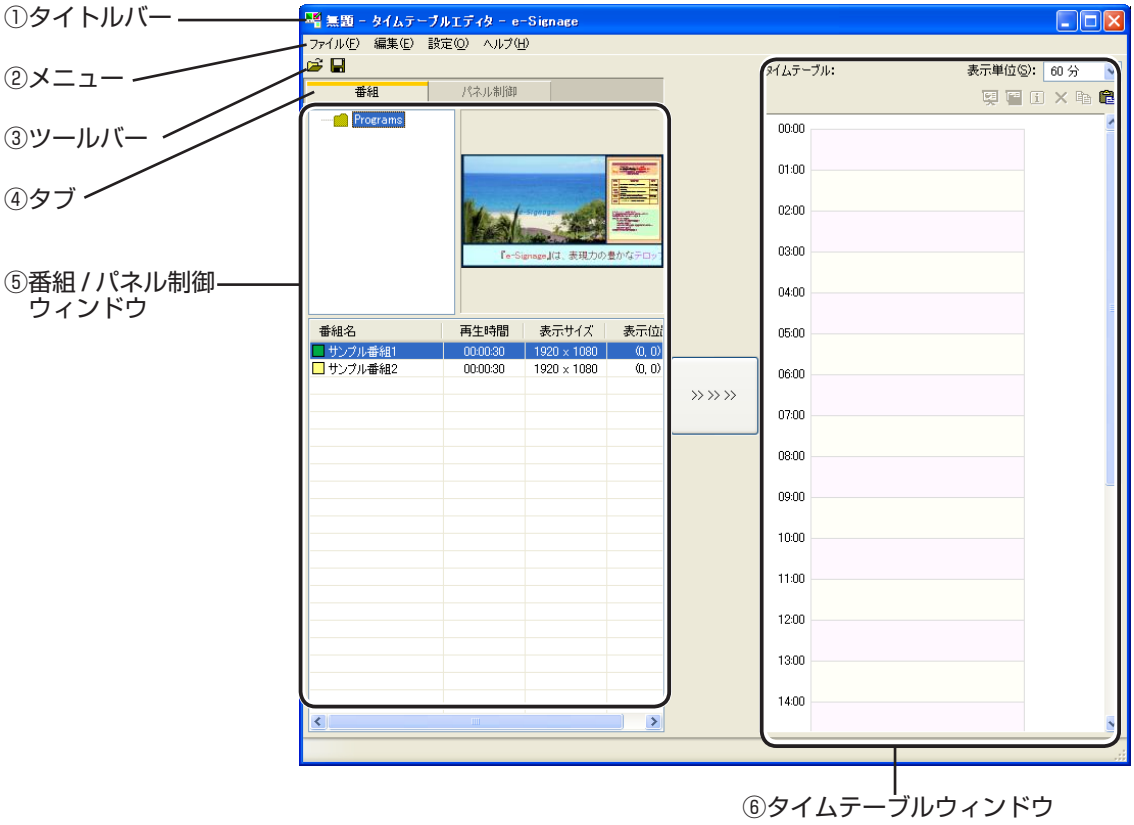
●タイムテーブルエディタを起動する

1 **ランチャー画面で** **をクリックします。**
「タイムテーブルエディタ」が起動します。

起動直後は、何も番組が配置されていない新しいタイムテーブルが表示されます。この画面を元に内容を設定し、タイムテーブルを完成させます。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［タイムテーブルエディタ］の順にクリックしても、起動できます。

●タイムテーブルエディタの基本画面



①タイトルバー

タイムテーブル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、タイムテーブルを保存すると、そのタイムテーブル名に変わります。
開いたタイムテーブルの内容が変更されると、タイムテーブル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「編集」、「設定」、「ヘルプ」の 4 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	タイムテーブルの新規作成	新しいタイムテーブルを開きます。	−
	タイムテーブルを開く	保存されているタイムテーブルを読み込みます。	☞87 ページ
	タイムテーブルの保存	現在編集中のタイムテーブルを保存します。	☞86 ページ
	タイムテーブルに名前を付けて保存	現在編集中のタイムテーブルに別の名前を付けて保存します。	☞87 ページ
	タイムテーブルの削除	保存されているタイムテーブルの中からタイムテーブルを指定して削除します。	☞88 ページ
	タイムテーブルの実行テスト	現在編集中のタイムテーブルを実行テストします。	☞87 ページ※
	タイムテーブルのプロパティ	タイムテーブルのプロパティを表示します。	☞88 ページ
	タイムテーブルのインポート	他のパソコンでエクスポートしたタイムテーブルを利用するために、読み込みます。	☞90 ページ
	タイムテーブルのエクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されているタイムテーブルの中からタイムテーブルを書き出します。	☞89 ページ
	終了	タイムテーブルエディタを終了します。	−
編集	すべてを選択	タイムテーブルに配置されている番組をすべて選択します。	−
	削除	選択されている番組をタイムテーブルから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。	−
	コピー	選択されている番組をコピーします。	−
	貼り付け	コピーした番組をタイムテーブルに配置します。 タイムテーブル上の番組を選択しているときは番組終了時刻のすぐ後に、選択していないときは 00:00 に貼り付けられます。	−
設定	タイムテーブルの開始時刻と終了時刻の設定	タイムテーブルを目的の時間帯（開始時刻と終了時刻）に設定します。営業時間などの時間帯を設定したいときに利用します。	☞86 ページ
ヘルプ	パネルの対応情報	パネル制御の機種別対応表を表示します。	☞84 ページ
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	−

※クライアント版では使用できません。

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは次の通りです。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	タイムテーブルを開く	保存されているタイムテーブルを読み込みます。	☞87 ページ
	タイムテーブルの保存	現在編集中のタイムテーブルを保存します。	☞86 ページ

④タブ

「番組」、「パネル制御」の 2 種類のタブがあります。クリックすると、各項目の設定ウィンドウに切り替わります。

⑤番組 / パネル制御ウィンドウ

［番組］タブを選択している場合は、番組格納フォルダ、番組サムネイル、番組一覧が表示されます。
番組格納フォルダおよび番組サムネイルの詳細は、59 ページを参照してください。
［パネル制御］タブを選択している場合は、パネル制御コマンドの一覧が表示されます。

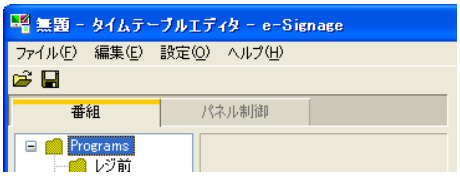
⑥タイムテーブルウィンドウ

タイムテーブルが表示されます。

タイムテーブルを作成する

●作成した番組をタイムテーブルに登録する

1 **［番組］タブが選択されていることを確認します。**
選択されていない場合は、［番組］タブをクリックします。
番組格納フォルダ、番組サムネイル、番組一覧が表示されます。
番組一覧には、「番組名」、「再生時間」、「表示サイズ」、「表示位置」 の 4 項目があります。

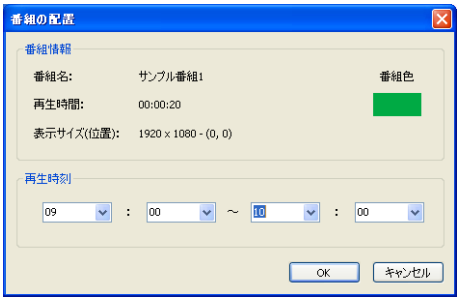


アイコンの色は「番組色」を示します。「番組エディタ」の［ファイル］メニューから［番組のプロパティ］をクリックして変更できます。(☞62 ページ)

2 **番組が保存されている番組格納フォルダを選びます。**

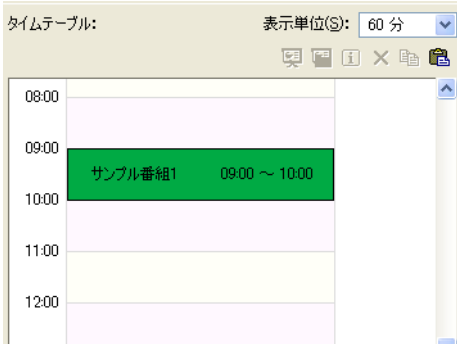
3 **「番組一覧」から使用する番組を選択し、 » » » » をクリックします。**
または番組をダブルクリックします。
［番組の配置］ダイアログボックスが表示されます。

4 **「再生時刻」を設定します。**
番組を表示する時間帯になります。
00:00 ～ 24:00 の間で指定してください。



5 **［OK］をクリックします。**
タイムテーブルに番組が登録されます。

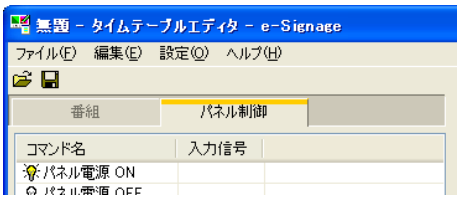
「番組一覧」の番組を「タイムテーブル」にドラッグしても、登録できます。また、登録された番組はタイムテーブルで変更できます。(☞85 ページ)



6 **必要に応じて手順 2 ～ 4 を繰り返し、1 日に表示したい全ての番組を設定します。**

●パネル制御をタイムテーブルに登録する

1 **［パネル制御］タブをクリックします。**
パネル制御コマンド一覧が表示されます。

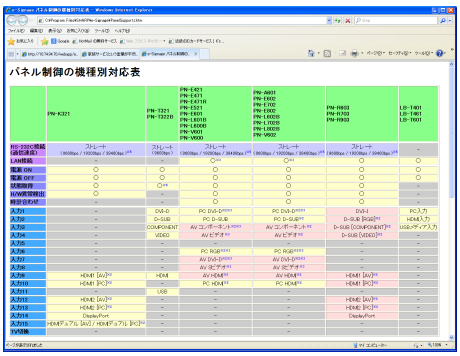


「コマンド名」「入力信号」の 2 項目があります。
各コマンドの内容は次の通りです。

コマンド名	内容
パネル電源 ON※1	パネル（ディスプレイ）の電源を ON にします。
パネル電源 OFF	パネル（ディスプレイ）をスタンバイ状態にします。
パネル入力切換（入力“番号”）	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを切り替えます。
TV 切換※2	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを「TV 入力」に切り替えます。 TV に切り替えたときのチャンネル指定はできません。TV で直前まで選択されていたチャンネルが表示されます。

※ 1　LB-46GX35、LB-52GX35 では使用できません。
※ 2　インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）、LB-1085、LB-T401、LB-T461、LB-T601 では、使用できません。

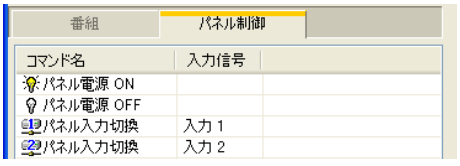
・パネル（ディスプレイ）が対応しているコマンドは、「パネル制御の機種別対応表」で確認することができます。
・「パネル制御の機種別対応表」を表示するには、パネル制御コマンド一覧の左下にあるボタン（ ）「パネルの対応情報」をクリックします。または［ヘルプ］メニューから［パネルの対応情報］をクリックします。



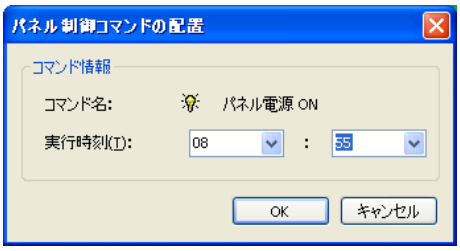
パネル制御の機種別対応表の内容は次の通りです。

項目名	内容
RS-232C 接続	ストレートケーブルとクロスケーブルのどちらで接続するべきか表示します。 対応している通信速度を表示します。
LAN 接続	LAN 接続に対応しているか表示します。
電源 ON	「パネル電源 ON」のパネル制御コマンドに対応しているか表示します。
電源 OFF	「パネル電源 OFF」のパネル制御コマンドに対応しているか表示します。
状態取得	状態取得に対応しているか表示します。
H/W 異常検出	ハード異常の検出に対応しているかを表示します。
時計合わせ	時計合わせ（☞112 ページ）に対応しているか表示します。
入力“番号”	パネル（ディスプレイ）のどの入力に対応しているか表示します。
TV 切換	TV 切換に対応しているか表示します。

2 **「パネル制御コマンド一覧」から使用するパネル制御コマンドを選択し、 »»» をクリックします。**
［パネル制御コマンドの配置］ダイアログボックスが表示されます。



3 **「実行時刻」を設定します。**
コマンドの実行をする時間になります。
00:00 ～ 24:00 の間で指定してください。



4 **［OK］をクリックします。**
タイムテーブルにパネル制御コマンドが登録され、制御コマンドのアイコン（パネル電源 ON：、パネル電源 OFF：、パネル入力切換：、TV 切換：）がタイムテーブルの右側に表示されます。

「パネル制御コマンド一覧」のコマンドを「タイムテーブル」にドラッグしても、登録できます。

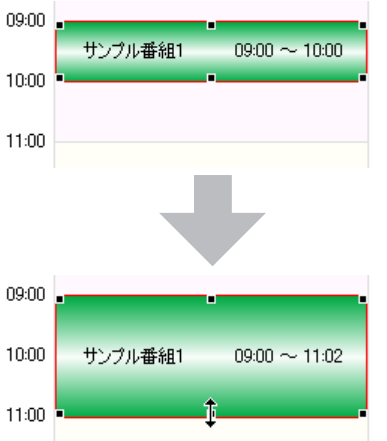
5 **必要に応じて手順 2 ～ 4 を繰り返し、1 日に実行したい全てのパネル制御コマンドを設定します。**

●タイムテーブルを調整する

タイムテーブルの右上にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	登録番組のプレビュー	選択されている番組のプレビューをオリジナルサイズで表示します。
	登録番組のプレビュー（画面にフィット）	選択されている番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。
	登録番組 / コマンドのプロパティ	選択されている番組 / パネル制御コマンドのプロパティを表示します。
	登録番組 / コマンドの削除	選択されている番組 / パネル制御コマンドをタイムテーブルから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。
	番組 / 制御コマンドのコピー	選択されている番組 / パネル制御コマンドをコピーします。
	番組 / 制御コマンドの貼り付け	コピーした番組 / パネル制御コマンドをタイムテーブルに配置します。タイムテーブル上の番組を選択しているときは番組終了時刻のすぐ後に、選択していないときは 00:00 に貼り付けられます。

タイムテーブルに配置された番組やパネル制御コマンドをクリックすると、選択状態になります。
グリップをマウスでドラッグすることで、番組およびパネル制御コマンドの再生時刻、実行時刻の変更を視覚的に操作することができます。
また、グリップ以外をマウスでドラッグすることで、番組およびパネル制御コマンドを移動することができます。

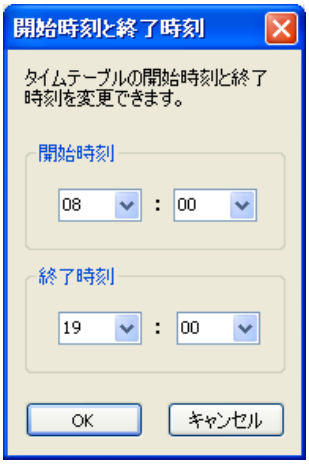


開始時刻と終了時刻を変更する

1 **［設定］メニューから［タイムテーブルの開始時刻と終了時刻の設定］をクリックします。**
［開始時刻と終了時刻］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「開始時刻」と「終了時刻」をそれぞれ設定します。**
00:00 ～ 24:00 の間で指定してください。

3 **［OK］をクリックします。**
タイムテーブルに開始時刻と終了時刻が反映されます。



表示単位を変更する

「表示単位」プルダウンメニューから「60 分 /30 分 /15 分 /10 分 /5 分」から選択できます。

●タイムテーブルを保存する

作成したタイムテーブルは、2 通りの方法で保存できます。

タイムテーブルを上書き保存する

現在編集中のタイムテーブルの名前を変えずに上書き保存します。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの保存］をクリックします。**
または **をクリックします。**
同じファイル名で上書き保存されます。

「タイムテーブルエディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［タイムテーブルの保存］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「タイムテーブルに名前を付けて保存する」の手順 2 を参照してください。

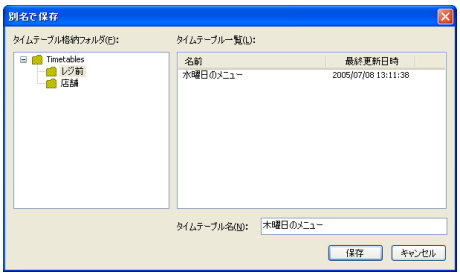
タイムテーブルに名前を付けて保存する

現在編集中のタイムテーブルに別の名前を付けて保存します。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルに名前を付けて保存］をクリックします。**
［別名で保存］ダイアログボックスが表示されます。

2 **タイムテーブルを保存するタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

3 **「タイムテーブル名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
別のファイル名で保存されます。



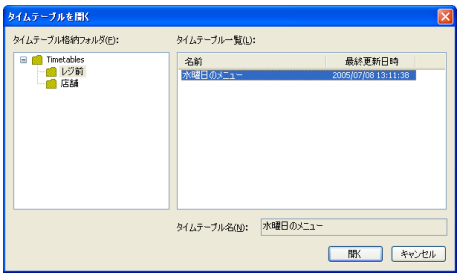
●タイムテーブルを開く

保存されているタイムテーブルの中からタイムテーブルを指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よくタイムテーブルを作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルを開く］をクリックします。**
または をクリックします。
［タイムテーブルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **タイムテーブルが保存されているタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

3 **「タイムテーブル一覧」からタイムテーブルを選択し、［開く］をクリックします。**
選択したタイムテーブルがタイムテーブルエディタに読み込まれ、編集できるようになります。



開いたタイムテーブルを編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のファイルに反映されますので、注意してください。

●作成したタイムテーブルを確認する

作成したタイムテーブルをプレビュー表示して、確認することができます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの実行テスト］をクリックします。**
プレビューが表示されます。

2 **プレビューを確認します。**

・クライアント版では使用できません。
・プレビューを終了するときは、プレビュー画面をクリックして【Esc】キーを押し、表示を停止したあと、タスクトレイの e-Signage クライアントスケジューラより、スケジュール情報を削除してください。(☞162 ページ)
・作成した番組の画面サイズがパソコンのモニタの表示解像度より大きい場合は、プレビューで番組の画面全体を表示することができません。

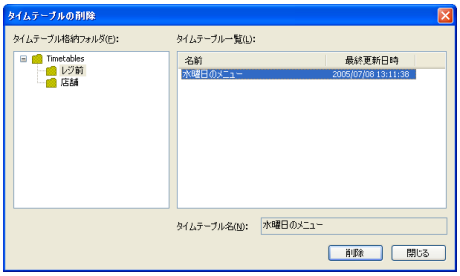
●タイムテーブルを削除する

不要になったタイムテーブルを削除することができます。

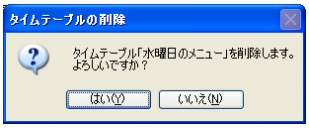
1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの削除］をクリックします。**
［タイムテーブルの削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 **タイムテーブルが保存されているタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

3 **「タイムテーブル一覧」からタイムテーブルを選択し、［削除］をクリックします。**



4 **［はい］をクリックします。**
選択したタイムテーブルが削除されます。



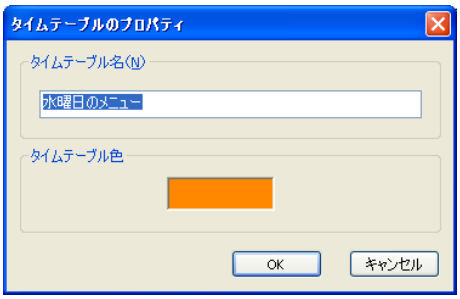
5 **［閉じる］をクリックします。**

●タイムテーブルの名前や色を変更する

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルのプロパティ］をクリックします。**
［タイムテーブルのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

「タイムテーブル名」「タイムテーブル色」が確認できます。

- 「タイムテーブル名」を変更できます。
- 色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、タイムテーブル色を変更できます。



「タイムテーブル色」はスケジュールエディタでタイムテーブルを表示する際の色です。

2 **［OK］をクリックします。**

●タイムテーブルをインポート / エクスポートする

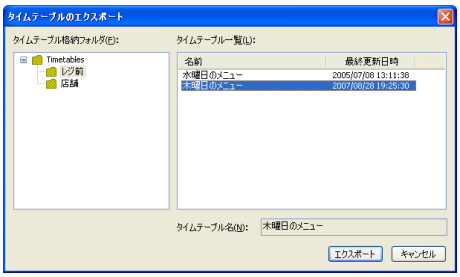
タイムテーブルをエクスポートする

作成したタイムテーブルを他のパソコンの e-Signage で利用するときは、エクスポート機能でタイムテーブルを書き出します。エクスポートしたタイムテーブルデータには、タイムテーブルに登録されている番組も含まれます。

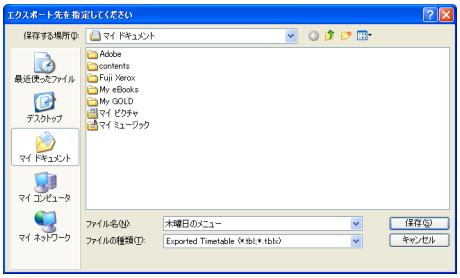
1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルのエクスポート］をクリックします。**
［タイムテーブルのエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。

2 **タイムテーブルが保存されているタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

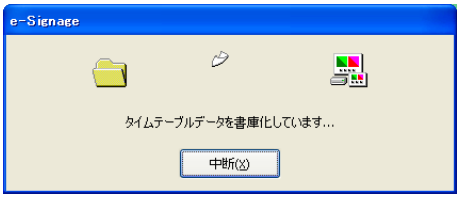
3 **「タイムテーブル一覧」からタイムテーブルを選択し、［エクスポート］をクリックします。**
［エクスポート先を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。



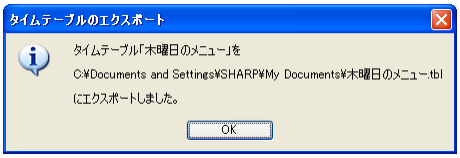
4 **保存場所を指定し、「ファイル名」を入力して、［保存］をクリックします。**
［タイムテーブルのエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。



エクスポート中は右のような画面が表示されます。エクスポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。



5 **［OK］をクリックします。**
これでタイムテーブルのエクスポートは完了です。



タイムテーブルをインポートする

他のパソコンの e-Signage で作成したタイムテーブルを利用するときは、エクスポートされたタイムテーブルをインポート機能で読み込みます。

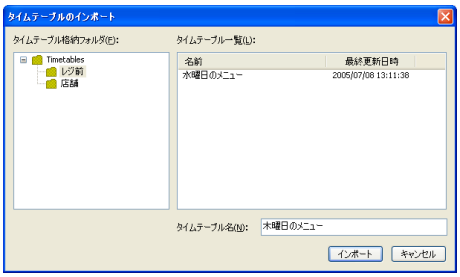
1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルのインポート］をクリックします。**
［インポートするタイムテーブルを指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

2 **インポートするファイル（.tbl）または（.tblx）を選択し、［開く］をクリックします。**
［タイムテーブルのインポート］ダイアログボックスが表示されます。

インポートの準備中は右のような画面が表示されます。インポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。

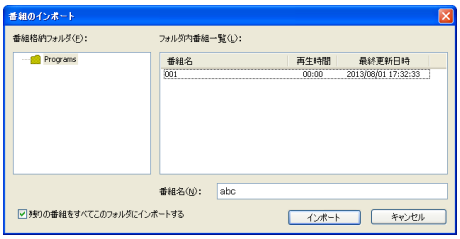
3 **タイムテーブルを保存するタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

4 **「タイムテーブル名」に名前を入力し、［インポート］をクリックします。**



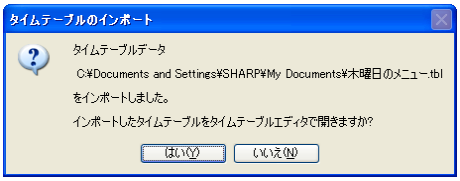
5 **「番組名」に名前を入力し［インポート］をクリックします。**

インポート先のパソコンに既に同じ番組名がある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、番組名を変更してインポートするか選択してください。
複数の番組が含まれている場合は残りの番組も全て同じ格納フォルダにインポートすることができます。



6 **コンテンツのインポート先のフォルダを選択し、［ＯＫ］をクリックします。**

7 **［はい］をクリックします。**
入力したファイル名でタイムテーブルが保存されます。
これでタイムテーブルのインポートは完了です。



スケジュール作成・編集

タイムテーブルエディタで作成したタイムテーブルをどの日に表示するかを設定する方法について説明します。

スケジュールエディタの基本画面について

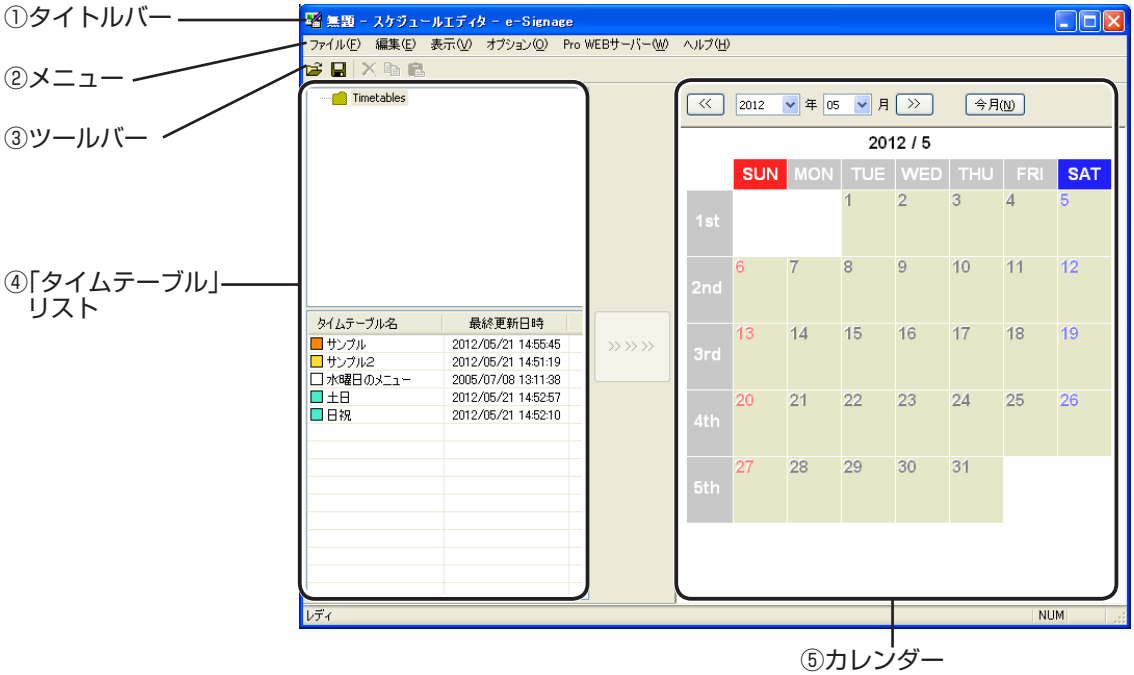
●スケジュールエディタを起動する

1 **ランチャー画面で** **をクリックします。**
「スケジュールエディタ」が起動します。

起動直後は、何もタイムテーブルが配置されていない新しいスケジュールが表示されます。この画面を元に内容を設定し、スケジュールを完成させます。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［スケジュールエディタ］の順にクリックしても、起動できます。

●スケジュールエディタの基本画面



①タイトルバー

スケジュール名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、スケジュールを保存すると、そのスケジュール名に変わります。
開いたスケジュールの内容が変更されると、スケジュール名の後ろに「＊（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「編集」、「表示」、「オプション」、「Pro WEB サーバー」、「ヘルプ」の 6 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	スケジュールの新規作成	新しいスケジュールを開きます。	−
	スケジュールを開く	保存されているスケジュールを読み込みます。	☞96 ページ
	スケジュールの上書き保存	現在編集中のスケジュールを保存します。	☞96 ページ
	スケジュールに名前を付けて保存	現在編集中のスケジュールに別の名前を付けて保存します。	☞96 ページ
	スケジュールの削除	保存されているスケジュールの中からスケジュールを指定して削除します。	☞97 ページ
	スケジュールのプロパティ	スケジュール名を表示、変更します。	☞97 ページ
	スケジュールのインポート	他のパソコンでエクスポートしたスケジュールを利用するために、読み込みます。	☞99 ページ
	スケジュールのエクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されているスケジュールの中からスケジュールを書き出します。	☞98 ページ
	終了	スケジュールエディタを終了します。	−
編集	タイムテーブルの追加	「タイムテーブル」リストで選択されているタイムテーブルをスケジュールに追加します。	☞94 ページ
	タイムテーブルの削除	「カレンダー」で選択されているタイムテーブルを削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。	☞95 ページ
	タイムテーブルのコピー	選択されているタイムテーブルをコピーします。	−
	タイムテーブルの貼り付け	コピーしたタイムテーブルをスケジュールに配置します。	−
	すべてを選択	スケジュールに配置されているタイムテーブルをすべて選択します。	−
表示	前の月を表示	カレンダーで現在表示されている月の前の月を表示します。	☞95 ページ
	次の月を表示	カレンダーで現在表示されている月の次の月を表示します。	☞95 ページ
	今月を表示	カレンダーを今月の表示にします。	☞95 ページ
	最新の情報に更新	「タイムテーブル」リストを最新の状態にします。	−
オプション	設定	Pro WEB サーバーを使用する場合はチェックします。初期値はチェック有りです。	−
Pro WEB サーバー	スケジュールのダウンロード	スケジュールデータを管理用 PC からダウンロードします。	☞102 ページ
	スケジュールのアップロード	指定したスケジュールを管理用 PC へアップロードします。	☞101 ページ
	サーバー上のスケジュールを削除	管理 PC 上のスケジュールを削除します。	☞103 ページ
	運用グループ / ユーザーの切り替え	管理用 PC にログインする際の、運用グループとユーザーの切り替えを行います。	※
	WEB サーバー / ログイン情報設定	管理用 PC へのログイン設定を行います。	※
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	−

※ログイン情報の設定内容は、番組エディタと同じです。64 ページをご覧ください。

③ツールバー

各ボタン（アイコン）の働きは次の通りです。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	スケジュールを開く	保存されているスケジュールを読み込みます。	☞96 ページ
	スケジュールの上書き保存	現在編集中のスケジュールを保存します。	☞96 ページ
	タイムテーブルの削除	「カレンダー」で選択されているタイムテーブルを削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。	☞95 ページ
	タイムテーブルのコピー	選択されているタイムテーブルをコピーします。	–
	タイムテーブルの貼り付け	コピーしたタイムテーブルをスケジュールに配置します。	–

④「タイムテーブル」リスト

タイムテーブル格納フォルダ、およびタイムテーブルエディタで作成したタイムテーブルの一覧が表示されます。タイムテーブルの一覧には、「タイムテーブル名」「最終更新日」の 2 項目があります。

アイコンの色は「タイムテーブルの色」を示します。「タイムテーブルエディタ」の［ファイル］メニューから［タイムテーブルのプロパティ］をクリックして変更できます。（☞88 ページ）

⑤カレンダー

スケジュールをカレンダーで表示し、このカレンダーにタイムテーブルを配置します。

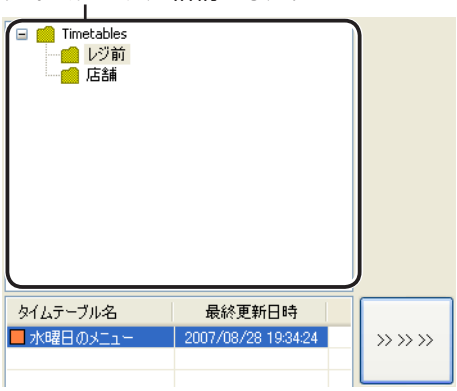
スケジュールを作成する

●作成したタイムテーブルをスケジュールに登録する

1 **タイムテーブルが保存されているタイムテーブル格納フォルダを選びます。**

2 **「タイムテーブル」リストから使用するタイムテーブルを選択し、 »»» をクリックします。**
またはタイムテーブルをダブルクリックします。
または［編集］メニューから［タイムテーブルの追加］をクリックします。
［タイムテーブルの追加］ダイアログボックスが表示されます。

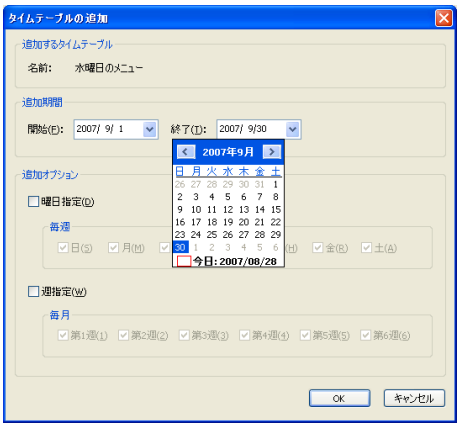
タイムテーブル格納フォルダ



3 **「追加期間」を設定します。**
番組を表示する期間になります。
「追加オプション」を設定しない場合は、「開始」から「終了」期間までの全ての日にタイムスケジュールが追加されます。

「追加オプション」を利用すると、追加期間内の指定した曜日または週のみにタイムテーブルを追加できます。

①「曜日指定」チェックボックスをチェックし、「日」～「土」チェックボックスをチェックすると、追加期間中の指定した曜日だけにタイムテーブルを追加します。



②「週指定」チェックボックスをチェックし、「第 1 週」～「第 6 週」チェックボックスをチェックすると、追加期間中の指定した週だけにタイムテーブルを追加します。

③「曜日指定」と「週指定」をそれぞれ指定した場合は、両方の条件を満たした日だけをタイムテーブルに追加します。
例えば、「曜日指定」を「水」、「週指定」を「第 2 週」と設定した場合は、毎月第 2 週の水曜日になります。

4 **［OK］をクリックします。**
スケジュールにタイムテーブルが登録されます。

「タイムテーブル」リストのタイムテーブルを「カレンダー」にドラッグしても、登録できます。また、登録されたタイムテーブルはカレンダーで変更できます。

5 **必要に応じて手順 2 ～ 3 を繰り返し、表示したい全てのタイムテーブルをスケジュールに設定します。**

カレンダーについて

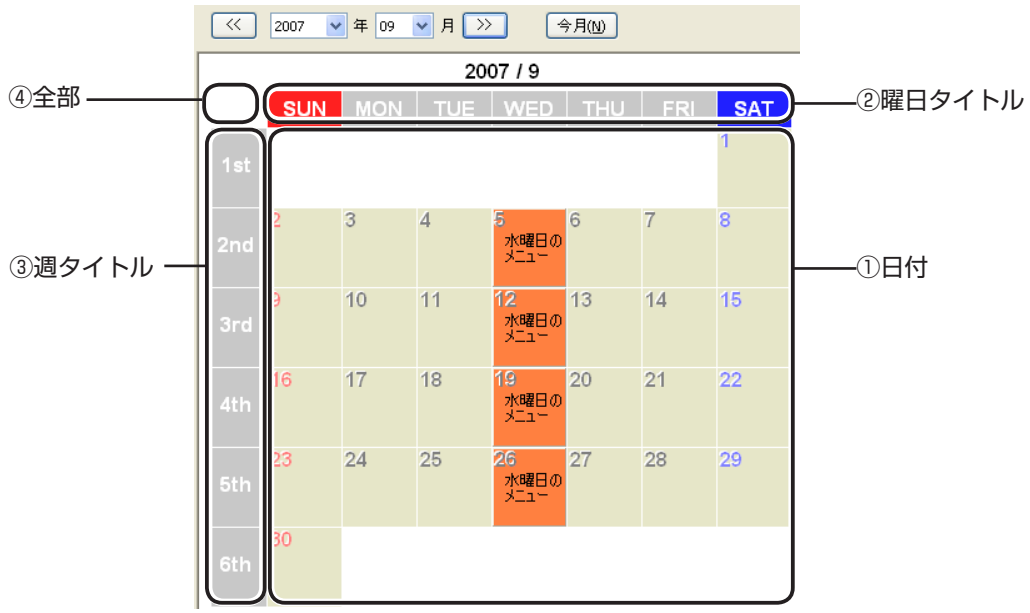
タイムテーブルが登録されている日は、「タイムテーブルの色」と「タイムテーブル名」が表示されます。

カレンダーの上にあるボタンとプルダウンメニューで、次の操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
<<	前の月を表示	現在表示されている月の前の月を表示します。
2005	年を選択	現在表示されている月の選択した年を表示します。
07	月を選択	現在表示されている年の選択した月を表示します。
>>	次の月を表示	現在表示されている月の次の月を表示します。
今月(N)	今月を表示	今月の表示にします。

・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数の日を同時に選択することができます。
・タイムテーブルを選択して【Delete】キーを押すと、カレンダーから削除できます。

タイムテーブルをドラッグする場所により、登録される日が変わります。
既にタイムテーブルが登録されている日には、上書きされません。



①日付　　：ドラッグした日に登録されます。
②曜日タイトル：表示されている月のドラッグした曜日に登録されます。
③週タイトル　：表示されている月のドラッグした週に登録されます。
④全部　　：表示されている月の全部の日に登録されます。

●スケジュールを保存する

作成したスケジュールは、2 通りの方法で保存できます。

スケジュールを上書き保存する

現在編集中のスケジュールの名前を変えずに上書き保存します。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールの上書き保存］をクリックします。**
または をクリックします。
同じスケジュール名で上書き保存されます。

「スケジュールエディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［スケジュールに名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「スケジュールに名前を付けて保存する」の手順 2 を参照してください。

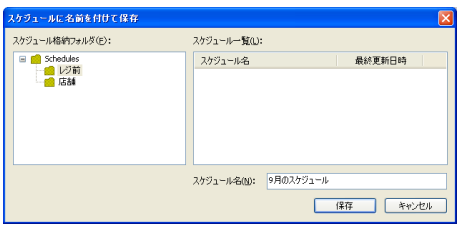
スケジュールに名前を付けて保存する

現在編集中のスケジュールに別の名前を付けて保存します。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールに名前を付けて保存］をクリックします。**
［スケジュールに名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

2 **スケジュールを保存するスケジュール格納フォルダを選びます。**

3 **「スケジュール名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
別のスケジュール名で保存されます。



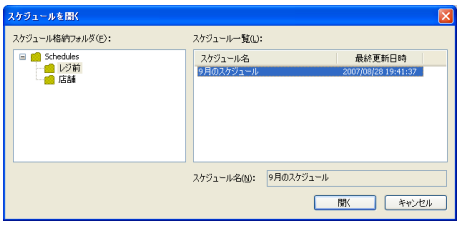
●スケジュールを開く

保存されているスケジュールの中からスケジュールを指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よくスケジュールを作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールを開く］をクリックします。**
または をクリックします。
［スケジュールを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **スケジュールが保存されているスケジュール格納フォルダを選びます。**

3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［開く］をクリックします。**
選択したスケジュールがスケジュールエディタに読み込まれ、編集できるようになります。



開いたスケジュールを編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のスケジュールに反映されますので、注意してください。

●スケジュールを削除する

不要になったスケジュールを削除することができます。

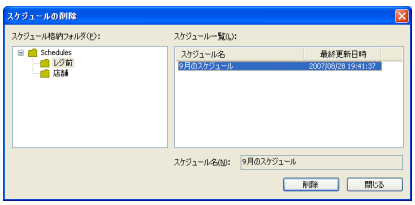
1 **［ファイル］メニューから［スケジュールの削除］をクリックします。**
［スケジュールの削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 **スケジュールが保存されているスケジュール格納フォルダを選びます。**

3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［削除］をクリックします。**

4 **［はい］をクリックします。**
選択したスケジュールが削除されます。

5 **［閉じる］をクリックします。**

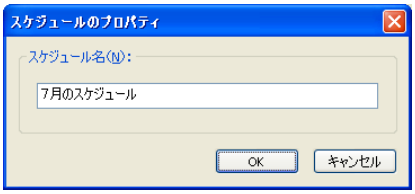


●スケジュール名を変更する

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールのプロパティ］をクリックします。**
［スケジュールのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

「スケジュール名」の確認と変更ができます。

2 **［OK］をクリックします。**



●スケジュールをインポート / エクスポートする

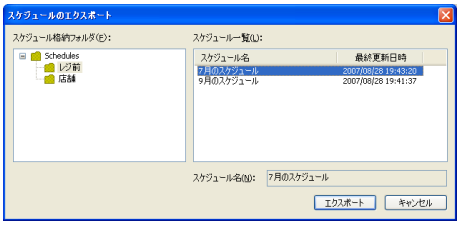
スケジュールをエクスポートする

作成したスケジュールを他のパソコンの e-Signage で利用するときは、エクスポート機能でスケジュールを書き出します。エクスポートしたスケジュールデータには、スケジュールに登録されている番組およびタイムテーブルも含まれます。

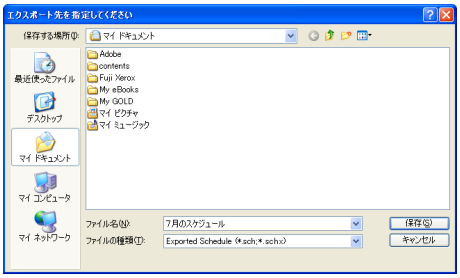
1 **［ファイル］メニューから［スケジュールのエクスポート］をクリックします。**
［スケジュールのエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。

2 **スケジュールが保存されているスケジュール格納フォルダを選びます。**

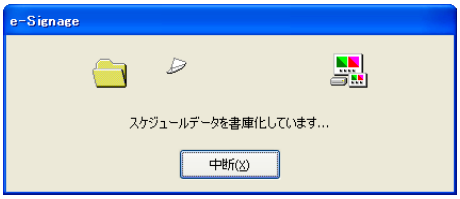
3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［エクスポート］をクリックします。**
［エクスポート先を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。



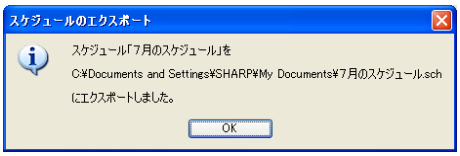
4 **保存場所を指定し、「ファイル名」を入力して、［保存］をクリックします。**
［スケジュールのエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。



エクスポート中は右のような画面が表示されます。エクスポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。



5 **［OK］をクリックします。**
これでスケジュールのエクスポートは完了です。

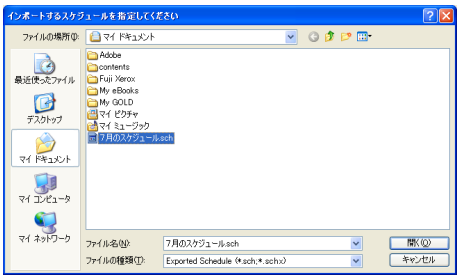


スケジュールをインポートする

他のパソコンの e-Signage で作成したスケジュールを利用するときは、エクスポートされたスケジュールをインポート機能で読み込みます。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールのインポート］をクリックします。**
［インポートするスケジュールデータを指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

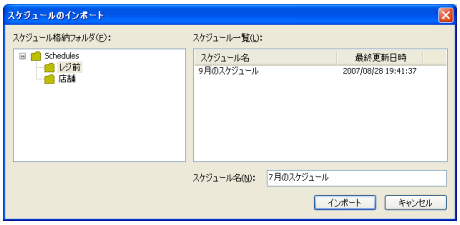
2 **インポートするファイル（.sch）または（.schx）を選択し、［開く］をクリックします。**
［スケジュールのインポート］ダイアログボックスが表示されます。



インポートの準備中は右のような画面が表示されます。インポートを中止したいときは、［中断］をクリックしてください。

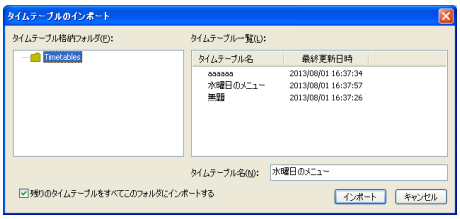
3 **スケジュールを保存するスケジュール格納フォルダを選びます。**

4 **「スケジュール名」に名前を入力し、［インポート］をクリックします。**



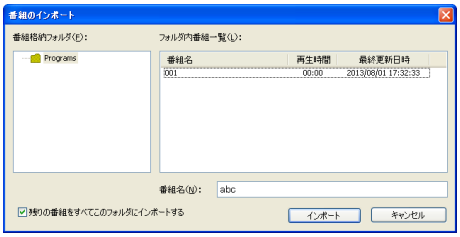
5 **「タイムテーブル名」に名前を入力し［インポート］をクリックします。**

インポート先のパソコンに既に同じタイムテーブル名がある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、タイムテーブル名を変更してインポートするか選択してください。
複数のタイムテーブルが含まれている場合は残りのタイムテーブル全て指定フォルダにインポートすることができます。



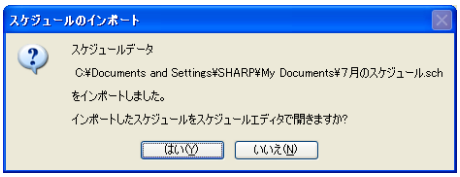
6 **「番組名」に名前を入力し［インポート］をクリックします。**

インポート先のパソコンに既に同じ番組名がある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、番組名を変更してインポートするか選択してください。
複数の番組が含まれている場合は残りの番組も全て同じ格納フォルダにインポートすることができます。



7 **コンテンツのインポート先のフォルダを選択し、[OK] をクリックします。**

8 **[はい] をクリックします。**
入力したファイル名でスケジュールが保存されます。
これでスケジュールのインポートは完了です。



●スケジュールをアップロード / ダウンロードする

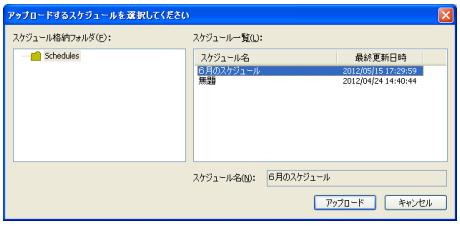
スケジュールをアップロードする

操作用 PC で作成したスケジュールを管理用 PC へアップロードします。

1 **[Pro WEB サーバー] から［スケジュールのアップロード］をクリックします。**
［アップするスケジュールを選択してください］ダイアログボックスが表示されます。

2 **スケジュールが保存されている格納フォルダを選びます。**

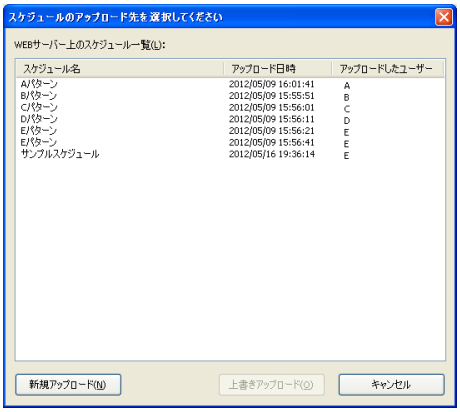
3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［アップロード］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。



4 **ログイン情報を入力します。**
入力後、スケジュール一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください

5 **［新規アップロード］をクリックします。アップロード済みのスケジュールを上書きする場合は [上書きアップロード] をクリックします。**
これでスケジュールのアップロードは完了です。

ファイルサイズの大きな番組をアップロードした場合、サーバーへのアップロード完了後、データの展開に時間が掛かります。そのため、サーバー上に番組の変更が反映されるまで、数秒から 1 分程度の時間が掛かることがあります。



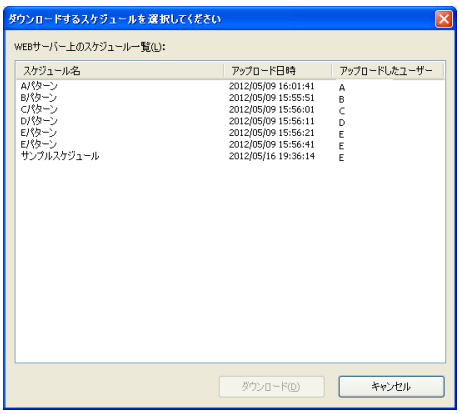
スケジュールをダウンロードする

管理用 PC に保存されているスケジュールを操作用 PC にダウンロードします。

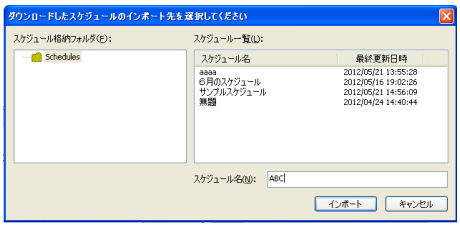
1 **［Pro WEB サーバー］メニューから［スケジュールのダウンロード］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、スケジュール一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、番組一覧が表示されます。
操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください
［ダウンロードするスケジュールを選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［ダウンロード］をクリックします。**
［ダウンロードしたスケジュールのインポート先を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

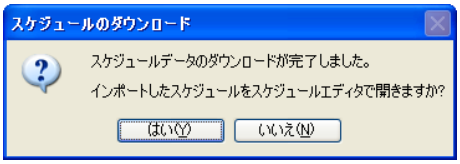


4 **保存先のフォルダを選択し、［インポート］をクリックします。**



インポート先のパソコンに既に同じ番組名およびタイムテーブル名がある場合、確認ダイアログボックスが表示されます。上書きするか、番組名およびタイムテーブル名を変更してインポートするか選択してください。

5 **［はい］をクリックします。**



これでスケジュールのダウンロードは完了です。

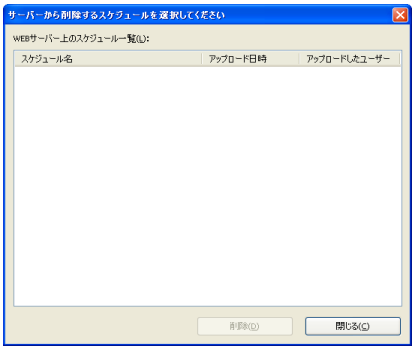
●サーバー上のスケジュールを削除する

管理用 PC に保存されているスケジュールを削除します。

1 **［Pro WEB サーバー］メニューから［サーバー上のスケジュールを削除］をクリックします。**
ログイン情報の入力画面が表示されます。

2 **ログイン情報を入力します。**
入力後、スケジュール一覧が表示されます。
初回接続時に「ログイン情報を記録する」をチェックしている場合は、スケジュール一覧が表示されます。操作方法については、「ログイン情報を入力する」（☞64 ページ）を参照してください。

3 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［削除］をクリックします。**



4 **［はい］をクリックします。**
選択したスケジュールが削除されます。

多数のスケジュールを管理用 PC にアップロードすると、管理用 PC のディスク容量が低下します。不要になったスケジュールは定期的に削除してください。

WEB サーバー編

ログイン

WEB サーバーにログインする

1　ランチャー画面で をクリックします。

Internet Explorer が起動します。

・ランチャー画面の環境設定の「ProWEB サーバー」タブ（☞116 ページ）で接続先のサーバー設定を行ってください。
・Internet Explorer を起動し、サーバーの URL を入力しても、ログインできます。
サーバーの URL: http://（サーバーの IP アドレス : ポート番号）/login/
例えば、サーバーの IP アドレスが 192.168.1.1 でポート番号が 32000 の場合は、URL が次のようになります。
http://192.168.1.1:32000/login/ （全て半角文字）
※ポート番号がデフォルトの 80 の場合は、次のようにポート番号を省略できます。
http://192.168.1.1/login/

2　運用グループ／ ユーザーID ／パスワードを入力します。

配信予約画面が表示されます。

・ログイン可能なユーザーは、運用グループ作成時に作成した初期ユーザー (☞30 ページ)、管理者ユーザー (☞33 ページ)、およびユーザー登録にて登録したユーザー（☞143 ページ）です。
・複数個所から同じユーザー ID でログインした場合、後からのログインが優先され、先にログインしていたユーザーのセッションは切断されます（ログアウトする）。ユーザー ID は複数ユーザーで共有せず 1 人に 1 つ付与するようにしてください。
・Windows Server 2008 や Windows Server 2008 R2 にインストールされた Internet Explorer では、セキュリティを高めるため、ページリダイレクションなどの機能が制限されます。
・うまく動作しないときには Internet Explorer の「インターネットオプション」－「セキュリティ」－「信頼済みサイト」に Pro WEB サーバーの URL http:// サーバーの IP アドレス : ポート番号 / を追加してください。

WEB サーバーにログインする (スーパーバイザーとしてログイン)

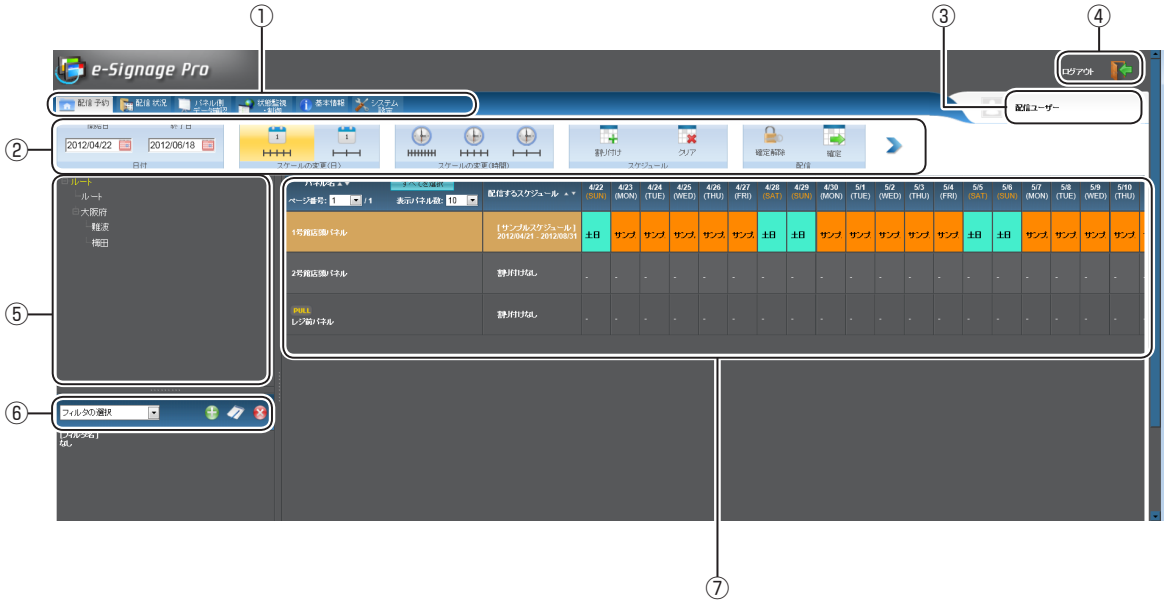
1 **Internet Explorer を起動し、サーバーの URL を入力します。**

サーバーの URL: http://（サーバーの IP アドレス : ポート番号）/supervisor/
例えば、サーバーの IP アドレスが 192.168.1.1 でポート番号が 32000 の場合は、URL が次のようになります。
http://192.168.1.1:32000/supervisor/ （全て半角文字）
※ポート番号がデフォルトの 80 の場合は、次のようにポート番号を省略できます。
http://192.168.1.1/supervisor/

2 **ユーザー ID ／パスワードを入力します。**
配信予約画面が表示されます。

ログイン可能なユーザーは、初回起動時に設定ウィザードで登録したスーパーバイザー (☞31 ページ)、Pro WEB サーバー管理ツールで登録したスーパーバイザー (☞36 ページ)、スーパーバイザーがユーザー登録画面で登録したスーパーバイザー (☞141 ページ) です。

サーバー画面の見かた



①機能切換タブ

タブ名	内容	参照ページ
配信予約	スケジュールをパネルに割り付け、番組の配信を予約します。	☞118 ページ
配信状況	スケジュールの配信状況を確認することができます。	☞124 ページ
パネル側データ確認	パネルに配信されたスケジュールを確認することができます。	☞126 ページ
状態監視・制御	パネルの状態を表示したり、PC 電源などを制御します。	☞136 ページ
基本情報	パネルの基本情報を表示します。	☞140 ページ
臨時番組※	臨時に番組を配信することができます。	☞128 ページ
緊急テロップ※	臨時にテロップを配信することができます。	☞132 ページ
システム更新※	システム更新では、表示用 PC の e-Signage ビューア版のアップデートや、表示用 PC の設定変更などを行うことができます。（将来のアップデートをお約束するものではありません。）	☞147 ページ
システムログ※	ユーザーの操作履歴情報を閲覧します。	☞146 ページ
システム設定	ユーザーやパネルの登録を行います。	☞110、141 ページ

※ 初期設定では表示されていません。メニューオプションで表示させることができます。（☞109 ページ）

②ツールバー

ディスプレイリストの表示や選んでいるパネルを操作するためのボタン（アイコン）です。

③ユーザー

現在ログインしているユーザー名です。

④ログアウトボタン

クリックするとサーバーからログアウトします。

⑤グループツリー

登録されているパネルのグループが表示されます。

スーパーバイザーとしてログインした場合は、すべての運用グループが表示されます。

⑥フィルタバー

条件を指定して、その条件を満たしたパネルのみをディスプレイリストに表示することができます。あらかじめフィルタを作成する必要があります。

⑦ディスプレイリスト

パネルの情報を表示します。表示される内容は、機能切換タブにより異なります。
グループツリーやフィルタバーで表示されるパネルを絞り込むことができます。

サーバー画面に表示されるスクロールバーについて

配信画面の日付など、左右にスクロールさせるには、上下のスクロールバーで画面の最下段に移動し、左右のスクロールバーを表示させてください。

●フィルタを設定する

ディスプレイリストに表示させるパネルの条件を設定します。

1 **フィルタバーの ＋ をクリックします。**
［フィルタの新規作成］画面が表示されます。

2 **「フィルタ名」を入力します。（全角 50 文字以内）**

3 **「属性」を選びます。**

4 **「条件」を設定します。**
- 選んだ属性により設定できる条件が異なります。
- 「属性」が「パネル名」「ホスト名」「コメント 1 ～ 3」の場合は、条件を入力（25 文字以内）し、入力した文字を含むか含まないかを選びます。
- 「属性」が「端末の種類」、「ネットワーク応答確認」、「配信状況（＊＊）」の場合（＊＊はスケジュール、番組、テロップ、システム更新）は、リストから条件を選びます。
- さらに条件を設定する場合は、［条件追加］をクリックし、手順 3 から操作します。
すべての条件を満たすパネルのみがディスプレイリストに表示されます。
- 追加した条件を削除する場合は、［削除］をクリックします。

5 **［OK］をクリックします。**
フィルタがメニューに保存され、条件を満たしたパネルのみがディスプレイリストに表示されます。

●メニューオプション設定／パスワードの変更

タブメニューの表示有無やパスワードの変更を行います。

1 **「システム設定」タブをクリックします。**

2 **[オプション設定] をクリックします。**
メニューオプション設定画面が表示されます。

メニューオプション
メニューの表示／非表示を切り換えます。チェックの入っている機能が画面上のタブに表示されます。

項目名	説明
配信予約	スケジュールをパネルへ割り付け、配信を実行します。
配信状況	スケジュールの配信状況を確認します。
パネル側データ確認	パネルに現在配信されているスケジュールを取得します
状態監視・制御	パネルの状態確認および、パネルに対してコマンドを送信します。
基本情報	パネル一覧画面を閲覧します。
臨時番組	臨時番組をパネルへ割り付け、配信を実行します。
緊急テロップ	緊急テロップ緊急テロップをパネルへ割り付け、配信を実行します。
システム更新	表示用 PC の設定変更を行います。
システムログ	システムログの操作履歴情報を閲覧します。

パスワードの変更
ログイン中のユーザーのパスワードを変更します。旧パスワードを入力した後、新パスワードを入れてください。

パネル管理・環境設定

e-Signage Pro WEB サーバー版で、複数のパネルに番組を配信する場合は、管理するパネルをあらかじめ設定しておく必要があります。

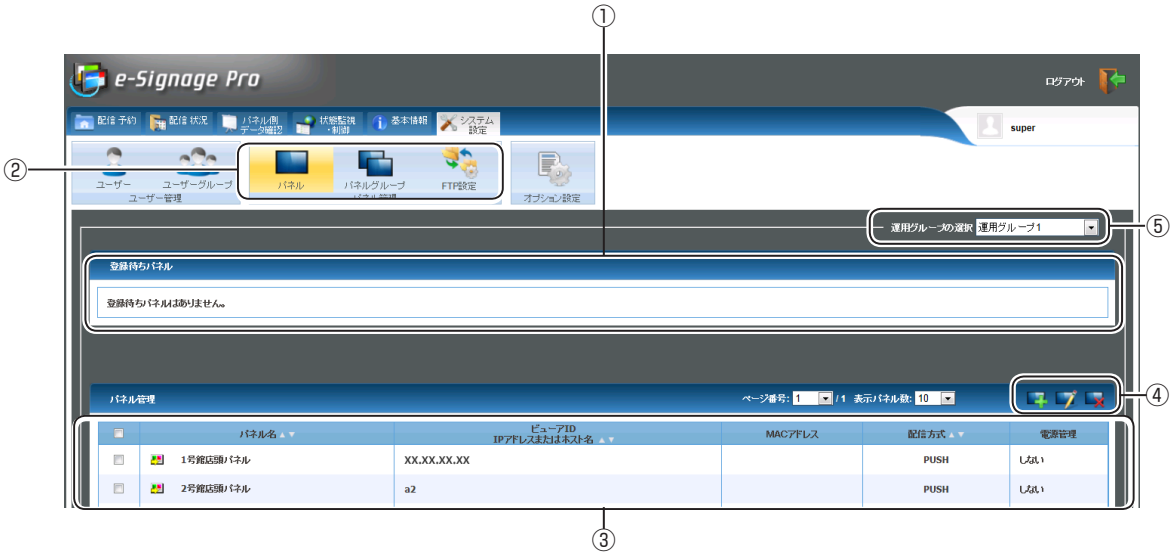
パネルを管理する

●パネル管理画面を開く

1 「システム設定」タブをクリックします。

2 [パネル] をクリックします。
パネル管理画面が表示されます。

●パネル管理の基本画面



①登録待ちパネル

登録待ち状態のパネル一覧が表示されます。

②ツールバー

パネル管理画面、パネルグループ画面、FTP 設定画面に切り替えます。

③登録パネル一覧

登録されているパネルの一覧が表示されます。

項目	内容
チェックボックス	パネルを選択します。パネルの編集・削除に使用します。
パネル名	登録されているパネル名です。
ビューア ID、IP アドレスまたはホスト名	表示用 PC のビューア ID、IP アドレスまたはホスト名です。
MAC アドレス	表示用 PC の MAC アドレスです。
配信方式	配信方式（PUSH 型配信／ PULL 型配信）です。
電源管理	表示用 PC の電源管理をする／しないの設定です。

・管理できるパネルの数は、最大 1,000 台です。
・「ページ番号」リストボックスでページ番号を選ぶと、次ページ以降のパネル情報を表示できます。
・「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

④ボタン

パネルの追加・編集・削除を行います。

⑤運用グループの選択ボタン

運用グループを選択します。

・スーパーバイザーとしてログインした場合は、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

●パネルを追加・編集する

1 新しく管理するパネルを追加する場合は、 をクリックします。
既にあるパネルを編集する場合は、編集するパネルのチェックボックスにチェックを入れ（1 つまで）、 をクリックします。

［パネル（表示用 PC）の追加］または［パネル（表示用 PC）の編集］画面が表示されます。

追加する操作と編集する操作の設定項目は同じです。追加後に編集し直すことができます。

2 各項目を設定します。

① パネル名（必須）
パネルに識別しやすい名前を付けてください。
（1 ～ 50 文字）

② グループ
登録されているグループの中からパネルを追加するグループを選択します。
どのグループにも属さない場合は、「Root」を選択してください。どのグループにも属さないパネルは、「すべてのパネル」の下に追加されます。
113 ページの「パネルグループを追加・編集する」を参照してください。

③ IP アドレスまたはホスト名（PUSH 型配信）／ビューア ID（PULL 型配信）（必須）
・PUSH 型配信［固定 IP アドレス］の場合、サーバーからアクセス可能な表示用 PC のホスト名または IP アドレスを設定します。
・PUSH 型配信［動的 IP アドレス］・PULL 型配信の場合、“@” で始まるビューア ID（半角英数字 2 ～ 30 文字）を設定します。

同じホスト名、IP アドレスおよびビューア ID のパネルを 2 つ以上作成することはできません。

④ MAC アドレス
管理用 PC から表示用 PC の電源を ON する場合は、表示用 PC の MAC アドレスを入力します。

⑤ 配信方式
表示用 PC へデータを送る場合は「PUSH 型配信」ラジオボタンを選択します。
表示用 PC が、管理用 PC から定期的にデータを取得する場合は「PULL 型配信」ラジオボタンを選択します。
PUSH 型配信で、表示用 PC が固定の IP アドレスを持たない場合は、「表示用 PC から通知された IP アドレスに配信する」をチェックしてください。

⑥ FTP 設定（PUSH 型配信のみ）
表示用 PC の FTP サービスで設定した「ユーザー名（半角英数字 30 文字以内）」、「パスワード（半角英数字 30 文字以内）」、「ポート番号（1 ～ 65535）」を入力します。

パネル追加時に設定する FTP 設定をあらかじめ設定しておくことができます。
[FTP 設定] をクリックし、初期値の設定を行ってください。114 ページの「パネル追加時の FTP 設定初期値を登録する」を参照してください。

⑦ 電源管理
指定した時刻に表示用 PC の電源を ON/OFF したい場合は、「指定した時刻に管理用 PC から表示用 PC の電源 ON/OFF を指示する」をチェックし、「起動時刻」と「終了時刻」を設定します。（5 分単位）

⑧ 時計合わせ
管理用 PC と表示用 PC の時刻を合わせたい場合は、「指定した時刻に管理用 PC と表示用 PC の時計を同期する」をチェックし、同期時刻を設定します。（5 分単位）

⑨ 属性
表示用 PC のコメントを入力します。

3 ［OK］をクリックします。

●承認待ちパネル（表示用ＰＣ）を登録する

PUSH 型配信（動的 IP アドレス）、PULL 型配信のパネルでは、表示用 PC から送信された設定情報を元にパネルを登録（承認）することができます。
表示用 PC での設定情報の送信は、e-Signage クライアントスケジューラの設定ダイアログボックスの［ネットワーク］タブで行います。（☞158 ページ）

1 **パネル管理画面の「登録待ちパネル」に表示されているパネル一覧から、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。**

［パネル（表示用 PC）の追加］画面が表示されます。

2 **各項目を設定します。**
設定項目は「パネルを追加・編集する」（☞111 ページ）と同じです。

・パネルを一括登録したいときは、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れ をクリックし、パネルグループをリストボックスから選択して「OK」をクリックします。

●パネルグループを追加・編集する

1 **パネル管理の パネルグループ をクリックします。**
パネルグループの一覧が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

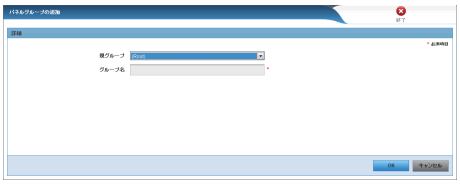
2 **パネルグループを追加する場合は、 をクリックします。**
パネルグループを編集する場合は、編集するパネルグループのチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。
［パネルグループの追加・編集］ダイアログボックスが表示されます。

パネルグループの下にパネルグループを作成することもできます。

3 **親グループを選びます。**

4 **「グループ名」を入力します。**

5 **［OK］をクリックします。**



●パネル・パネルグループを削除する

1 **パネル一覧またはパネルグループ一覧画面で、削除したいパネルまたはパネルグループのチェックボックスにチェックを入れます。**

パネルグループを選択した場合は、パネルグループに属している全てのパネルが削除されます。

2 **（パネル）または （パネルグループ）をクリックします。**

確認メッセージが表示されます。

3 **［OK］をクリックします。**

●パネル追加時の FTP 設定初期値を登録する

パネル追加時に設定する FTP 設定の内容をあらかじめ設定しておくことができます。

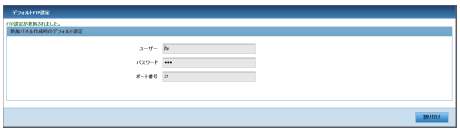
1 **パネルまたはパネルグループ一覧画面で「FTP 設定」をクリックします。**

「デフォルト FTP 設定」画面が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

2 **ユーザー名（半角英数字 30 文字以内）、パスワード（半角英数字 30 文字以内）、ポート番号（1 ～ 65535）を入力します。**

・初期設定では次の値に設定されています。
ユーザー名：ftp、パスワード：ftp、ポート番号：21
セキュリティ上の問題がある場合は、値を変更してください。



3 **[OK] をクリックします。**

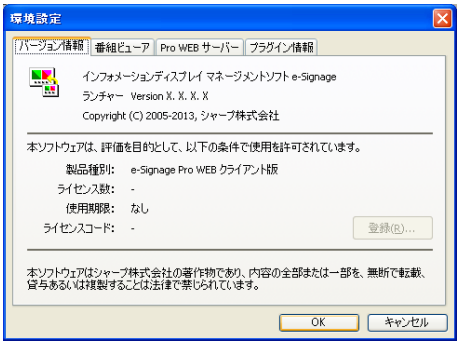
環境設定

環境設定では、バージョン情報の確認とパネル追加時の設定値をあらかじめ設定しておくことができます。

●環境設定を起動する

1 **ランチャー画面で**

をクリックします。
［環境設定］ダイアログボックスが起動します。



［プラグイン情報］タブには、アドオンモジュールがインストールされている場合、その情報が表示されます。

●バージョン情報を確認する

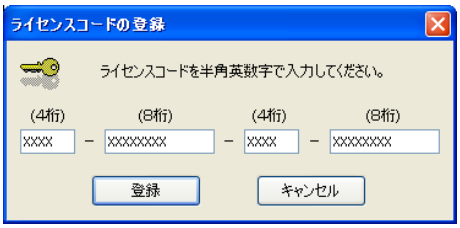
［バージョン情報］タブでは、ご使用の e-Signage のバージョン情報が表示されています。
e-Signage で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。

ライセンスコードを登録する

インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。
試用期限が過ぎる前に、本製品に同梱されているライセンス証書に記載されている手順に従って、ライセンスコードを入手し、ライセンスコードを登録してください。
ライセンスコードは次の方法で登録します。

1 **［登録］をクリックします。**
［ライセンスコードの登録］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「ライセンスコード」を入力し、［登録］をクリックします。**



Windows Vista/7/8 の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「許可」（Windows Vista）または［はい］（Windows 7/8）をクリックしてください。

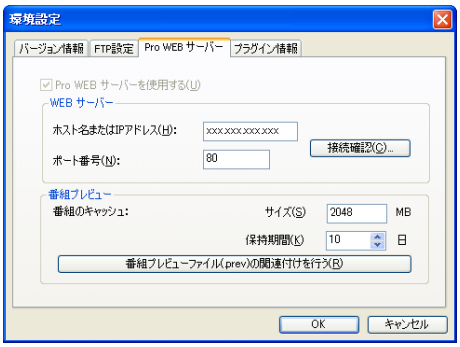
● WEB サーバーを設定する

WEB サーバーが設定されていないときは、WEB サーバーを設定します。

1 **［Pro WEB サーバー］タブをクリックします。**

2 **「WEB サーバー」を設定します。**

- ホスト名または IP アドレス（半角英数字 50 文字以内）
- ポート番号（1 ～ 32000）



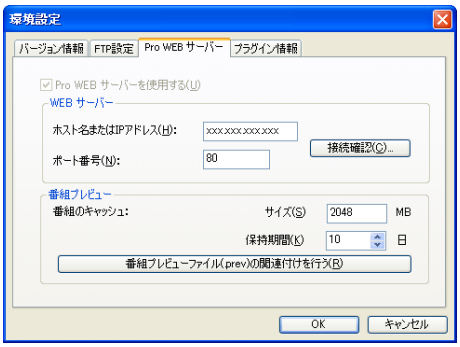
［接続確認］をクリックすると、WEB サーバーと正しく通信できるかを確認できます。

●番組プレビューファイルを関連付ける

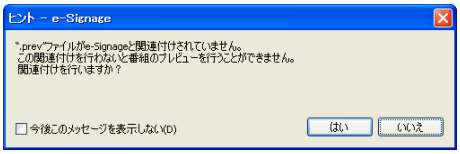
番組プレビューファイルの関連付けがされていないときは、ファイルの関連付けをします。

1 **［Pro WEB サーバー］タブをクリックします。**

2 **「番組プレビューファイルの関連付けを行う」をクリックします。**



e-Signage をはじめて起動するとき、次の確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしても、関連付けができます。



配信

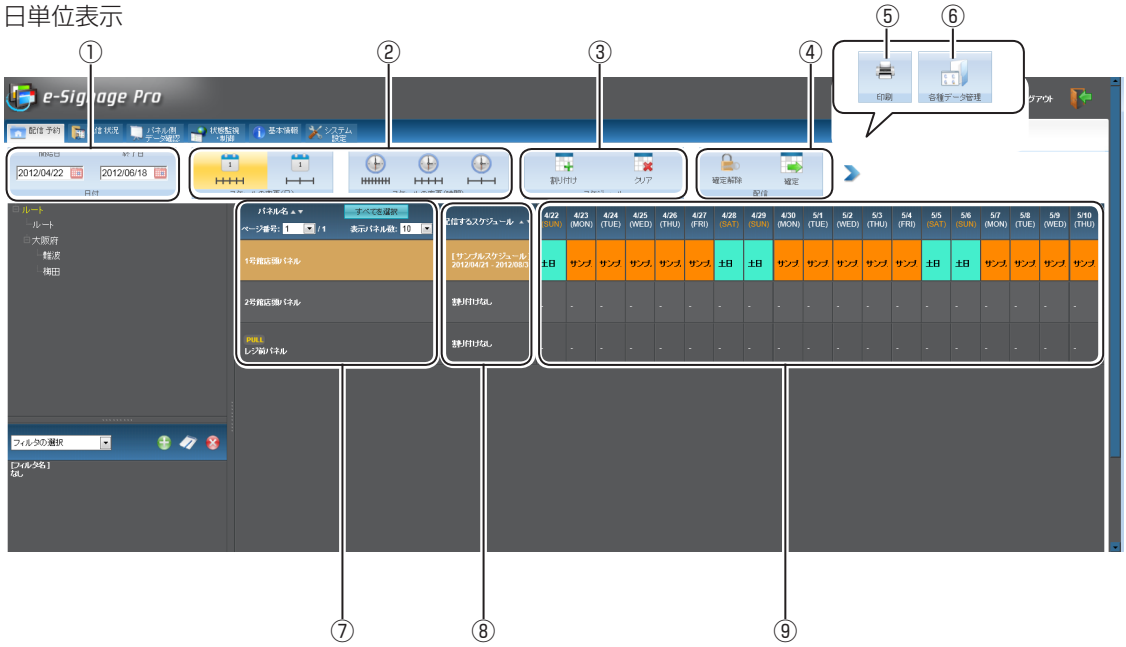
スケジュールエディタで作成したスケジュールを表示用 PC に配信する方法について説明します。

配信予約

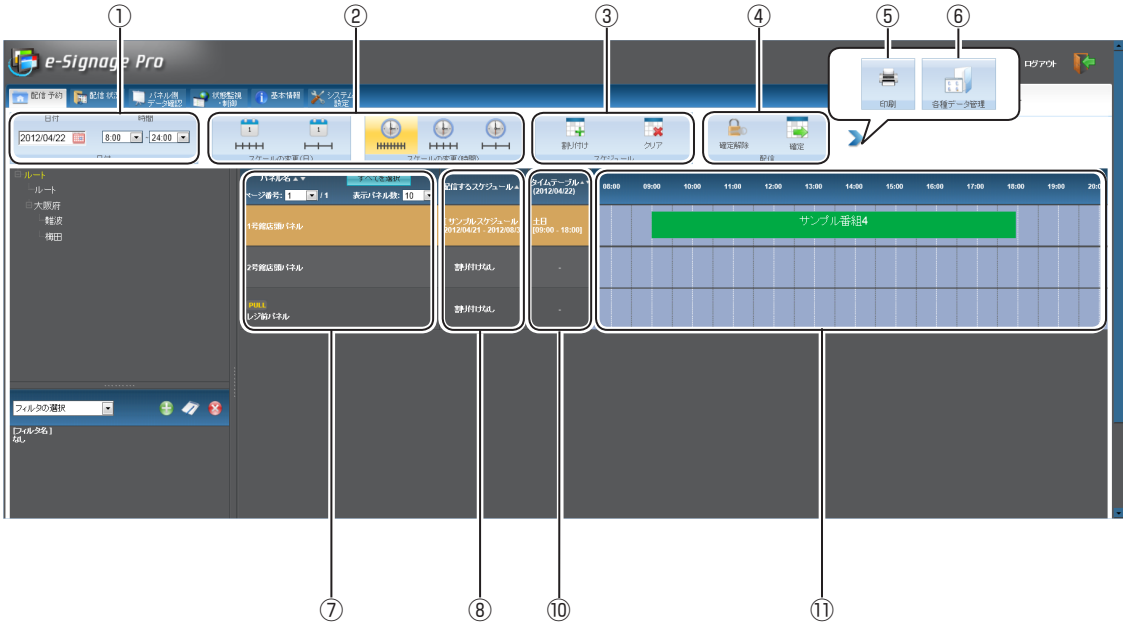
スケジュールを各パネルに割り付けて、番組配信を予約します。

ディスプレイリストには、パネルとそのパネルに割り付けられているスケジュールが表示されます。
日単位に設定されているタイムテーブル名が表示されます。（日単位表示）
「タイムテーブル表示」アイコンにより、その日のタイムテーブルを表示させることができます。（時間単位表示）
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

日単位表示

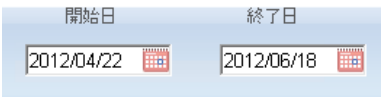
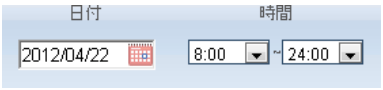


時間単位表示



配信予約では、これから配信するスケジュールを設定します。確定の操作をするまで、スケジュールはパネルに配信されません。そのため、配信予約での表示は、現在のパネルのスケジュールとは異なります。現在のパネルのスケジュールは、［パネル側データ確認］で確認します。

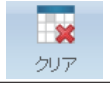
①日付／時間

	日単位で表示するとき、ディスプレイリストに表示する日（開始日と終了日）を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから開始日（終了日）をクリックしてください。 最大 61 日間表示することができます。
	時間単位で表示するとき、ディスプレイリストに表示する日時を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックし、開始時刻と終了時刻をリストボックスから選択してください。

②スケールの変更（日）／（時間）

	ディスプレイリストを日単位で表示します。 項目（1 日）の表示幅を変えることができます。
	ディスプレイリストを時間単位で表示します。 時間の表示幅を変えることができます。

③スケジュール

	パネルにスケジュールを割り付けます。 スケジュールを割り付けるパネルを選び、このアイコンをクリックします。（☞121 ページ）
	スケジュールを割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。

④配信

	パネルに割り付けられ確定したスケジュールの確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	スケジュールを確定し、配信を予約します。 スケジュールを確定するパネルを選び、このアイコンをクリックします。（☞121 ページ）

配信待ち･配信中のスケジュールを解除するときは、[配信状況]でキャンセルしてください。（☞124 ページ）

⑤印刷

	ディスプレイリストに表示されているスケジュールを印刷します。

⑥各種データ管理

	管理用 PC にアップロードされたデータの一覧表示・削除を行います。（☞135 ページ）

⑦パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、次ページ以降のパネル情報を表示できます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

⑧スケジュールリスト
パネルに割り付けられているスケジュールの情報が表示されます。

⑨カレンダー（日単位表示）
日ごとに設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

⑩タイムテーブルリスト（時間単位表示）
対象日に設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

⑪タイムテーブル（時間単位表示）
対象日に設定されているタイムテーブルが表示されます。
番組をクリックすると番組のサムネイルを見ることができます。

●スケジュールを配信する

1 **機能切換タブの [配信予約] タブをクリックします。**

2 **ディスプレイリストにスケジュールを割り付けるパネルを表示させます。**
・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。（☞108 ページ）

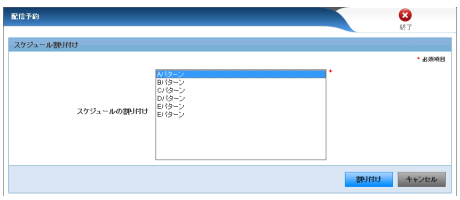
3 **配信対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にします。**
「すべてを選択」ボタンをクリックすると、現在表示されているページのパネルをすべて選択状態にすることができます。
（注) 同時に選択できるのは同一ページ内に表示されたパネルのみです。複数ページにわたってパネルを選択することはできません。

4 **スケジュールをパネルに割り付けます。**
①スケジュールを割り付けるパネルを選びます。複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。
［スケジュールの割り付け］ダイアログボックスが表示されます。

③スケジュールデータを選び、[割り付け] をクリックします。
スケジュールが割り付けられます。



・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

5 スケジュールを確定します。

①スケジュールを確定するパネルを選びます。

②

をクリックします。

［配信日時とオプションの選択］画面が表示されます。

③「配信日時」を選びます。

・「今すぐ配信する」ラジオボタン
PUSH 型配信のときは、⑤終了後、スケジュールを配信します。PULL 型配信では選択できません。

・「指定した日時に配信する」ラジオボタン
設定した日時にスケジュールを配信します。
PULL 型配信では、指定日時以降に表示用 PC からのアクセスがあった時点で配信が開始されます。

④「配信オプション」を設定します。

・「配信開始前に表示用 PC の電源を ON する」チェックボックス
表示用 PC が起動していないとき、表示用 PC の電源を入れた後でスケジュールを配信します。
PULL 型配信では選択できません。

・「配信終了後に表示用 PC の電源を OFF する」チェックボックス
スケジュールの配信を終了した後で、表示用 PC の電源を切ります。

・「配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する」チェックボックス
未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済コンテンツは配信しません。

・「配信先のスケジュールにこのスケジュールを追加する」チェックボックス
配信先のパソコンのスケジュールに、新たに配信するスケジュールを追加します。
チェックしていない場合は、配信先のパソコンのスケジュールは、配信するスケジュールに置き換わります。

⑤［OK］をクリックします。
スケジュールが確定します。
確定したスケジュールには確定マーク（ ）が表示されます。

・配信が正しく行われたかどうか、［配信状況］で確認してください。（☞124 ページ）

・WEB サーバー上でタイムテーブルおよび番組を編集することはできません。エディタで再度編集し、サーバーへアップロードしてください。

・スケジュールや番組の配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、スケジュールや番組の配信には、時間差が発生します。

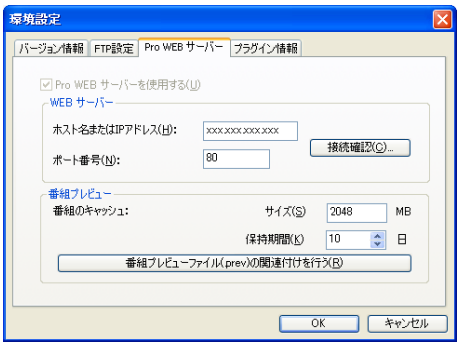
・過去のスケジュールデータは配信されません。本日以降のスケジュールデータが配信されます。

●番組をダウンロードしてプレビューする

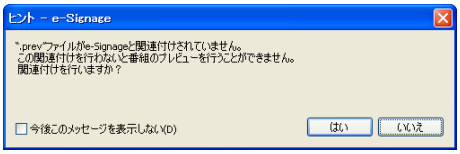
1 **ランチャー画面で** **をクリックします。**
［環境設定］ダイアログボックスが起動します。

2 **［Pro WEB サーバー］タブをクリックします。**

3 **「番組プレビューファイルの関連付けを行う」をクリックします。**



・e-Signage をはじめて起動するとき、確認画面が表示されますので、［はい］をクリックしても、関連付けができます。



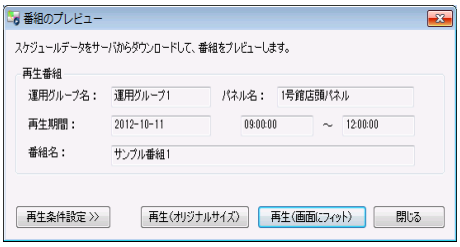
4 **機能切換タブの [配信予約] タブをクリックします。**

5 **ダウンロードしたい番組をクリックします。**
番組のサムネールが表示されます。

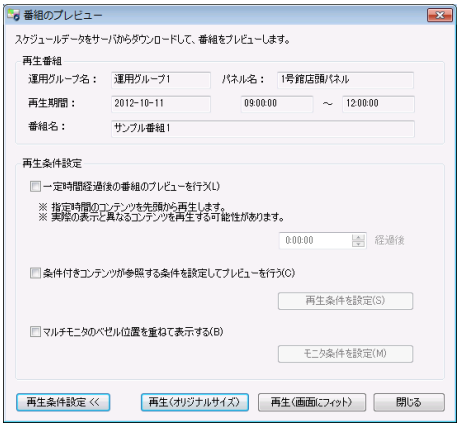
6 **［データをダウンロード］をクリックします。**
次の条件でユーザーがログインした場合に「データダウンロード」ボタンが表示されます。
1. ユーザーグループの追加編集（☞144 ページ）で「データダウンロード」にチェックを入れます。
2. ユーザーグループに登録されていて、承認する権限を持ったユーザーがログインします。

パソコンによっては、セキュリティ警告のメッセージが表示されますが、「開く」を選びます。
番組のプレビュー画面が表示されます。

7 **［再生（オリジナルサイズ）］、または［再生（画面にフィット）］をクリックします。**
・［再生（オリジナルサイズ）］ボタン
画面サイズをオリジナルサイズのままで、プレビューします。
・［再生（画面にフィット）］ボタン
画面サイズをパソコンの画面サイズに合わせて、プレビューします。



再生条件設定について



「再生条件設定」をクリックすると、設定した条件でプレビューを行います。

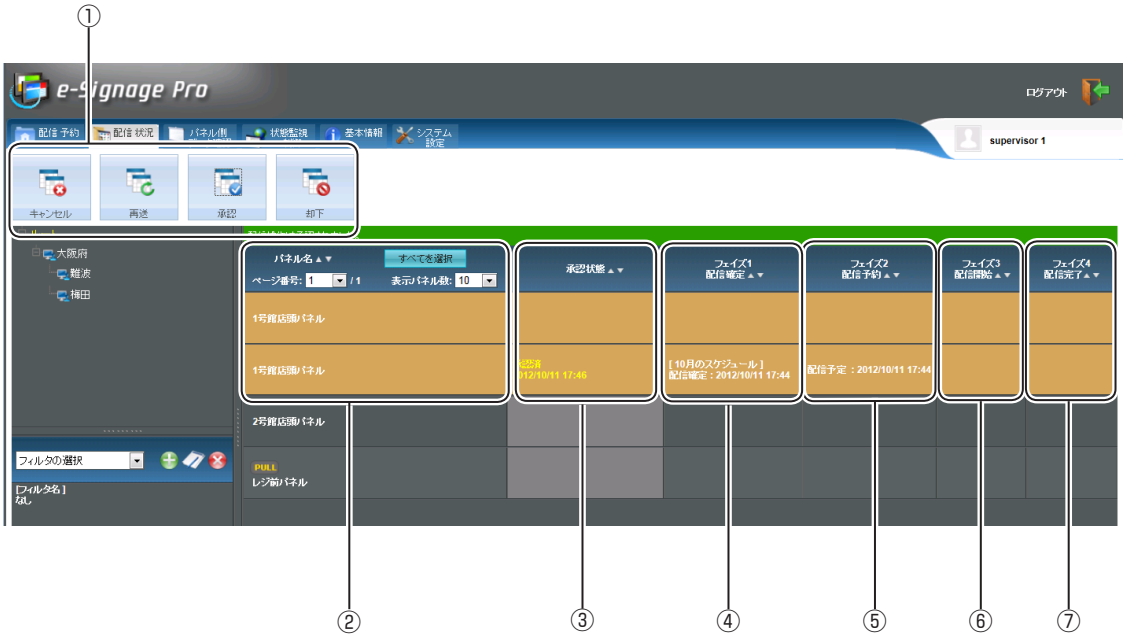
・一定時間経過後の番組のプレビューを行う：
指定時間経過後の番組をプレビュー表示します。本機能を利用して番組プレビューを行った際、最初に表示されるコンテンツは必ずコンテンツの先頭から再生されるため、次のコンテンツへの切換タイミングは番組を先頭から再生する場合とは異なる可能性があります。

・条件付きコンテンツが参照する条件を設定してプレビューを行う：
［再生条件を設定］をクリックして条件を設定します。
条件付きコンテンツ再生時には［再生条件設定］で設定された条件に合うコンテンツが表示されます。
・「再生日」　：再生する番組の日を設定します。
・「再生時刻」：再生する番組の時刻を設定します。
・「パネル名」：再生する番組のパネルを設定します。
・「グループ」：再生するグループ名を設定します。
・「コメント」：番組を再生するパネルのコメントを設定します。

・マルチモニタのベゼル位置を重ねて表示する：
番組をマルチモニタで表示するときの、パネル間のベゼルの位置をプレビューで表示します。
※ベゼルの位置は、目安としてお考えください。
・「モニタ機種名」　：モニタの機種名を選択します。
・「マルチモニタ構成」：マルチモニタの構成を選択します。

配信状況

スケジュールの配信状況を確認することができます。
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。



①操作ツールバー

	配信が完了していないスケジュールの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったスケジュールを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
（※）	スケジュールを承認します。承認する権限を持ったユーザーのみが承認できます。 未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
（※）	スケジュールを却下します。承認する権限を持ったユーザーのみが却下できます。 却下すると配信されません。未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。

※ 次の条件でユーザーがログインした場合に表示されます。

1. Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にします。
2. ユーザーグループの追加編集（☞144 ページ）で「配信承認」にチェックを入れます。
3. ユーザーグループに登録されていて、承認する権限を持ったユーザーがログインします。

②パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

③承認状態

承認、または却下した日時が表示されます。未承認のときは、承認待ちと表示されます。
Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にした場合に表示されます。

④配信確定

割り付けられたスケジュール名と配信が確定した日時が表示されます。

⑤配信予約

配信が予約されている日時が表示されます。

⑥配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

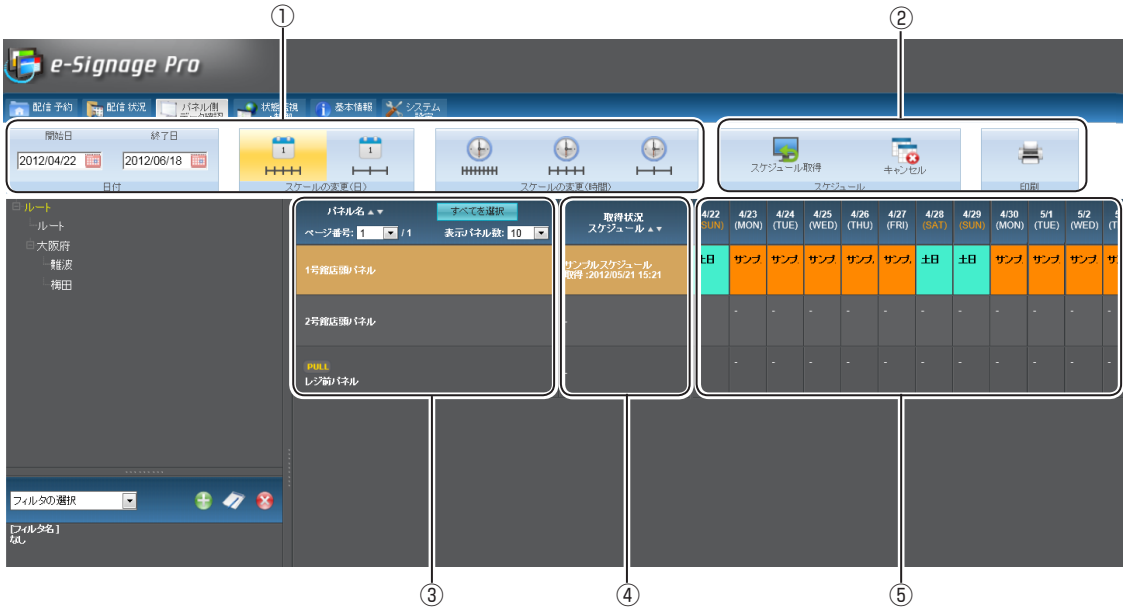
⑦配信完了

配信が完了した日時が表示されます。
配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

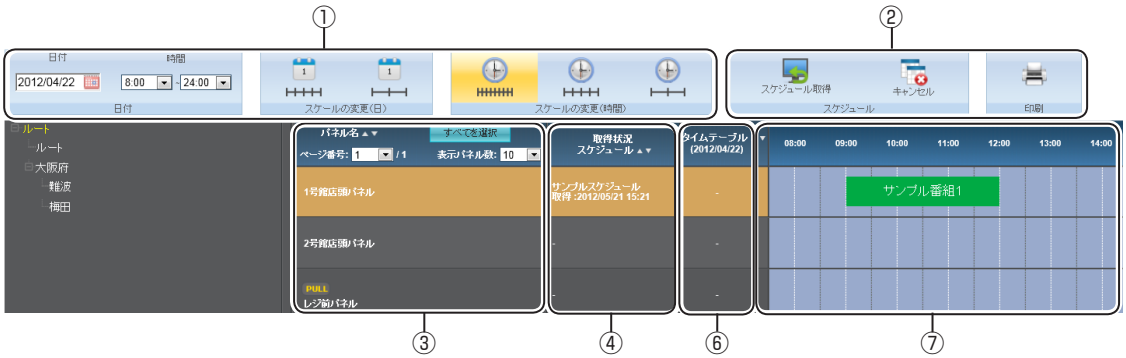
パネル側データ確認

パネルに配信されたスケジュールを確認することができます。
配信予約と同様に、日単位 / 時間単位で表示することができます。
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

日単位表示



時間単位表示



①表示ツールバー

詳細は 119 ページを参照してください。

②操作ツールバー

スケジュール取得	パネルに配信されたスケジュールの情報を取得します。 情報を取得したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。 PULL 型配信では、操作後に表示用 PC からアクセスがあったタイミングでデータの取得が行われます。
キャンセル	パネルに配信されたスケジュールの情報取得をキャンセルします。情報取得をキャンセルするパネルを選び、このアイコンをクリックします。
印刷	ディスプレイリストに表示されているスケジュールを印刷します。

③パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

④取得状況

取得したスケジュール名と取得が完了した日時が表示されます。

⑤カレンダー（日単位表示）

日ごとにタイムテーブルの情報が表示されます。

⑥タイムテーブルリスト（時間単位表示）

対象日に設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

⑦タイムテーブル（時間単位表示）

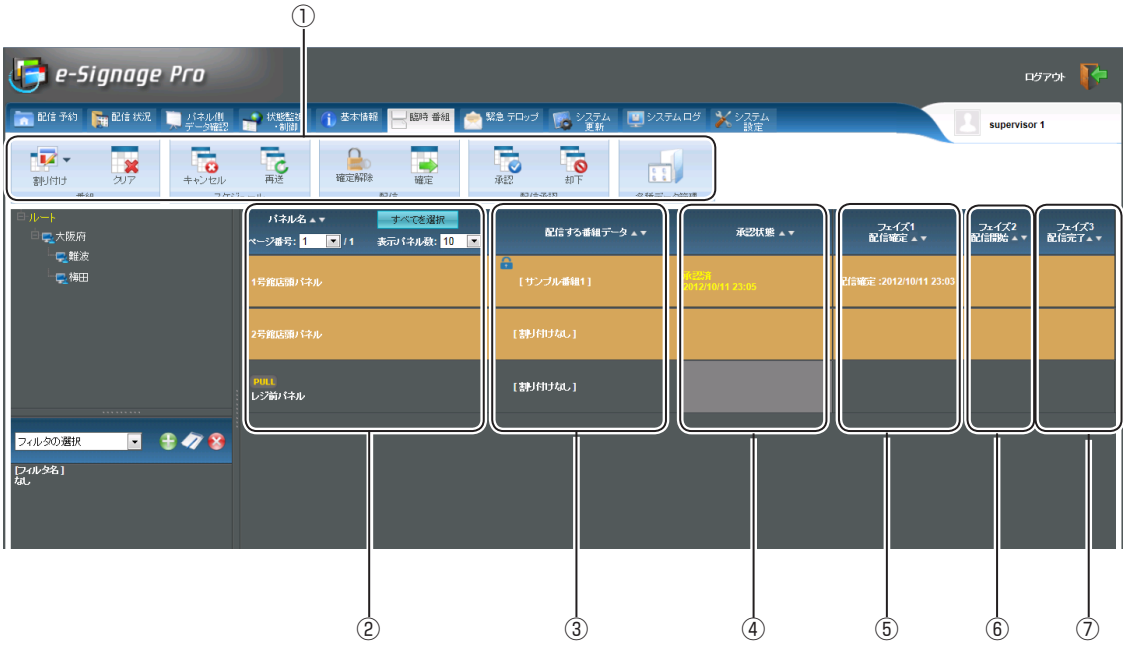
対象日に設定されているタイムテーブルが表示されます。
番組にマウスポインタを合わせると番組のサムネイルを見ることができます。

緊急配信

●臨時番組

臨時に番組を配信することができます。
また、その配信状況を確認することができます。
番組停止コマンドを配信し、臨時番組を途中で止めることもできます。
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

※ メニューオプションで「臨時番組」タブが表示されるよう設定してください。(☞109 ページ)



①操作ツールバー

割り付け	パネルに臨時に配信する番組（番組停止コマンド）を割り付けます。 配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(☞129 ページ)
クリア	番組（番組停止コマンド）を割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
キャンセル	配信が完了していない番組（番組停止コマンド）の配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
再送	配信エラーとなった番組（番組停止コマンド）を送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定解除	パネルに割り付けられ確定した番組（番組停止コマンド）の確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定	番組（番組停止コマンド）の割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。(☞130 ページ)
承認 (※)	臨時番組を承認します。承認する権限を持ったユーザーのみが承認できます。 未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
却下 (※)	臨時番組を却下します。承認する権限を持ったユーザーのみが却下できます。 却下すると配信されません。未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。

	管理用 PC にアップロードされたデータの一覧表示・削除を行います。(☞135 ページ)

※ 次の条件でユーザーがログインした場合に表示されます。
1. Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にします。
2. ユーザーグループの追加編集(☞144 ページ)で「臨時番組配信承認」にチェックを入れます。
3. ユーザーグループに登録されていて、承認する権限を持ったユーザーがログインします。

②パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

③臨時番組リスト

パネルに割り付けられている番組名が表示されます。

④承認状態

承認、または却下した日時が表示されます。未承認のときは、承認待ちと表示されます。
Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にした場合に表示されます。

⑤配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

⑥配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

⑦配信完了

配信が完了した日時が表示されます。
配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

●臨時番組や番組停止コマンドを配信する

1 **機能切換タブの「臨時番組」タブをクリックします。**

「臨時番組」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。(☞109 ページ)

2 **ディスプレイリストに番組を割り付けるパネルを表示させます。**

・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞108 ページ)

3 **番組(番組停止コマンド)をパネルに割り付けます。**

①番組(番組停止コマンド)を割り付けるパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

② にマウスポインタを合わせます。

臨時番組の場合:

③[臨時番組の割り付け]をクリックします。
[臨時番組の割り付け]画面が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

④番組データを選び、［割り付け］をクリックします。
番組が割り付けられます。

番組停止コマンドの場合：
③臨時番組［番組停止コマンドの割り付け］をクリックします。
番組停止コマンドが割り付けられます。

4 番組の配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。
［臨時番組の表示時刻と表示時間の指定］画面が表示されます。
・番組停止コマンドのみを配信する場合は、画面は表示されず、メッセージが表示されます。［OK］をクリックすると番組停止コマンドの配信が確定します。
・臨時番組と番組停止コマンドの配信が混在しているときは、画面が表示されます。設定は臨時番組に対して有効です。

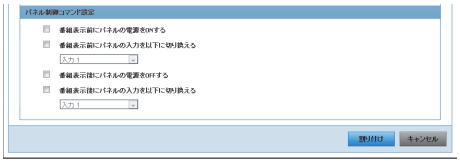
③「臨時番組の表示時刻」を選びます。
・「配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン
配信終了後、すぐに番組を表示します。
・「指定時刻に臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン
設定した時刻に番組を表示します。
④「表示時間」を設定します。
⑤配信済みのコンテンツを表示用 PC に配信するかどうか設定します。
「配信済コンテンツとの差分データだけを配信する」にチェックすると、未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済コンテンツは配信しません。

臨時番組の表示前後にパネル制御を行わない場合：
⑥「番組表示前後に、パネル制御を行う」チェックボックスのチェックを外します。
⑦［OK］をクリックします。
臨時番組が確定します。
確定した番組（番組停止コマンド）には確定マーク（ ）が表示されます。

臨時番組の表示前後にパネル制御を行う場合：

⑥「番組表示前後に、パネル制御を行う」チェックボックスをチェックします。
［パネル制御コマンド設定」の項目が表示されます。

⑦パネル制御コマンドを指定します。



・「番組表示前に、パネルの電源を ON する」チェックボックス
パネルの電源を入れた後、臨時番組を表示します。
・「番組表示前にパネルの入力を以下に切り換える」チェックボックス
指定の入力に変えた後で、臨時番組を表示します。
・「番組表示後にパネルの電源を OFF する」チェックボックス
臨時番組の表示が終了した後、パネルの電源を切ります。
・「番組表示後にパネルの入力を以下に切り換える」チェックボックス
臨時番組の表示が終了した後、指定の入力に変えます。

⑧［OK］をクリックします。
臨時番組の配信が確定します。
確定した番組（番組停止コマンド）には確定マーク（ ）が表示されます。

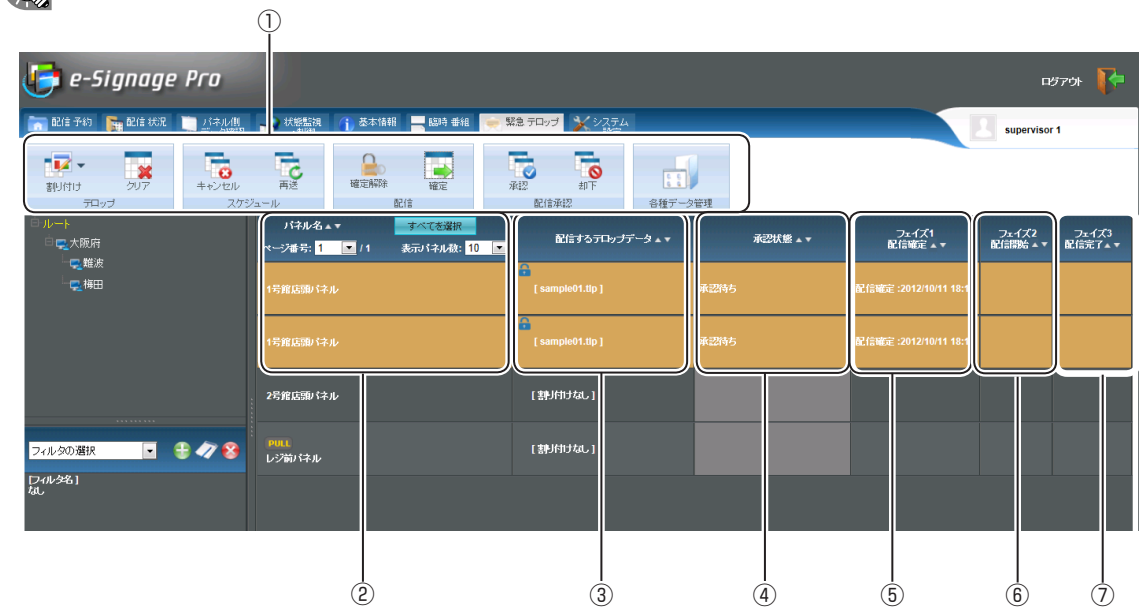
・PULL 型配信では、配信確定後、表示用 PC からアクセスがあったタイミングで配信が開始されます。
・パネル制御では下記の制限があります。
LB-46GX35、LB-52GX35 では、パネルの電源を ON することができません。
PN シリーズ、LB-1085 では、入力を「TV」に変えることはできません。
・既に時刻が過ぎていた場合、臨時番組は表示されません。
・臨時番組の表示終了後、通常番組の表示に変わります。臨時番組が終了した時刻に本来表示されているはずの番組が始めから表示されます。
・臨時番組の終了は、毎分丁度 (00 秒) に確認されます。臨時番組の表示が終わり本来の番組が始まるのは、臨時番組終了後の最初の 00 秒時点となります。
・臨時番組は、1 パネルにつき 1 つしか割り付けできません。

緊急テロップ

臨時にテロップを配信することができます。
また、その配信状況を確認することができます。
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

※ メニューオプションで「緊急テロップ」タブが表示されるよう設定してください。(☞109 ページ)

テロップの表示を止めるときは、テロップ停止コマンドを配信します。(☞134 ページ)



①操作ツールバー

割り付け	パネルに臨時に配信するテロップ（テロップ停止コマンド）を割り付けます。 配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(☞134 ページ)
クリア	テロップ（テロップ停止コマンド）を割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
キャンセル	配信が完了していないテロップ（テロップ停止コマンド）の配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
再送	配信エラーとなったテロップ（テロップ停止コマンド）を送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定解除	パネルに割り付けられ確定したテロップ（テロップ停止コマンド）の確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定	テロップ（テロップ停止コマンド）の割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
承認 (※)	緊急テロップを承認します。承認する権限を持ったユーザーのみが承認できます。 未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
却下 (※)	緊急テロップを却下します。承認する権限を持ったユーザーのみが却下できます。 却下すると配信されません。未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
各種データ管理	管理用 PC にアップロードされたデータの一覧表示・削除を行います。(☞135 ページ)

※　次の条件でユーザーがログインした場合に表示されます。

1. Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にします。
2. ユーザーグループの追加編集（☞144 ページ）で「緊急テロップ配信承認」にチェックを入れます。
3. ユーザーグループに登録されていて、承認する権限を持ったユーザーがログインします。

②パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

③緊急テロップリスト

パネルに割り付けられているテロップの情報が表示されます。

④承認状態

承認、または却下した日時が表示されます。未承認のときは、承認待ちと表示されます。
Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にした場合に表示されます。

⑤配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

⑥配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

⑦配信完了

配信が完了した日時が表示されます。
配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

PULL 型配信では、配信確定後、表示用 PC からアクセスがあったタイミングで配信が開始されます。

●緊急テロップやテロップ停止コマンドを配信する

臨時にテロップを配信します。
緊急テロップの表示を止めるときは、テロップ停止コマンドを配信します。

1 機能切換タブの「緊急テロップ」タブをクリックします。

「緊急テロップ」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。(☞109 ページ)

2 ディスプレイリストにテロップ（テロップ停止コマンド）を割り付けるパネルを表示させます。

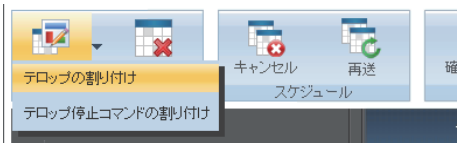
・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞108 ページ)

3 テロップ（テロップ停止コマンド）をパネルに割り付けます。

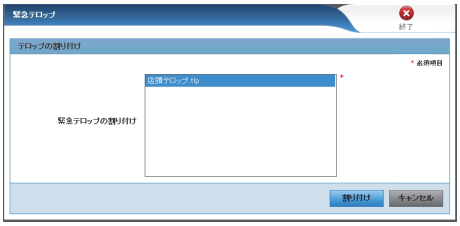
①テロップ（テロップ停止コマンド）を割り付けるパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

にマウスポインタを合わせます。



緊急テロップの場合：
③[テロップの割り付け] をクリックします。
[緊急テロップ] 画面が表示されます。
④テロップを選び、[割り付け] をクリックします。
緊急テロップが割り付けられます。



テロップ停止コマンドの場合：
③[テロップ停止コマンドの割り付け] をクリックします。
テロップ停止コマンドが割り付けられます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

4 配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。
③[OK] をクリックします。
配信が確定します。
確定したテロップ（テロップ停止コマンド）には確定マーク（ ）が表示されます。

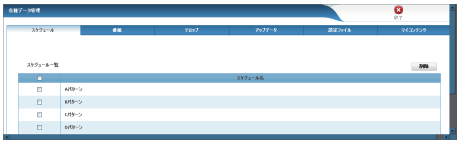
・緊急テロップの表示位置は、表示用 PC の e-Signage クライアントスケジューラで指定します。
・緊急テロップ表示中は、もとの番組で表示されていたテロップは表示されません。

●アップロードされたデータを削除する

操作用 PC から管理用 PC にアップロードされたデータを削除します。

1 **機能切換タブの「配信予約」タブをクリックします。**

2 **をクリックし、 をクリックします。**
「各種データ管理」画面が表示されます。



3 **削除するデータ種別のタブをクリックします。**
アップロードされているデータの一覧が表示されます。
削除できるデータは下記の通りです。
・スケジュール
・番組
・テロップ
・アップデータ
・設定ファイル
・マイコンテンツ

4 **削除したいデータのチェックボックスにチェックを入れ、「削除」をクリックします。**
確認ダイアログが表示されます。

5 **「OK」をクリックします。**

臨時番組、緊急テロップ、システム更新の画面からも操作することができます。

管理

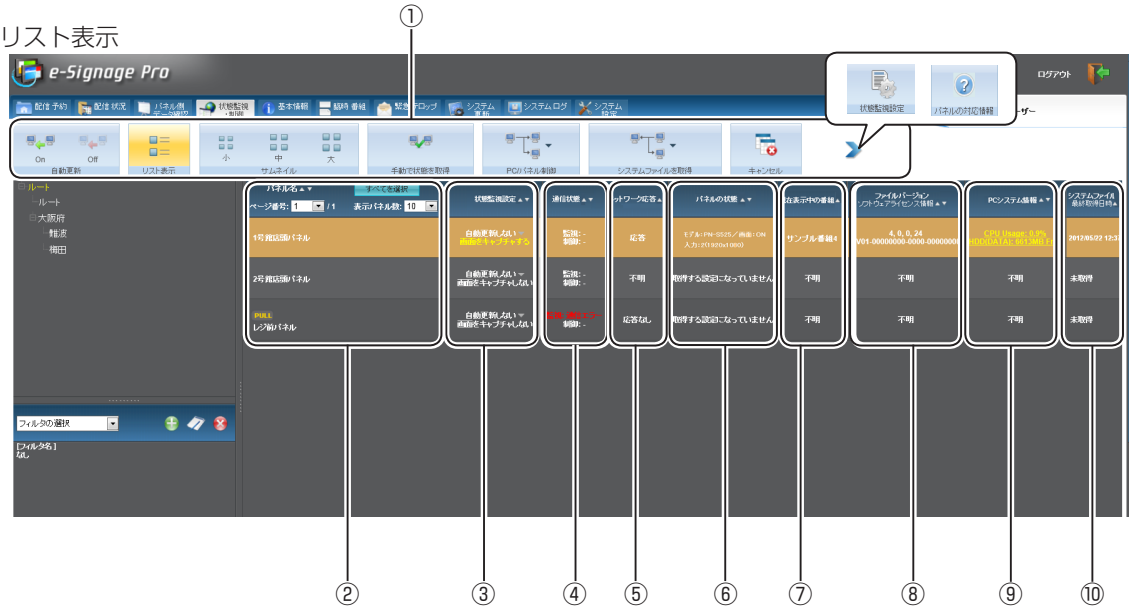
状態監視・制御

パネルの状態を取得し、確認することができます。
また、PC やパネルの電源などを制御することができます。

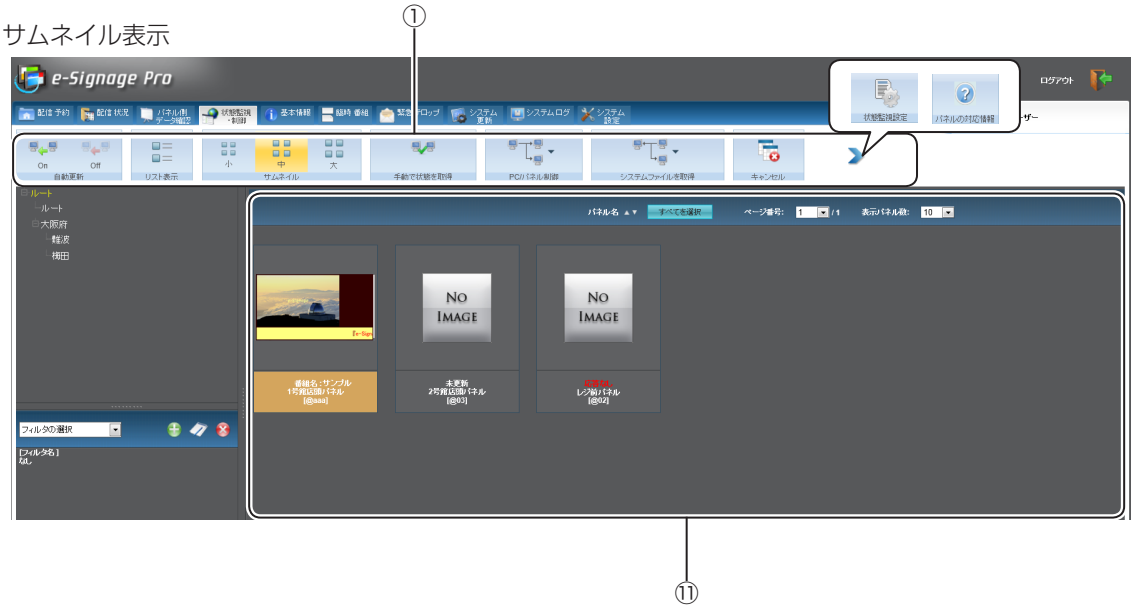
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

パネルの状態監視は、インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）で利用できます。

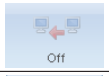
リスト表示



サムネイル表示



①操作ツールバー

	パネルの自動監視を行います。 ［自動更新する］に設定されているパネルの情報を定期的に取得し、表示します。 情報を取得する間隔は、状態監視設定で変更することができます。（☞140 ページ）
	パネルの自動監視を停止します。
	パネルの状態を一覧で表示します。
	パネルの状態をサムネイルで表示します。 サムネイルの大きさを変えることができます。
	パネルの状態を取得します。 状態を取得するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルや表示用 PC の電源 ON/OFF などの制御をすることができます。（☞139 ページ）
	表示用 PC のシステムファイルを取得することができます。（☞139 ページ）
	パネルの状態取得をキャンセルします。
	状態制御・監視に関する設定を行います。
	インフォメーションディスプレイの対応機種を表示します。 ※新しいタブで表示します。 表示内容については 84 ページをご覧ください。

②パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

③状態監視設定リスト

パネルごとに状態監視設定の内容が表示されます。
設定の変更は、マウスオーバーで表示されるメニューで行います。

自動更新する	パネルの自動監視を行う際、自動更新をするかしないかを設定します。
自動更新しない	
画面キャプチャ機能を有効にする	パネルの状態を取得する際、表示用 PC が表示している内容を画像として取得するかしないかを設定します。 取得した画像はサムネイル表示の際に表示されます。
画面キャプチャ機能を無効にする	

④通信状態

状態監視と制御の通信状態が表示されます。

⑤ネットワーク応答

通信の結果、応答の有無が表示されます。

⑥パネルの状態

取得したパネルの状態が表示されます。

⑦現在表示している番組情報の取得

現在表示中の番組名が表示されます。

⑧ファイルバージョン、ソフトウェアライセンス情報

表示用 PC にインストールされている e-Signage ビューア版のバージョンおよびソフトウェアライセンス情報が表示されます。

⑨ PC システム情報

表示用 PC のシステム情報が表示されます。この項目をマウスオーバーすると詳細な情報を表示します。
表示用 PC の OS が、Windows 2000 Service Pack 1 以前の場合、「CPU 使用率」、「スレッド数」、「ハンドル数」は取得できません。

⑩システムファイル最終取得日時

表示用 PC からシステムファイルを取得した日時を表示します。

⑪パネルアイコン / サムネイル

取得したパネルの状態がアイコンやサムネイルで表示されます。

パネルアイコン / サムネイル	状態
	表示用 PC が下記のいずれかの状態です。 ・パネル / 表示用 PC の状態が取得できていない状態 ・表示用 PC から応答がない状態 ・表示用 PC から応答があり、表示している画面のキャプチャ画像が取得できていない状態
 （一例です）	表示用 PC から応答があり、表示している画面のキャプチャ画像が取得できた状態 ※ 取得できたキャプチャ画像がサムネイル表示されます。（表示用 PC の表示により異なります。）

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
PULL 型配信では、表示用 PC からアクセスがあったタイミングで状態が取得されます。

●表示用 PC/ パネルを制御する

パネルや表示用 PC を制御することができます。

1 **機能切換タブの「状態監視・制御」タブをクリックします。**

2 **ディスプレイリストに制御を行うパネルを表示させます。**
・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞108 ページ)

3 **制御を行うパネルをクリックします。**
複数のパネルを選ぶこともできます。

4

をにマウスポインタを合わせ、制御内容を選びます。

メニュー名	内容
表示用 PC の電源を ON	選んだパネルの表示用 PC の電源を ON します。 PULL 型配信では行えません。
表示用 PC の電源を OFF	選んだパネルの表示用 PC の電源を OFF します。
表示用 PC の再起動	選んだパネルの表示用 PC を再起動します。
表示用 PC の時計合わせ	表示用 PC の時計を管理用 PC の時刻に合わせます。
パネルの電源を ON	選んだパネルの電源を ON します。 ただし、LB-46GX35、LB-52GX35 では、電源を ON することはできません。
パネルの電源を OFF	選んだパネルの電源を OFF します。
番組の表示を一時中断	番組の表示を一時中断します。
番組の表示を再開	一時中断した番組の表示を再開します。
入力 1 ～ 15 TV	選んだパネルの入力を切り換えます。 ただし、PN シリーズ、LB-1085 では入力を「TV」に変えることはできません。

確認メッセージが表示されます。

5 **[OK] をクリックします。**
処理が実行されます。
PULL 型配信では、表示用 PC からアクセスがあったタイミングで制御が行われます。

●システムファイルを取得する

表示用 PC のシステムファイルを取得することができます。(システムファイルはサービスマンが使用します。)

1 **機能切換タブの「状態監視・制御」タブをクリックします。**

2 **ディスプレイリストにシステムファイルを取得するパネルを表示させます。**
・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞108 ページ)

3 **システムファイルを取得するパネルをクリックします。**
複数のパネルを選ぶこともできます。

4

にマウスポインタを合わせ、取得するファイルを選びます。
PULL 型配信では、表示用 PC からアクセスがあったタイミングでシステムファイルが取得されます。

・最新のシステムファイルのみ取得することができます。
・DirectX 情報を取得する場合、表示用 PC に DirectX バージョン 9.0 以降がインストールされている必要があります。
・表示用 PC の状態、取得するファイルによっては、取得に時間がかかる場合があります。
・システムファイル取得中は、パネルの状態を取得することはできません。
パネルの自動監視を行っている場合は、自動監視を停止してください。

●状態監視設定を行う

状態監視画面で をクリックすると、状態監視設定画面が表示されます。

①状態取得機能
・「パネル（PN シリーズ）の状態取得」
　チェックすると、表示用 PC からパネルの情報を取得します。
・「現在表示している番組情報の取得」
　チェックすると、表示用 PC から現在表示している番組の情報を取得します。
・「ライセンス情報とファイルバージョンの取得」
　チェックすると、ライセンスコードと e-Signage ビューア版のファイルバージョンを取得します。
・「PC システム情報の取得」
　チェックすると、表示用 PC からシステム情報を取得します。

自動更新時の状態取得間隔：
② 取得間隔
　自動更新時に状態取得する間隔を選びます。PULL 型配信では、この設定値は無視されます。自動更新時には表示用 PC からのアクセス毎に状態が通知されます。
③ 運用グループの選択
　スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。

基本情報

各パネルの登録内容を確認することができます。

・グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
・ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。
・パネル名のヘッダ部の「ページ番号」リストボックスで、次ページ以降のパネル情報を表示できます。
・パネル名のヘッダ部の「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

ユーザー管理

管理用 PC にログインするユーザー情報を管理します。
[システム設定] タブをクリックし、[ユーザー] をクリックすると、ユーザー管理画面が表示されます。

●ユーザー管理の基本画面

①ツールバー

ユーザー／ユーザーグループの切り換えを行います。

②チェックボックス

ユーザーを選択します。ユーザーの編集・削除に使用します。

③ユーザー ID

ユーザーＩＤを表示します。

④表示名

ログイン時に表示されるユーザー名です。

⑤ユーザーグループ

ユーザーが属するグループ名です。

⑥ボタン

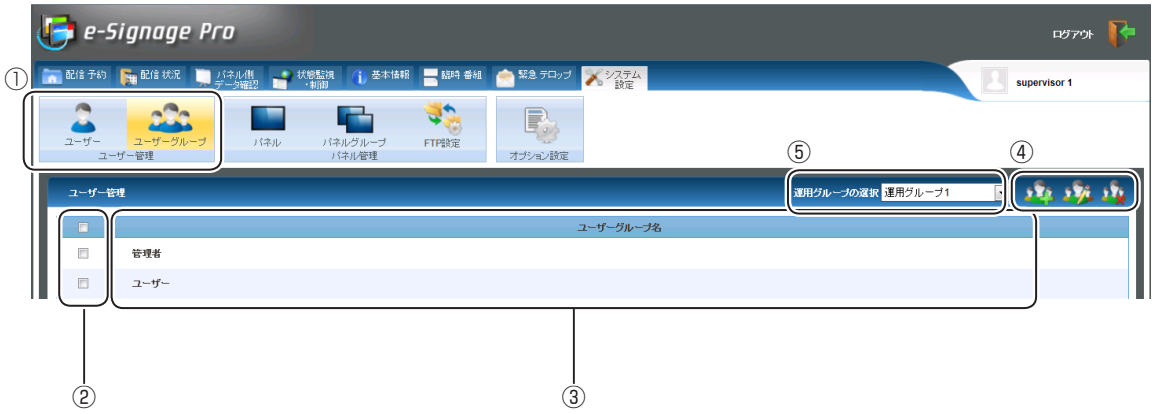
ユーザーの追加・編集・削除を行います。

⑦運用グループ選択

スーパーバイザーとしてログインしたときに、「運用グループの選択」が表示されます。

[ユーザーグループ] をクリックすると、ユーザーグループ管理画面が表示されます。
ユーザーグループ単位に、配信、状態監視、臨時番組、緊急テロップなどの操作権限を設定することができます。

●ユーザーグループ管理の基本画面



①ツールバー

ユーザー／ユーザーグループの切り換えを行います。

②チェックボックス

ユーザーグループを選択します。ユーザーグループの編集・削除に使用します。

③ユーザーグループ名

ユーザーグループの名称です。

④ボタン

ユーザーグループの追加・編集・削除を行います。

⑤運用グループ選択

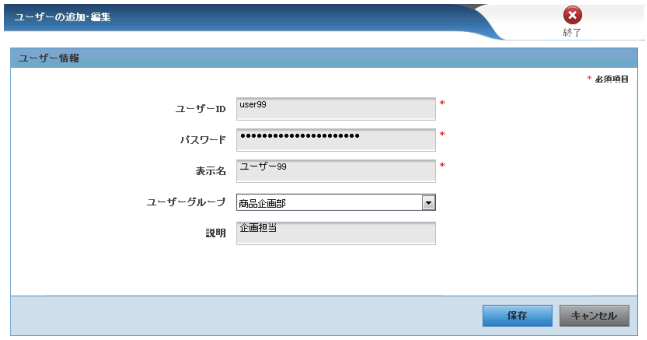
スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。

ユーザーを作成する

1 **ユーザー管理画面で** **をクリックします。**

ユーザー追加・編集画面が表示されます。

2 **各項目を入力します。**



項目名	説明
ユーザー ID（必須）	ログイン時に入力する ID です。 （半角英数 1 ～ 30 文字）
パスワード（必須）	ログイン時に入力するパスワードです。 （半角英数 1 ～ 30 文字）
表示名（必須）	ログイン時に表示されるユーザー名です。 （1 ～ 50 文字）
ユーザーグループ（必須）	所属するグループ名です。
説明	ユーザーに関するコメントです。 （100 文字まで）

3 **[OK] をクリックします。**

作成したユーザーを編集するときは、 をクリックし、編集してください。

・既に同じユーザー ID が存在している場合は、登録することができません。
・登録後はユーザー ID を変更することはできません。

ユーザーグループを作成する

1 **ユーザー管理画面で「ユーザーグループ」をクリックします。**
ユーザーグループの一覧が表示されます。

2 **をクリックします。**
ユーザーグループの追加・編集画面が表示されます。

3 **各項目を入力します。**

項目名	説明
ユーザーグループ名（必須）	グループの名称です。（1 ～ 50 文字）
説明	ユーザーグループに関するコメントです。（100 文字まで）
機能（必須）	配信、状態監視などのサーバーに接続して行う各操作に対して、操作可否を設定します。

作成したユーザーグループを編集するときは、 をクリックし、編集してください。

以下の機能の操作権を設定することができます。

項目名	説明
すべて	すべての操作を許可します。
配信予約	スケジュールをパネルへ割り付け、配信を実行します。
配信状況	スケジュールの配信状況を確認します。
パネル側データ確認	パネルに現在配信されているスケジュールを取得します
状態監視	パネルの状態を確認します。
状態制御	パネルに対し状態制御コマンドを送信します。
基本情報	パネル一覧画面を閲覧します。
臨時番組	臨時番組をパネルへ割り付け、配信を実行します。
緊急テロップ	緊急テロップをパネルへ割り付け、配信を実行します。
システム更新	表示用 PC の設定変更を行います。
システムログ	システムログの操作履歴情報を閲覧します。
ユーザー管理	ユーザーの追加・編集・削除を行います。
パネル管理	パネルの追加・編集・削除を行います。
配信承認	配信を承認する権限を与えます。
臨時番組配信承認	臨時番組の配信を承認する権限を与えます。
緊急テロップ配信承認	緊急テロップの配信を承認する権限を与えます。

項目名	説明
システム更新承認	システムの更新を承認する権限を与えます。
データアップロード	番組やスケジュールのアップロードを行います。
データダウンロード	番組やスケジュールのダウンロードを行います。

4 **[OK] をクリックします。**
ユーザーグループが新規登録されます。

●ユーザー・ユーザーグループを削除する

1 **ユーザー一覧またはユーザーグループ一覧画面で、削除したいユーザーまたはグループのチェックボックスにチェックを入れます。**

2 **をクリックします。**

確認メッセージが表示されます。

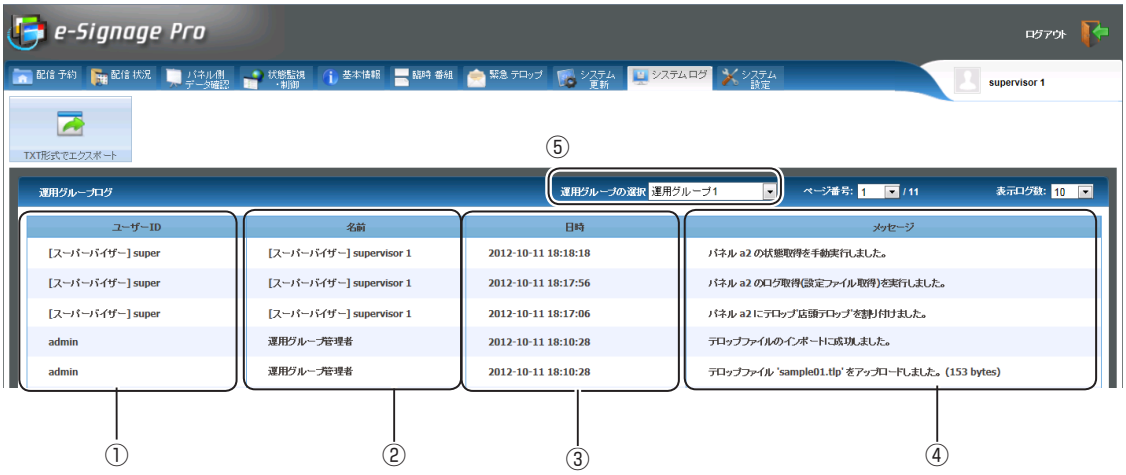
3 **[OK] をクリックします。**

操作履歴を確認する

ユーザーが管理用 PC にアクセスした履歴を表示します。
過去 30 日分までの操作履歴情報が閲覧できます。

1 **「システムログ」タブをクリックします。**

※ メニューオプションで「システムログ」タブが表示されるよう設定してください。(☞109 ページ)



①ユーザー ID

ユーザー ID が表示されます。

②名前

ユーザー名表示されます。

③日時

操作日時が表示されます。

④メッセージ

操作結果が表示されます。

⑤運用グループの選択

スーパーバイザーとしてログインしたときに、「運用グループの選択」が表示されます。

●操作履歴をテキストファイルに出力する

操作履歴情報を、CSV 形式のテキストファイル (.txt) に出力します。

1 **画面左上の** **をクリックします。**

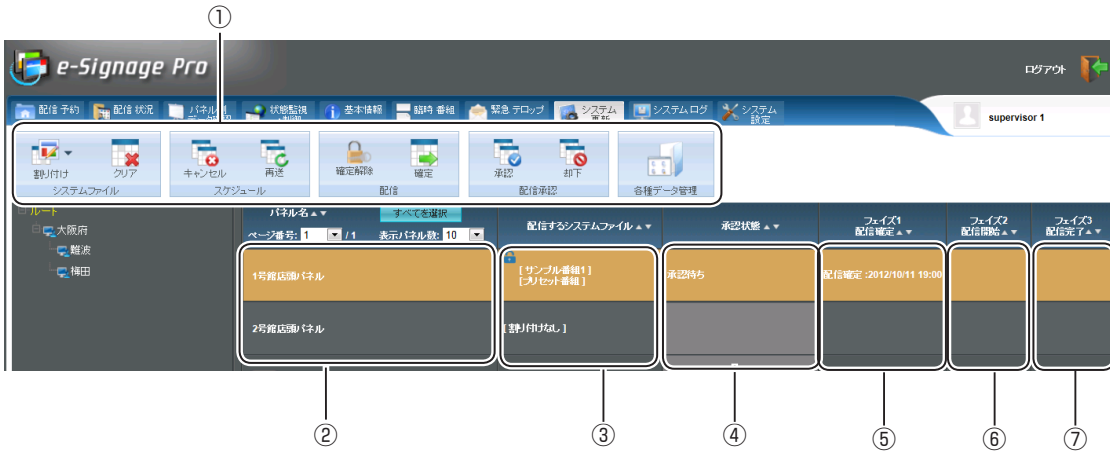
「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されます。

2 **[保存] をクリックし、保存先を指定して [保存] をクリックします。**

システム更新

システム更新では、表示用 PC の e-Signage ビューア版のアップデートや、表示用 PC の設定変更などを行うことができます。
ヘッダ部に▲▼が表示されている項目は、▲▼をクリックすると昇順 / 降順で並び換えることができます。

※ メニューオプションで「システム更新」タブが表示されるよう設定してください。(☞109 ページ)
※ 将来のアップデートをお約束するものではありません。



①操作ツールバー

割り付け	パネル（に接続されている表示用 PC）に配信するシステムファイル（アップデータや設定など）を割り付けます。配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(☞148 ページ)
クリア	システムファイルを割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
キャンセル	配信が完了していないシステムファイルの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
再送	配信エラーとなったシステムファイルを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定解除	パネル（に接続されている表示用 PC）に割り付けられ確定したシステムファイルの確定を解除します。確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
確定	システムファイルの割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。(☞148 ページ)
承認 (※)	システムファイルを承認します。承認する権限を持ったユーザーのみが承認できます。 未承認の配信があるパネルを選び、このアイコンをクリックします。
却下 (※)	システムファイルを却下します。承認する権限を持ったユーザーのみが却下できます。 却下すると配信されません。却下するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
容種データ管理	管理用 PC にアップロードされた番組やスケジュールの一覧表示・削除を行います。 (☞135 ページ)

※　次の条件でユーザーがログインした場合に表示されます。

1. Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にします。
2. ユーザーグループの追加編集（☞144 ページ）で「システム更新承認」にチェックを入れます。
3. ユーザーグループに登録されていて、承認する権限を持ったユーザーがログインします。

②パネル名

パネル名が表示されます。
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
「ページ番号」リストボックスで、パネル表示を 10 件ずつ切り換えることができます。
「表示パネル数」リストボックスで、パネルの表示件数を 10 件、20 件、30 件から選択できます。

③システムファイルリスト

パネルに割り付けられているシステムファイル（アップデータや設定など）のファイル名が表示されます。

④承認状態

承認、または却下した日時が表示されます。未承認のときは、承認待ちと表示されます。
Pro WEB サーバー管理ツールで配信承認機能を有効にした場合に表示されます。

⑤配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

⑥配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

⑦配信完了

配信が完了した日時が表示されます。
配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

●アップデータを配信する

e-Signage ビューア版（PN-SV01）のアップデータを配信し、アップデートを行います。

1 **機能切換タブの「システム更新」タブをクリックします。**

「システム更新」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。（☞109 ページ）

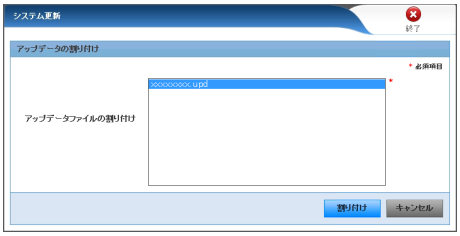
2 **ディスプレイリストにアップデータを割り付けるパネルを表示させます。**

・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。（☞108 ページ）

3 **アップデータをパネルに割り付けます。**

①アップデータを割り付けるパネルをクリックします。
　複数のパネルを選ぶこともできます。
②

にマウスポインタを合わせます。
③「アップデータの割り付け」をクリックします。
　「システム更新」画面が表示されます。
④アップデータを選び、[割り付け] をクリックします。
　アップデータが割り付けられます。



・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

4 配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。

③[OK] をクリックします。
配信が確定します。
確定したアップデータには確定マーク（ ）が表示されます。

表示用 PC でアップデータの受信が完了すると、アップデートが始まります。
アップデート中､配信先パネルで番組は表示されません｡(アップデート中 e-Signage 番組ビューアは終了します｡)
アップデート終了後、表示用 PC は再起動され、番組表示を再開します。

●プリセット番組 / デフォルト番組を配信する

1 機能切換タブの「システム更新」タブをクリックします。

「システム更新」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。
(☞109 ページ)

2 ディスプレイリストに番組を割り付けるパネルを表示させます。

・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞108 ページ)

3 番組をパネルに割り付けます。

①番組を割り付けるパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

にマウスポインタを合わせます。

③「プリセット番組の割り付け」をクリックします。
「システム更新」画面が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

④プリセット番組とプリセット番号を選び、[割り付け] をクリックします。
プリセット番組が割り付けられます。

4 配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。

③[OK] をクリックします。
配信が確定します。
確定したプリセット番組には確定マーク（ ）が表示されます。

・プリセット番組は、e-Signage キー／マウス監視ツールで利用します。
・デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時、番組表示領域に対して次の動作を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。
・表示用 PC で表示中の番組を配信することはできません。
「番組の表示を一時中断」で再生を中断してから番組を配信してください。配信完了後は、「番組の表示を再開」を行ってください。（☞139 ページ）

●コンテンツを事前配信する

表示用 PC へコンテンツを事前に配信します。

1 機能切換タブの「システム更新」タブをクリックします。

「システム更新」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。（☞109 ページ）

2 ディスプレイリストにコンテンツを割り付けるパネルを表示させます。

・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。（☞108 ページ）

3 コンテンツをパネルに割り付けます。

①コンテンツを割り付けるパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

にマウスポインタを合わせます。

③「マイコンテンツの割り付け」をクリックします。
「システム更新」画面が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

④コンテンツを選び、［割り付け］をクリックします。
コンテンツが割り付けられます。

4 配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。

③［OK］をクリックします。
配信が確定します。
確定したコンテンツには確定マーク（ ）が表示されます。

・コンテンツは、表示用 PC のマイコンテンツフォルダに配信されます。
同じファイル名がある場合、上書きされます。
マイコンテンツフォルダは、e-Signage クライアントスケジューラで設定します。
・表示用 PC で使用中のコンテンツを配信することはできません。
「番組の表示を一時中断」で再生を中断してからコンテンツを配信してください。配信完了後は、「番組の表示を再開」を行ってください。（☞139 ページ）
・以下の方法で配信したコンテンツを表示用 PC から削除することができます。
- 削除したいデータの一覧を記載したテキストファイルを配信。
マイコンテンツフォルダからの相対パスを各データ 1 行で記載してください。
テキストファイルのファイル名は「Delete.lst」としてください。

●設定ファイルを配信する（サービスマン用）

表示用 PC の設定を変更します。通常は使用しません。

1 **機能切換タブの「システム更新」タブをクリックします。**
「システム更新」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。
（☞109 ページ）

2 **ディスプレイリストに設定ファイルを割り付けるパネルを表示させます。**
・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。（☞108 ページ）

3 **設定ファイルをパネルに割り付けます。**
①設定ファイルを割り付けるパネルをクリックします。
　複数のパネルを選ぶこともできます。
②

にマウスポインタを合わせます。
③「設定ファイルの割り付け」をクリックします。
　「システム更新」画面が表示されます。

・スーパーバイザーとしてログインしたときは、「運用グループの選択」が表示されます。
・運用グループを選びます。

④設定ファイルを選び、［割り付け］をクリックします。
　設定ファイルが割り付けられます。

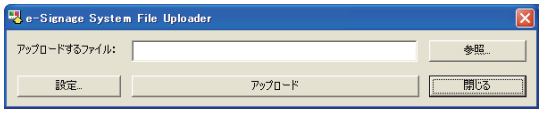
4 **配信を確定します。**
①配信を確定するパネルをクリックします。
　複数のパネルを選ぶこともできます。
②

をクリックします。
③［OK］をクリックします。
　配信が確定します。確定した設定ファイルには確定マーク（ ）が表示されます。

●システムファイルをアップロードする

システムファイルを管理用 PC へアップロードします。

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［システムファイルアップローダー］の順にクリックします。**
「システムファイルアップローダー」が起動します。



2 **[参照] をクリックし、ダイアログでシステムファイルを選択します。**

3 **[アップロード] をクリックします。**
ログイン情報が表示されます。

4 **ログイン情報を入力します。（操作方法は 64 ページと同じです）**

5 **[OK] をクリックします。**

[設定] をクリックすると、ログイン情報を変更することができます。

●パネル属性を配信する

表示用 PC へパネル属性（パネル名・グループ名・コメント 1 ・コメント 2・コメント 3）を配信します。
配信されたパネル属性は、表示用 PC で条件付きコンテンツを再生する際に判定条件として利用されます。

1 機能切換タブの「システム更新」タブをクリックします。

「システム更新」タブが表示されていない場合は、メニューオプションの設定を変更してください。
（☞109 ページ）

2 ディスプレイリストにパネル属性を割り付けるパネルを表示させます。

・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。（☞108 ページ）

3 パネル属性をパネルに割り付けます。

①パネル属性を割り付けるパネルをクリックします。
　複数のパネルを選ぶこともできます。

②

にマウスポインタを合わせます。

③「パネル属性の割り付け」をクリックします。
　パネル属性ファイルが割り付けられます。

4 配信を確定します。

①配信を確定するパネルをクリックします。
　複数のパネルを選ぶこともできます。

②

をクリックします。

③［OK］をクリックします。
　配信が確定します。確定したパネル属性には確定マーク（ ）が表示されます。

・［グループ］は、グループの階層を / 記号で区切った文字列となります。
（例）/ 関東 / 東京 /23 区
・パネル属性ファイルは、メニューから「パネル属性の割り付け」を選択したときに自動的に作成され、パネルに配信されます。

ビューア編

スケジュール受信・番組表示

管理用 PC からスケジュールや番組を配信したときの、表示用 PC の設定について説明します。

FTP サーバについて

FTP サーバは、管理用 PC から送信されたスケジュールや臨時番組を受信し、e-Signage クライアントスケジューラへ渡す働きをします。表示用 PC では、この FTP サーバのサービスが開始されている必要があります。

● FTP サーバの起動

FTP サーバは、Windows 起動時に自動起動します。
FTP サーバのサービスが開始されているかどうかについては、次の方法で確認します。

•Windows XP の場合

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［管理ツール］－［サービス］の順にクリックします。**
［サービス］ウィンドウが表示されます。

2 **「サービス一覧」の「Information Display FTP Server」の状態が「開始」になっていることを確認します。**
「開始」になっていない場合は、「サービスの開始」をクリックしてください。

•Windows Vista の場合

1 **タスクバーのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［タスクマネージャ］をクリックします。**
［Windows タスクマネージャ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［プロセス］タブをクリックし、「FTPD.exe」が表示されていることを確認します。**

•Windows 7 の場合

1 **タスクバーのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［タスクマネージャーの起動］をクリックします。**
［Windows タスクマネージャー］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［プロセス］タブをクリックし、「FTPD.exe」が表示されていることを確認します。**

•Windows 8 の場合

1 **タスクバーのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［タスクマネージャー］をクリックします**
［タスクマネージャー］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「プロセス」タブをクリックし、「e-Signage FTP Server」が表示されていることを確認します。**

e-Signage クライアントスケジューラについて

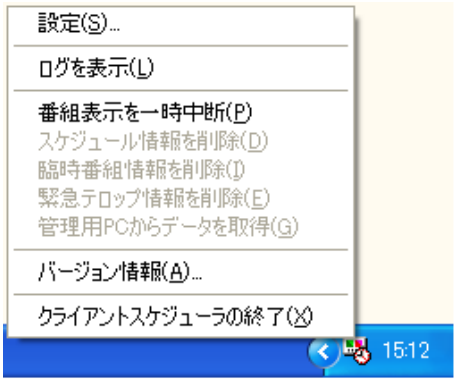
e-Signage クライアントスケジューラは表示用 PC で使用します。
FTP サーバが受信したスケジュールや臨時番組を読み取り、指定した時刻に指定した番組を表示するように番組ビューアを管理します。

● e-Signage クライアントスケジューラの起動

e-Signage クライアントスケジューラは、Windows 起動時に「スタートアップ」より自動起動します。
e-Signage クライアントスケジューラが起動すると、タスクトレイにアイコン（ ）が表示され、常駐します。

● e-Signage クライアントスケジューラのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。

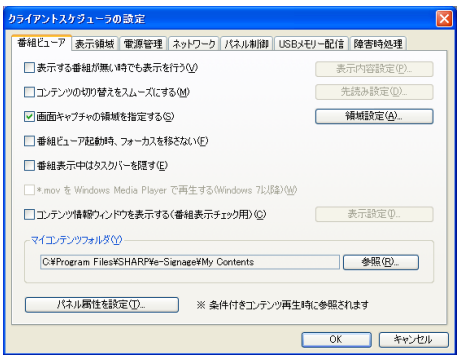


設定

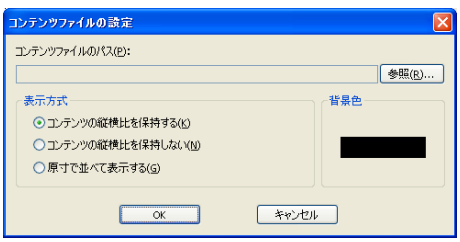
［設定］メニューをクリックすると、［クライアントスケジューラの設定］ダイアログボックスが表示されます。各タブで次の設定ができます。

［番組ビューア］タブ

番組ビューアの詳細を設定します。



・「表示する番組が無い時でも表示を行う」チェックボックス
チェックすると、表示する番組が無いときでも表示することができます。表示する内容は、［表示内容設定］をクリックして設定します。
・「紺色で領域を塗りつぶす」ラジオボタン
［表示領域］の設定で指定されている領域を紺色で表示します。
・「以下のコンテンツファイルを表示する」ラジオボタン
［設定］をクリックして［コンテンツファイルの設定］ダイアログボックスで表示するコンテンツファイルのパス、表示方式、背景色を設定します。
① ［参照］をクリックして、コンテンツファイルを選択します。e-Signage でサポートされているすべての表示可能なファイルが対象となります。
②「表示形式」を「コンテンツの縦横比を保持する」/「コンテンツの縦横比を保持しない」/「原寸で並べて表示する」ラジオボタンから選択します。



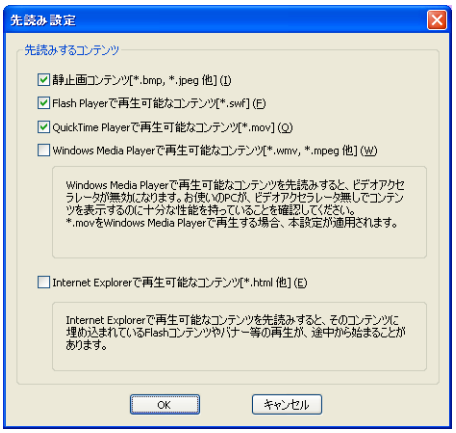
③「背景色」を設定します。

・「以下の番組を表示する」ラジオボタン
［インポート］をクリックして、既存の番組を選択します。番組エディタでエクスポートされた番組が対象となります。

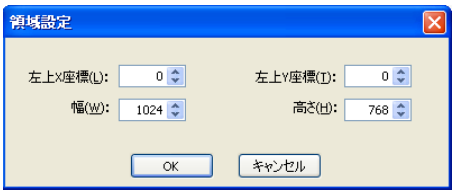
・「表示領域」で設定している領域が表示領域となります（番組を指定した場合を除きます）。

・「コンテンツの切り替えをスムーズにする」チェックボックス
コンテンツの再生終了前に次のコンテンツ再生準備を行い、コンテンツをスムーズに切り替えるときは、チェックします。
表示枠間でコンテンツ表示の同期を取る必要があるときもチェックしてください。
［先読み設定 ］をクリックすると、先読みするコンテンツを設定することができます。

・コンテンツの切り替えをスムーズにすると、CPU 負荷やメモリ使用量が増えます。運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。
・Windows Media Player で再生可能なコンテンツを先読みすると、ビデオアクセラレータが無効になります。お使いの PC が、ビデオアクセラレータ無しでコンテンツを表示するのに十分な性能を持っていることを確認してください。（Windows XP のみ）
・Internet Explorer で再生可能なコンテンツを先読みすると、そのコンテンツに埋め込まれている Flash コンテンツやバナー等の再生が、途中から始まることがあります。



・「画面キャプチャの領域を指定する」チェックボックス
表示用 PC で、複数の画面を出力している場合に画面キャプチャをすると、デスクトップ全体がキャプチャされます。チェックすると、画面出力の一部分だけをキャプチャできます。
［領域指定］をクリックして、キャプチャする領域を指定します。



・「番組ビューア起動時、フォーカスを移さない」チェックボックス
通常はチェックをはずした状態で使用します。
番組ビューア起動時、番組ビューアにフォーカスを移動させたくないときはチェックします。

・「番組表示中はタスクバーを隠す」チェックボックス
チェックすると、番組ビューア開始時にタスクバーを非表示にし、番組ビューア終了時にタスクバーを再表示します。

・「*.mov を Windows Media Player で再生する（Windows 7 以降）」チェックボックス
Windows 7 以降でチェックできます。チェックすると、拡張子が（.mov）のファイルを Windows Media Player で再生します。

・「コンテンツ情報ウィンドウを表示する（番組表示チェック用）」チェックボックス
チェックすると、番組再生時にコンテンツ情報（表示座標や再生時間などの）を表示します。コンテンツの再生確認をするときにチェックします。
［表示設定 ］をクリックして、コンテンツ情報の表示位置とサイズ、再生時間で強制的にテロップを切り替えるかどうかの設定を行います。

・「マイコンテンツフォルダ」：事前配信するコンテンツを保存するフォルダのパスを入力します。

デフォルトでは次の値に設定されています。

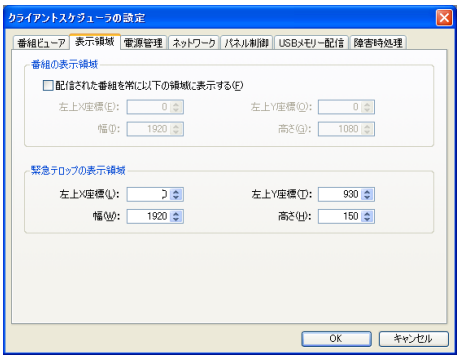
・マイコンテンツフォルダ：C: ￥Program Files ￥SHARP ￥e-Signage ￥My Contents
（Windows Vista/7 の場合は、C: ￥ProgramData ￥SHARP ￥e-Signage ￥My Contents）

・［パネル属性を設定］
表示用 PC のパネル属性を設定できます。「パネル名」と「グループ」、「コメント」を設定できます。条件付きコンテンツを再生するとき、パネルごとに異なるコンテンツを再生するために設定します。

［表示領域］タブ

・「番組の表示領域」
番組の表示領域とパネルの解像度が異なるときなど、番組に設定されている表示領域に関係なく番組を表示することができます。
「配信された番組を常に以下の領域に表示する」チェックボックスをチェックし、番組を表示する領域を設定してください。

・「緊急テロップの表示領域」
緊急テロップ表示時の表示領域を設定します。

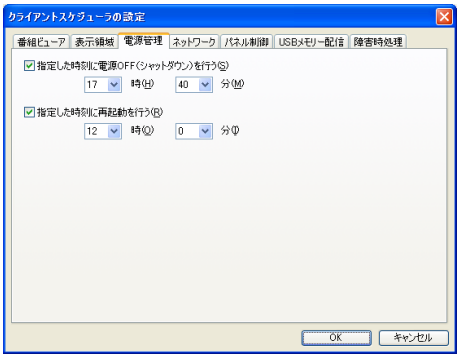


［電源管理］タブ

現在設定を行っている表示用 PC の電源を管理します。

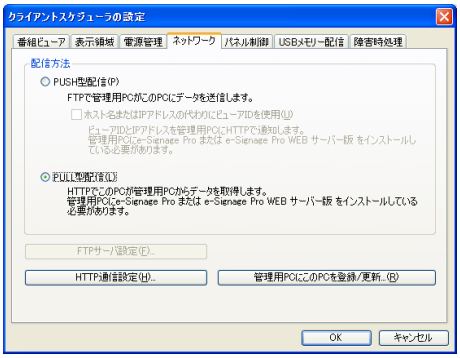
・「指定した時刻に電源 OFF（シャットダウン）を行う」チェックボックス
チェックすると、指定した時刻に表示用 PC の電源を OFF します。

・「指定した時刻に再起動を行う」チェックボックス
チェックすると、指定した時刻に表示用 PC を再起動します。



［ネットワーク］タブ

ネットワークからデータを取得する方法を設定します。



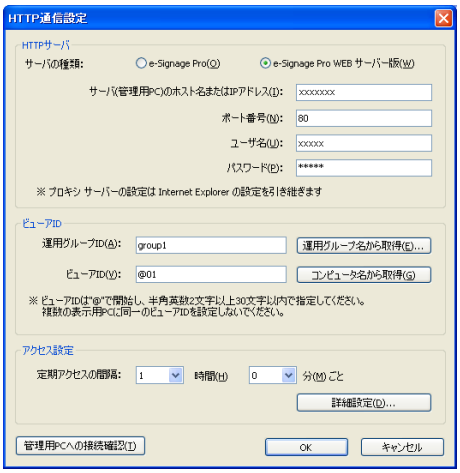
・「PUSH 型配信」ラジオボタン
　FTP プロトコルを使用して、管理用 PC 側で手動配信操作が行われたタイミングで配信されるデータを受信します。
・「ホスト名または IP アドレスの代わりにビューア ID を使用」チェックボックス
　HTTP プロトコルを使用して、表示用 PC 側より管理用 PC に IP アドレスを通知します。
　表示用 PC の IP アドレスが固定 IP アドレスではないときにチェックします。

　簡易 WEB サーバは、「e-Signage Pro WEB サーバー版 設定ツール」画面の「簡易 WEB サーバ設定」タブの［手動で簡易 WEB サーバを起動］をクリックして起動します。
・「PULL 型配信」ラジオボタン
　HTTP プロトコルを使用して、表示用 PC が、管理用 PC から定期的にデータを取得します。
・［FTP サーバ設定］
　FTP サーバを設定します。
　・「ユーザ名」：半角英数字 30 文字以内で入力します。
　・「パスワード」：半角英数字 30 文字以内で入力します。
　・「ポート番号」：1 ～ 65535 で入力します。

　デフォルトでは次の値に設定されています。
　・ユーザ名　：ftp
　・パスワード：ftp
　・ポート番号：21

・e-Signage のビューア版をインストールした場合、独自の FTP サーバがインストールされサービスとして起動されます。デフォルトの TCP/IP ポート番号は 20 と 21 になっています。もし、他のサービスなどでこのポート番号が使用されている場合には、ポート番号を変更してください。また、管理用 PC の「パネル管理」で登録した各パネルの FTP 設定も同じポート番号に設定しておく必要があります。

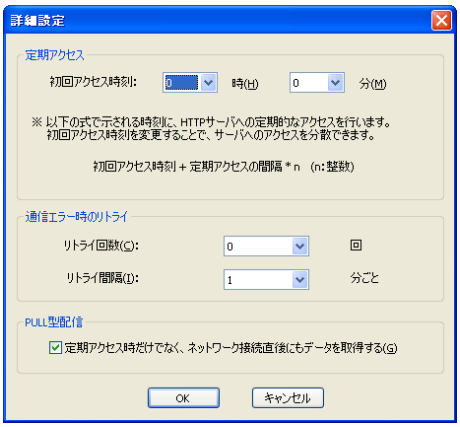
・［HTTP 通信設定］



・「e-Signage Pro」ラジオボタン
HTTP サーバーを「e-Signage Pro」に設定します。
※通常は使用しません。
・「e-Signage Pro WEB サーバー版」ラジオボタン
HTTP サーバーを「e-Signage Pro WEB サーバー版」に設定します。
・管理用 PC のホスト名または IP アドレス：
管理用 PC のホスト名、または IP アドレスを入力します。
・ポート番号：1 ～ 65535 で入力します。
HTTP プロトコルで使用するポート番号を設定します。管理用 PC、またはネットワーク内にファイアウォールがある場合は、このポート番号の通信を許可するように設定してください。
・ユーザ名：半角英数字 30 文字以内で入力します。
・パスワード：半角英数字 30 文字以内で入力します。

・「ユーザ名」と「パスワード」は、管理用 PC の Pro WEB サーバー管理ツールの「運用グループ」タブの「表示用 PC からの HTTP アクセスの制限」に設定した内容と同じ内容を入力します。33 ページを参照ください。
・「ポート番号」は、管理用 PC の Pro WEB サーバー管理ツールの「簡易 WEB サーバー」タブに設定した内容と同じ内容を入力します。31 ページを参照ください。
・プロキシサーバの設定が必要な場合は、Internet Exploer の接続設定画面でプロキシサーバの設定を行ってください。Internet Exploer の設定に従って接続が行われます。

・運用グループ ID
表示用 PC に運用グループ ID を設定します。
運用グループ ID は、「e-Signage Pro WEB サーバー版」ラジオボタンを選んだときのみ有効になります。
・ビューア ID：表示用 PC にビューア ID を設定します。
・定期アクセスの間隔：配信データを確認する時間の間隔を設定します。
・［詳細設定］
定期アクセスの間隔を設定します。

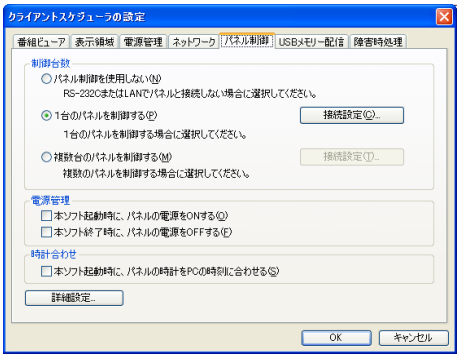


・初回アクセス時刻：簡易 WEB サーバにアクセスする最初の時刻を設定します。
・リトライ回数：通信エラーが発生したときの再接続の回数を設定します。
・リトライ間隔：通信エラーが発生したときの再接続時間の間隔を設定します。
・「定期アクセス時だけでなく、ネットワーク接続直後にもデータを取得する」チェックボックス
チェックすると、定期アクセス時に管理用 PC から配信されるデータを受信するだけではなく、次の条件でも配信データを受信します。
・クライアントスケジューラ起動時
・ネットワークの設定変更時
・ネットワーク環境変更を検知したとき (IP アドレス変更、LAN の接続など)

・［管理用 PC にこの PC を登録／更新］
クリックすると、管理用 PC に表示用 PC の情報を送信します。管理用 PC に表示用 PC の情報を簡単に登録することができます。

［パネル制御］タブ

パネルを制御する方法（RS-232C/LAN）を選びます。



・「パネル制御を使用しない」ラジオボタン
パネルを制御しません。

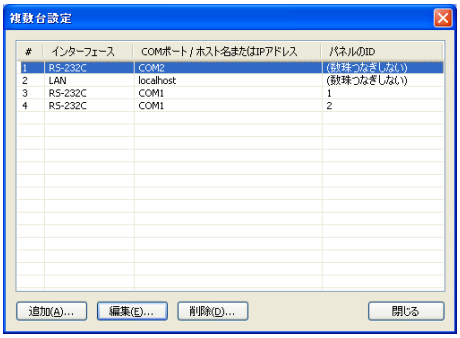
・「1 台のパネルを制御する」ラジオボタン
［接続設定］をクリックし、パネルを制御する方法（RS-232C/LAN）を選びます。

・［接続設定］
「接続インターフェース」のラジオボタンから「RS-232C」、または「LAN」のどちらかを選択して設定します。

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ～ COM256	COM1
	通信速度	9600，19200，38400	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート	制御するパネルのデータポート番号（1025 ～ 65535）を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	—

・［接続確認］
パネルの制御が可能かどうか接続を確認します。
接続が成功すると、パネルの機種名を取得して表示します。
パネルの電源をＯＮした状態で操作してください。
LB-1085 でパネルを制御する場合は、必ず接続確認を 1 度行ってください。
接続確認をしないと、制御できません。

・「複数台のパネルを制御する」ラジオボタン
25 台までのパネルを登録して制御することができます。
・[接続設定]
[接続設定] をクリックすると、接続されているパネルの一覧が表示されます。
初めて使用するときは、[追加] をクリックして、パネルをリストに追加します。

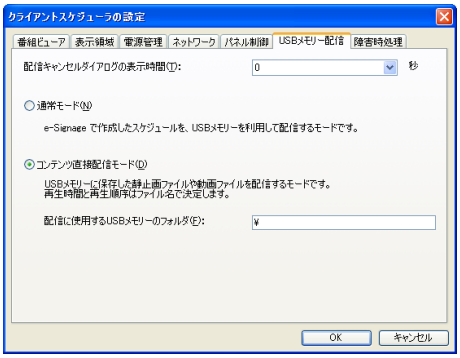


設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ～ COM256	COM1
	通信速度	9600，19200，38400	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	–
	データポート	制御するパネルのデータポート番号（1025 ～ 65535）を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	–
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	–
パネルの ID		数珠つなぎ接続する場合は、パネルを識別するため、ID を選択します。 （数珠つなぎしない）、1 ～ 255	（数珠つなぎしない）

・「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの電源を ON します。
※ パネルの電源を“ON”する機能は、LB-46GX35、LB52GX35 では、使用できません。
・「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの終了時に、パネルの電源を OFF します。
・「本ソフト起動時に、パネルの時計を PC の時刻に合わせる」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの時計を表示用 PC の時刻に合わせます。

・[詳細設定]
・「起動時にパネルと接続できなかった場合は、それ以降の通信を行わない」チェックボックス
起動時にパネルと接続できなかった場合、以降の通信を行わないようにします。
・「数珠つなぎ接続の先頭の 1 台のみ LAN で接続する」チェックボックス
RS-232C で数珠つなぎにしたパネルの先頭 1 台目のみを LAN で接続する構成時のみチェックしてください。数珠つなぎされた後続のパネルに対して、ID を指定して制御が行えるようになります。

［USB メモリー配信］タブ



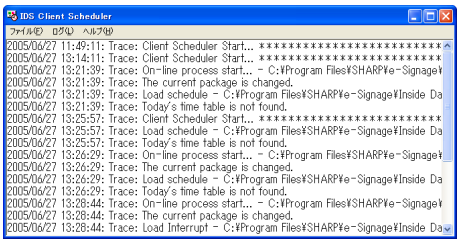
USB 配信の詳細を設定します。

- 「配信キャンセルダイアログの表示時間」
  1 秒以上に設定すると、USB メモリなどを挿入したときに配信キャンセルダイアログを表示します。
  配信キャンセルダイアログで [キャンセル] をクリックすると配信が中止されますので、USB メモリなどはタスクトレイの安全な取り外しアイコン（ ）から取り外してください。
  また、配信キャンセルダイアログで [すぐに配信する] をクリックすると、配信が再開されます。
- 「通常モード」ラジオボタン
  通常は使用しません。
- 「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタン
  「コンテンツ直接配信モード」で USB 配信する場合（☞164 ページ）に選択します。
- 「配信に使用する USB メモリのフォルダ」
  「コンテンツ直接配信モード」で配信を行う場合、コンテンツが保存されている USB メモリのフォルダのパスを入力します。

[障害時処理] タブ

サービスマン専用です。通常は使用しません。

ログを表示する

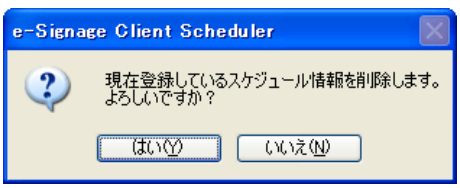


［ログを表示］メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラの動作ログを表示します。
ログのクリアや最新の状態に更新することができます。

番組表示を一時中断

［番組表示を一時中断］メニューをクリックすると、表示中の番組を一時中断します。
このとき、メニューの左側にチェックマークが入ります。再度［番組表示を一時中断］メニューをクリックすると、番組表示を再開します。

スケジュール情報を削除



［スケジュール情報を削除］メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されているスケジュール情報を削除します。

臨時番組情報を削除

［臨時番組情報を削除］メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている臨時番組表示の情報を削除します。

緊急テロップ情報を削除

［緊急テロップ情報を削除］メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている緊急テロップ情報を削除します。

管理用 PC からデータを取得

［管理用 PC からデータを取得］メニューをクリックすると、管理用 PC より配信データを受信します。
この機能は PULL 型配信のみ利用することができます。

バージョン情報

［バージョン情報］メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラの［バージョン情報］ダイアログボックスを表示します。

e-Signage で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。

また、インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。試用期限が過ぎる前に、本製品に同梱されているライセンス証書に記載されている手順に従って、ライセンスコードを入手し、ライセンスコードを登録してください。

e-Signage クライアントスケジューラの終了

［クライアントスケジューラの終了］メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラを終了します。
ただし、通常は終了しないでください。

USB メモリなどの外部記憶装置を利用してコンテンツを直接配信する

コンテンツをコピーした USB メモリなどを表示用 PC に挿入するだけで、コンテンツを表示することができます。

・転送が完了するまで、USB メモリなどの外部記憶装置をパソコンから取り外さないでください。
・USB メモリなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。

1 表示用 PC を「コンテンツ直接配信モード」に設定します。

① 表示用 PC で、タスクトレイのアイコン（ ）をクリックし、[設定] メニューをクリックします。
② [USB メモリー配信] タブをクリックし、「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタンを選択します。（☞162 ページ）
③ 必要に応じて「配信に使用する USB メモリのフォルダ」を設定します。
④ [OK] をクリックします。

2 配信するコンテンツを USB メモリなどにコピーします。

手順 1 の③で設定したフォルダにコンテンツをコピーしてください。
設定したフォルダの、下位のフォルダ位置に置かれたコンテンツは表示されません。

・コンテンツ直接配信モードでは、HTML ファイルを表示できません。
・コンテンツの表示はファイル名の昇順で実行されます。
ファイル名の先頭に「001」、「002」のように通し番号を付けることで、再生順序を設定することができます。
・コンテンツの再生時間は通常 10 秒です。動画は再生が終わるまでの時間です。
コンテンツのファイル名の後ろに「_［数値］m」（分）または「_［数値］s」（秒）を付けることで、コンテンツの再生時間を設定することができます。（最大 24 時間）
[例]
image_30s.jpg とすると 30 秒間表示します。
・指定したフォルダに Telop.txt（テキストファイル）を置くことで、その内容をテロップとして表示することができます。

3 USB メモリなどの外部記憶装置をパソコンから取り外します。

タスクトレイの安全な取り外しアイコン（ ）から取り外してください。

4 表示用 PC に USB メモリなどの外部記憶装置を挿入します。

自動的にコンテンツが配信され、完了すると USB メモリなどの外部記憶装置は自動的に停止します。
メッセージを確認し、取り外してください。

番組ビューア

番組ビューアは、表示用 PC で使用します。
e-Signage クライアントスケジューラが読み取ったスケジュールや臨時番組をもとに、番組を表示します。

・番組を一時中断するときは、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［番組表示を一時中断］をクリックします。
・番組ビューアの詳細は、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］をクリックし、表示された［クライアントスケジューラの設定］ダイアログボックスで変更できます。（☞155 ページ）
・新しいスケジュールを配信すると、古いスケジュールは不要になります。不要になったスケジュールやそれに付随するコンテンツは、e-Signage クライアントスケジューラが次回起動するときに自動的に削除されます。

キー／マウス監視

キーボードやマウスの操作で、表示する番組を切り替える機能について説明します。

キー／マウス監視ツールの画面について

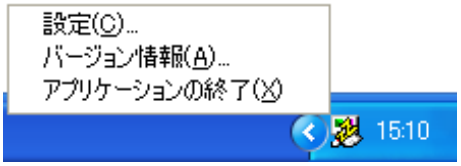
●キー／マウス監視ツールを起動する

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［SHARP e-Signage］－［各種ツール］－［キー／マウス監視ツール］の順にクリックします。**

キー／マウス監視ツールが起動し、タスクトレイにアイコン（ ）が表示され、常駐します。

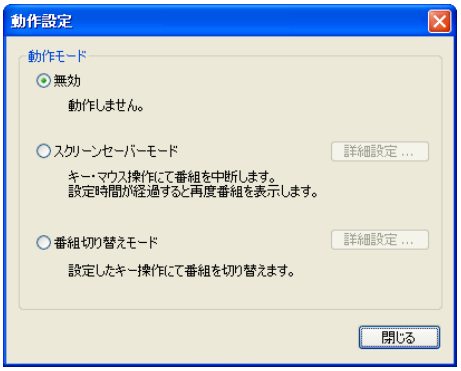
●キー／マウス監視ツールのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックしすると表示されるメニューでは、次の操作ができます



設定

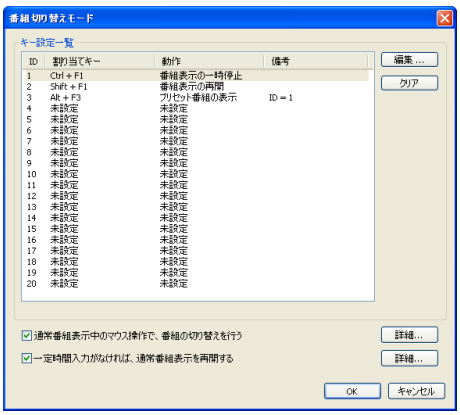
キー／マウス監視ツールの動作モードを設定します。



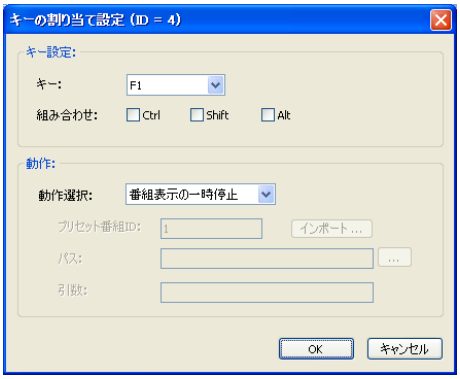
・「無効」ラジオボタン
キー／マウス監視ツールの働きを無効にします。

・「スクリーンセーバーモード」ラジオボタン
キーボードやマウスの操作があると、番組の表示を一時中断します。
キーボードやマウスの操作が一定時間ないと、配信された番組を表示します。
[詳細設定] をクリックして、以下の設定ができます。
番組表示再開までの時間
【Ctrl】+【Alt】+【V】キーで番組表示を再開する

・「番組切り替えモード」ラジオボタン
キーの組み合わせに動作を割り当て、キー操作で動作を実施することができます。
20 個まで割り当てることができます。
[詳細設定] をクリックして、キーの割り当てと動作を設定してください。



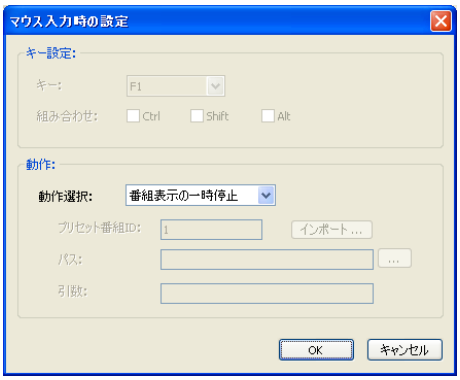
①編集する項目をクリックし、［編集］をクリックします。
「キーの割り当て設定」ダイアログボックスが表示されます。



②各項目を設定します。
・「キー設定」
登録するキーの組みあわせを設定します。
・「動作」
登録したキーの動作を設定します。
・「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組ID」に表示するプリセット番組のID番号を指定します。
プリセット番組をインポートしていない場合は、ID番号を指定し、番組をインポートします。
1)「プリセット番号ID」にID番号を入力します。
2)［インポート］をクリックします。
3) エクスポートした番組データを指定し、［開く］をクリックします。
指定したプリセット番号IDに番組がインポートされます。
・「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。
③［OK］をクリックします。

・異なるIDに同じキーを割り当てた場合、IDの小さい順に割り当てられた動作が行われます。
・PowerPoint Viewer起動時に【Ctrl】キーが押されていると、PowerPointコンテンツが正しい位置に表示されません。PowerPointコンテンツを含む番組を表示する場合は、ご注意ください。

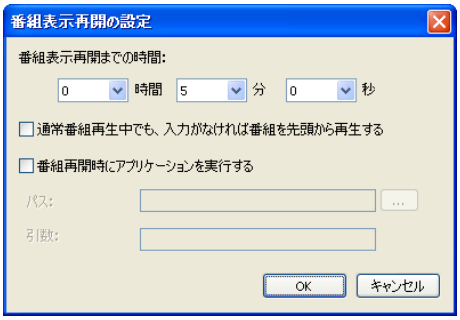
・「通常番組表示中のマウス操作で、番組の切り替えを行う」チェックボックス
チェックすると、マウス操作に動作を割り当て、マウス操作で動作を実施することができます。
①［詳細］をクリックします。
「マウス入力時の設定」ダイアログボックスが表示されます。



②各項目を設定します。
・「動作」
登録したマウス操作の動作を設定します。
・「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組ID」に表示するプリセット番組のID番号を指定します。
プリセット番組をインポートしていない場合は、ID番号を指定し、番組をインポートします。
1)「プリセット番号ID」にID番号を入力します。
2)［インポート］をクリックします。
3) エクスポートした番組データを指定し、［開く］をクリックします。
指定したプリセット番号IDに番組がインポートされます。
・「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。
③［OK］をクリックします。

・「通常番組」とは、スケジュールされた番組もしくは臨時番組を指します。プリセット番組表示中は、割り当てられた動作は実行できません。

・「一定時間入力がなければ、通常番組表示を再開する」チェックボックス
チェックすると、キーまたはマウスが指定された時間操作されなければ、通常番組の表示が再開します。



①［詳細］をクリックします。「番組表示再開の設定」ダイアログボックスが表示されます。
②各項目を設定します。
・「番組表示再開までの時間」
番組表示再開までの時間を設定します。
・「通常番組再生中でも、入力がなければ番組を先頭から再生する」チェックボックス
チェックすると、指定した時間、キーまたはマウス入力が無い場合に、番組の先頭から再生します。また、スケジュールどおりに番組を再生している場合でも、番組の先頭から再生します。
・「番組再開時にアプリケーションを実行する」チェックボックス
チェックした場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。
③［OK］をクリックします。

バージョン情報

キー／マウス監視ツールのバージョンを表示します。

アプリケーションの終了

キー／マウス監視ツールを終了します。

「よくあるご質問」などは
ホームページをご活用ください。

▶▶▶ シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業推進本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

● 住所などは変わることがあります。(2013.09)